事務事業及び予算の執行実績

（令和４年度分「一部、令和５年度分を含む」）

静 岡 県 工 業 技 術 研 究 所
沼津工業技術支援センター
富士工業技術支援センター
浜松工業技術支援センター

目　　次

第１　工業技術研究所全体［事務事業］
Ⅰ　事務事業の概要 …… 1
１　概　況 …… 1
（１）工業技術研究所の沿革 …… 1
（２）工業技術研究所全体の事業概要 …… 2
（３）工業技術研究所及び各工業技術支援センターの状況 …… 3
ア　工業技術研究所（静岡市） …… 3
（ア）地域の概要 …… 3
（イ）事業の概要 …… 3
イ　沼津工業技術支援センター（沼津市） …… 5
（ア）地域の概要 …… 5
（イ）事業の概要 …… 5
ウ　富士工業技術支援センター（富士市） …… 6
（ア）地域の概要 …… 6
（イ）事業の概要 …… 7
エ　浜松工業技術支援センター（浜松市） …… 8
（ア）地域の概要 …… 8
（イ）事業の概要 …… 8
（４）工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要 …… 9
ア　工業技術研究所（静岡市） …… 9
イ　沼津工業技術支援センター（沼津市） …… 10
ウ　富士工業技術支援センター（富士市） …… 10
エ　浜松工業技術支援センター（浜松市） …… 10
（５）組織図 …… 11
ア　工業技術研究所（静岡市） …… 11
イ　沼津工業技術支援センター（沼津市） …… 12
ウ　富士工業技術支援センター（富士市） …… 12
エ　浜松工業技術支援センター（浜松市） …… 13

２　事務又は事業の目的、計画、実績（成果）及び評価・改善 …… 14
（１）総務事務 …… 14
（２）試験研究、調査及び指導事務 …… 16
ア　研究開発 …… 16
（ア）研究課題 …… 16
（イ）外部研究員招へい事業 …… 30
（ウ）特許等の登録及び出願 …… 35
イ　技術相談等 …… 40
（ア）技術相談 …… 40
（イ）依頼試験、機器使用及び研究施設等使用 …… 42
（ウ）研究会の育成 …… 49
（エ）研修生の受入れ …… 50
ウ　技術情報提供 …… 53
（ア）研究報告関係 …… 53
（イ）研究発表会関係 …… 53
（ウ）研究所情報等の提供 …… 57
（エ）研究所の事業広報等 …… 57
（オ）講習会等 …… 58
（カ）講師活動 …… 65
（キ）委員派遣 …… 71
（ク）産業技術連携推進会議等への派遣 …… 88
（ケ）学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展 …… 96
エ　その他 …… 109
（ア）産学官連携コーディネイト体制強化事業 …… 109
（イ）資質向上研修 …… 109
オ　評価・改善 …… 110
（３）事業の根拠法令調 …… 115

目　　次

Ⅱ　職員状況
1　職員調 …… 116
2　職員の年齢調 …… 122
3　健康管理 …… 123
4　職員配置調 …… 124

第２　浜松工業技術支援センター［財務事務］
1　歳入予算執行状況調 …… 126
2　県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調 …… 130
3　現金出納調 …… 131
4　保管現金有高調 …… 132
5　預金調 …… 132
6　郵券等受払調 …… 133
7　歳入歳出外現金調 …… 134
8　歳出予算執行状況調 …… 136
9　委託料等歳出予算執行状況節別集計表 …… 143
10　委託料に関する調 …… 145
11　負担金支出調 …… 154
12　建築工事調 …… 158
13　公有財産調 …… 162
14　事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調 …… 164
15　行政財産貸付・使用許可調 …… 165
16　備品・図書調 …… 167
17　主要備品調 …… 171

第３　試験研究成果一覧表　［研究所全体］ …… 173

（注）第１・３は、工業技術研究所全体（沼津・富士・浜松工業技術支援センターを含む。）を記載
　　第２は、浜松工業技術支援センター分のみ計上

第１　工業技術研究所全体

【事務事業】

Ⅰ　事務事業の概要

１　概　況

（１）工業技術研究所の沿革

明治３９年　３月　「静岡県工業試験場紙業部、漆器部、庶務部」を静岡市追手町に、「染織部」を浜名郡天神町村馬込（現浜松市）に設置し、同年１１月に開場

大正　２年１２月　「静岡県工業試験場」を静岡市水落町に移転

大正　４年　９月　「染織部」を「静岡県工業試験場浜松分場」に改称

大正　８年　「浜松分場」を浜松市北寺島町に移転

大正　８年１２月　「静岡県工業試験場」を安倍郡豊田村南安東（後瓦場町、現静岡市葵区太田町）に移転

大正　９年　２月　「静岡県工業試験場」を「静岡県静岡工業試験場」に、「浜松分場」を「静岡県浜松工業試験場」に改称

昭和１２年１１月　「製紙部」を富士郡今泉村（現富士市今泉）に移転、「静岡県製紙工業試験場」を開設

昭和２７年　４月　「静岡県浜松工業試験場」を「静岡県浜松繊維工業試験場」に、「静岡県製紙工業試験場」を「静岡県紙業指導所」に改称

昭和２８年　１月　「静岡県静岡工業試験場」を静岡市安倍川町（現葵区駒形通５丁目）に移転

昭和３２年　４月　「静岡県紙業指導所」を「静岡県製紙工業試験場」に改称

昭和３６年　４月　「静岡県静岡工業試験場」を「静岡県工業試験場」に改称

昭和３６年　６月　「静岡県工業試験場浜松分場」を浜松市小池町に設置

昭和３８年　１月　「静岡県工業試験場浜松分場」を「静岡県機械技術指導所」と改称

昭和３８年１２月　「静岡県製紙工業試験場」を吉原市伝法（後富士市伝法、現富士市永田北町）に移転

昭和４２年　６月　「静岡県浜松繊維工業試験場福田技術指導所」を磐田郡福田町（現磐田市大原）に開所

昭和５７年１１月　「静岡県工業試験場」を現在地（静岡市葵区牧ヶ谷）に移転

昭和５９年　４月　「静岡県工業試験場」を「静岡県工業技術センター」に改称

平成　２年　４月　「静岡県工業技術センター」を「静岡県静岡工業技術センター」に改称
「沼津工業技術センター」を現在地（沼津市大岡）に開設

平成　３年　４月　「静岡県製紙工業試験場」を現在地（富士市大渕）に移転し、機械・電子部門を加え、「静岡県富士工業技術センター」に改称
「静岡県浜松繊維工業試験場」と「静岡県機械技術指導所」を統合し、光・電子部門を加え、「静岡県浜松工業技術センター」として現在地(浜松市北区新都田１丁目）に移転、開設

平成１９年　４月　「沼津・富士・静岡・浜松工業技術センター」を統合し、「静岡県工業技術研究所」とし、「沼津・富士・浜松工業技術センター」を「工業技術支援センター」と名称変更

（２）工業技術研究所全体の事業概要

地域産業に最も近い技術支援機関として、研究開発、依頼試験・設備使用、技術相談・人材育成、技術情報の提供、産学官連携の促進や周辺地域の公設試験研究機関との連携強化等を通じて、ものづくりを行う県内中小企業の技術開発や課題解決を支援している。

特に､地域に根ざした産業や県の産業振興施策である先端産業育成プロジェクトをはじめとする集積を目指す産業分野の技術（光・照明・音響、製紙、バイオテクノロジー、食品、環境エネルギー、生活製品)、工業全般の基礎となる技術(金属材料、高分子材料、機械・電子、情報通信)において、地域産業の振興、新たな産業の創出などの基礎となる技術力の向上を支援している。

近年は、急速な人口減少による人手不足の顕在化や車の電動化・自動運転などの著しい技術革新への対応など、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しており、企業ニーズに対応した支援を推進するため、生産性向上を目的としたＩｏＴに関する研究支援、電気自動車を始めとする次世代自動車に関する研究支援、新たな素材として期待されるセルロースナノファイバー（ＣＮＦ）に関する研究支援、ものづくりをデジタルデータに基づいて一貫して行うデジタルものづくりに関する研究支援について、工業技術研究所の各機関が連携した取組を進めている。

県内産業界を一体的に技術支援できる組織体制とするため、平成19年度には沼津・富士・静岡・浜松工業技術センターを統合し、工業技術研究所（静岡市）とし、その下に沼津・富士・浜松工業技術支援センターを配置した。

平成24年９月、工業技術研究所全体で、文部科学省から科研費応募資格を有する研究機関としての指定を受け、企業支援のための技術力向上に努めている。平成26年３月、これまでの窓口相談を拡充し、研究所及び各工業技術支援センターにから海外展開支援を含めた「ものづくり産業支援窓口」を開設したほか、商工会議所・商工会等との連携により、研究員が直接企業に出向く出張相談の強化を行った。平成28年10月、「デザイン相談窓口」を開設し、デザインに関する相談やデザイナーとのマッチング等の支援を強化した。

さらに、令和５年１月、「デジタルものづくり相談窓口」を開設し、県内企業の製品開発等の支援に取り組んでいる。

これらにより、企業が取り組む研究開発、製品設計・生産、品質管理における技術課題の解決のための支援が強化された。

○　主要事業

ア　研究開発

新成長戦略研究、経常研究、共同研究、受託研究を行い、地域産業の技術基盤の強化や先端技術の開発による産業支援を行う。

イ　依頼試験・設備使用

地域企業の新製品開発や性能評価のため、依頼試験や試験機器・施設等を開放し、技術支援を行う。

ウ　技術相談・人材育成

中小企業の技術相談や各種研修会・講習会を開催し、地域産業の技術力向上に努める。

エ　技術情報の提供

研究所のウェブサイトやメールマガジン、センターニュース、また各種技術講演会を通じ

て、地域の中小企業を中心に、製造技術や製品開発に必要な技術情報を提供する。

オ　産学官連携の促進

静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータを配置し、地域企業の技術情報の共有化や研究開発の支援などを通した地域企業、大学、支援機関との連携強化を図っている。

他県の公設試験研究機関との連携を密にするため、関東経済産業局管内の首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF））や、中部経済産業局管内の中部イノベネットに参画し、情報交換や広域連携による域内企業の支援強化を進めている。また、関東甲信越静地域の公設試が連携して中小企業の海外展開を支援する組織（広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP））に参加し、域内企業の海外進出を技術面から支援している。

カ　先端産業創出プロジェクト等の推進

先端産業創出プロジェクト（ファルマバレープロジェクト、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト、フォトンバレープロジェクト、次世代自動車プロジェクト、ふじのくにCNFプロジェクト、マリンオープンイノベーションプロジェクトなど）による産業イノベーション拠点の形成事業や中小企業の成長分野への進出を支援する新成長産業戦略的育成事業と相互に連携することにより、新技術・新製品の開発を促進する。

（３）工業技術研究所及び各工業技術支援センターの状況

ア　工業技術研究所(静岡市)

（ア）地域の概要

当研究所が所在する中部地域は、静岡市を中心に江戸時代から発達した漆塗等の技術と豊富な森林資源を活かし、家具、雛具等の伝統工芸産業が集積している。また､焼津市や静岡市清水区を中心に豊富な農水産物を原料とした全国有数の食品加工産業が集積しており、かつお・まぐろ類缶詰、冷凍水産食品等は、日本一の生産量を誇る。さらに大手医薬品製造者の生産拠点や車載光学機器を中心とした化成品産業が集積している。

中部地域は、先端産業創出プロジェクトにおける「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト」の中心的な地域であり、平成20年度から始まった「総合食品学講座」の人材育成事業においては、公益財団法人静岡県産業振興財団や静岡県公立大学法人静岡県立大学と共に参画し、既存産業の高度化や新たな食品関連産業の創出に努めている。

また当所が開発した中小食品製造業者向け食品廃棄物のエネルギー利用を目的とした小型メタン発酵プラントについては、その事業化を目指した「静岡県小型メタン発酵プラント事業化推進協議会」が、13の食品加工・製造企業やプラントメーカー等により設立され、食品工場等にパイロットプラントを設置し、有効性や採算性について実証試験を実施した。

車載光学機器産業を中心とした照明関連産業の振興を目的に、平成30年度に照明音響科を設置した。「配光測定装置」は、一般照明用と自動車のヘッドランプ用の２種類に加えて微小光源用を整備しており、全国的にもこれらの設備を揃えている公設試験研究機関は当所だけであり、新たな製品開発を支援している。

（イ）事業の概要

当研究所では、平成19年度に企画調整機能を集約化して企画調整部を設け、研究所と各支

援センターが一体となって県内産業界を総合的に支援できるよう、研究所全体の企画調整、機器整備等の計画策定、技術情報の集約・一元的な発信、産学官の連携強化等を行っている。

金属材料科・化学材料科・機械電子科では、県内中小製造業に対し、構造材料・表面加工技術の向上、ものづくり技術の高付加価値化や製品設計の高度化等共通基盤技術を支援しており、企業との共同研究にも積極的に取り組んでいる。

その中で、金属材料科は次世代自動車向け軽量素材の利用促進を目的に、半溶融成形や樹脂へのめっきに関する技術開発に取り組み、化学材料科では、脱炭素化の取り組みとして、樹脂と植物性素材ＣＮＦの複合材料の開発に取り組んでいる。

機械電子科では、新成長戦略研究「ＩｏＴ導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築」をテーマに企業の生産性向上に向けた支援に取り組むとともに、企業の最新のＩｏＴ関連機器を展示する「静岡県ＩｏＴ推進ラボ」を所内に開設し、講習会や実証実験などを通し、企業にＩｏＴによる生産工程の見える化などを体験する機会を提供している。

照明音響科では、県中部地域に集積する車載光学機器産業を中心とした照明関連産業の振興を図るため、シミュレーションや精密形状測定、配光測定などを活用し、設計、生産、評価と一貫した支援に取り組んでいる。令和３年度から実施している新成長戦略研究「人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発」では、自動運転に必要なコミュニケーションライティングシステム用樹脂レンズの金型製造を可能とするため、超精密な加工技術の開発に取り組んでいる。

食品科は、県中部地域に集積している食品産業の振興を図るため、機能性食品に関する研究や人材育成を行い、「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト」推進の一翼を担っている。令和元年度からは、化粧品・化成品の支援を強化し、県内中小企業の新製品開発の支援に取り組んでいる。また、令和２年度から始動したマリンオープンイノベーションプロジェクトのもと、MaOI機構や県試験研究機関と連携し、海洋由来微生物を活用した食品開発等により、引き続き、駿河湾由来乳酸菌を用いた「静岡チーズ」やハバネロソースを商品化したマリンバイオ産業創出支援に取り組んでいる。

環境エネルギー科では、排水処理技術やバイオマスを利用したエネルギー回収技術等の研究や支援業務を行っている。平成26～28年度に実施した新成長戦略研究「分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発」で試作した小型プラントについて、県内食品・製造企業における実証試験を実施し、普及に向けてデータを情報公開している。また、県単独研究「好気性グラニュールを利用した省スペース型高濃度窒素排水処理装置の開発」では、高負荷排水にも対応したコンパクトな新たな処理装置の開発を行っている。

ユニバーサルデザイン科では、ユニバーサルデザイン製品・福祉用具・医療機器などの県内関連産業を支援している。人口減少・少子・高齢社会が求める新たな価値の発見と魅力の創造に向けて、人間特性評価・ＵＸ・ＵＩなどの研究に取り組んでいる。またデザインに関する相談やデザイナーとのマッチング等の支援にも取り組んでいる。

工芸科では、家具･住宅など県内の生活関連産業を支援している。県産材の需要拡大につながる木製品の付加価値向上や、快適な生活空間の創造に向けて有害物質の評価、木製家具等の強度･耐久性試験などの研究に取り組んでいる。

イ　沼津工業技術支援センター(沼津市)

（ア）地域の概要

当センターが所在する県東部地域は、戦前海軍工廠に納める精密ネジを作る企業があった。

戦後多くのネジ製造企業が独立し、現在では自動車関連の部品製造企業となっている。芝浦機械（株）や（株）リコーといった大企業が存在することから、精密加工を行う企業、プリンター部品を製造する企業も多い。

また、医薬品・医療用機器製造業も集積しており、地域の企業に対する医療用機器分野への参入を支援する取組も行われている。

県では、平成14年９月に開院した県立静岡がんセンターを核とした医療産業から健康産業まで広がる富士山麓先端健康産業集積（ファルマバレー）プロジェクトを推進しており、平成15年４月に、その中核的な支援機関であるファルマバレーセンターが開設された。当初より、当センターでは、年間７回程度開催するネットワーク会議にキーメンバーとして参加している。なお、令和３年度からは、コロナ禍を機にオンライン会議も取り入れて開催されている。

また、平成21年度からは医用機器等開発テーマ実現化会議へ委員を派遣し、この会議を経て令和元年度は「富士山麓から医療機器開発へ」ふじのくに医療機器産業活性化推進事業支援コーディネータとして活動した。

なお、ファルマバレープロジェクトは、①平成23年12月に東部地域12市町が内閣府より地域活性化総合特区「ふじのくに先端医療総合特区」として指定を受け、平成25年7月には文部科学省等補助事業「地域イノベーション戦略支援プログラム（国際競争力強化地域）」に採択、②平成28年９月、県立静岡がんセンター至近に医療健康産業研究開発センターの開設、③平成29年８月に（一財）ふじのくに医療城下町推進機構として設立された財団の公益財団法人化（平成31年４月）の動きを受け、ますます活動は加速化している。あわせて、令和元年12月に締結した本県と山梨県との医療健康産業政策の連携協定により、積極的な情報交換を進めている。

（イ）事業の概要

当センターは、県東部地域の中小企業の技術力の強化・向上の支援、地域産業界全体の技術振興を目的として設置された試験研究機関である。バイオ科及び機械電子科の２科を設け、酵母等の発酵技術、ものづくりの基盤となる機械・電子技術により地域産業を支援するとともに、医療福祉分野等の試験研究や技術支援を通じてファルマバレープロジェクト等の東部地域の新産業育成に貢献している。

バイオ科は、工業技術研究所で唯一のバイオテクノロジー担当部門として、東部地域にとどまらず県下全域を対象としている。平成27年度から平成29年度まで県の５研究所と関係業界が協働して行った新成長戦略研究「食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出」でしずおか有用微生物ライブラリーを構築した。本研究のなかで、発泡性日本酒やオリジナルビールの開発といった新しい取り組みに成功し、このライブラリーを活かした新たな発酵ビジネスの創出に貢献した。これにより、本県の地域資源等から得た有用微生物によって構築されたライブラリーの微生物株の県内企業への分譲が進んでいる。さらに、令和２年度から令和４年度まで水産・海洋技術研究所が中核研究機関となった新成長戦略研

究「マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発」において、県内クラフトビールメーカーとの共同研究により、海洋由来乳酸菌と酵母を用いたサワービールの商品化を果たした。本研究で得られた海洋由来微生物株については、一般財団法人マリンオープンイノベーション機構（MAOI機構）がライブラリ化し、企業への供給体制を構築しており、当センターは、MAOI機構と連携し県内企業の事業化支援に取り組んでいる。

機械電子科では、平成28年度から平成30年度にかけて、戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）（現　成長型中小企業等研究開発支援事業）として「骨端用プレートの高品質・低コスト成形加工技術の開発」を進めた。これに加え、平成30年度から令和２年度にかけて、新成長戦略研究「次世代型インプラントの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発」を実施し、整形外科用インプラントの型鍛造成形を実現させる上で必要不可欠な、金型や成形条件探索等に費やす開発費を削減させることが出来る独自の設計支援技術を開発した。これをもとに関連企業からの技術相談や受託研究の相談も増加しており、ファルマバレープロジェクトに関連した課題に取り組んでいる。また、令和３年11月にはセンター内に「静岡県IoT推進ラボ　サテライト沼津」を開設し、企業のIoT導入の支援を行っている。

センター業務の実施に当たっては、中小企業のニーズを把握することを第一に、企業や商工団体の訪問、企業との意見交換の場の確保等、地元の声の把握に鋭意努めながら進めている。

ウ　富士工業技術支援センター（富士市）

（ア）地域の概要

当センターが所在する富士地域（富士市、富士宮市）は、大消費地である首都圏に近く、富士山麓の豊富な水資源を基に製紙産業が栄え、これを中核とする機械産業が発達し、世界に類を見ない製紙関連産業の技術集積地を形成している。さらに昨今の電子技術を応用した家電、輸送用機械工業などの進出により一大工業地帯を形成し、加えて、富士山麓の清涼な環境の基に特異な精密工業や医療機器・医薬品関連産業の進出による先端産業地帯としても発展している。

しかし、最近の経済のグローバル化に伴い、地域の企業も他社との統合・合併で生き残りを図るなど大きな構造変化が進んでいる。例えば、製紙関連では、富士地域に集中する中小のトイレットペーパーなどを製造する家庭紙製造業は、大手製紙メーカーがこの分野にも参入してきており、生産量は横ばいであるが、競争が厳しくなってきた。また、印刷用紙等では、新型コロナウイルスの影響によるイベント中止やペーパーレス化の進展等により、生産量が大きく減少しているため、大手製紙メーカーの大幅な事業の見直し・集約により、当地での事業が縮小しており、製紙および関連産業への影響が懸念されている。

一方、製紙関連以外の製造業では、富士宮市を中心とする医療機器産業が比較的順調な伸びを保っているが、富士地域の輸送用機械や電気機械及び化学工業関連などは、先行き不透明で、厳しい状況にある。その中で、最近では製紙関連の他、樹脂成形、化成品など様々な分野で新材料として注目されているセルロースナノファイバー（ＣＮＦ）を利用した新製品開発が進んでおり、富士市がプラットフォームを組織してＣＮＦの研究開発や製品化の支援を進めている。脱炭素社会への移行とデジタルシフトが加速しており、多くの

企業がＣＮＦ活用やＡＩ・ＩｏＴの活用に関心を寄せている。

（イ）事業の概要

当センターは、企業による新成長分野への進出や新規事業分野の開拓にかかる研究開発の他、関連支援機関と連携して、入口（ニーズ、市場性の調査）から製品開発、出口（販売）までの一貫支援に努めている。また、地域企業の既存技術の高度化、高付加価値新商品の開発を、主に技術面から支援している。

製紙科では、古紙を利用した再生紙を主力とした技術開発を行っている。古紙原料不足や古紙価格の高騰などから付加価値の高い紙や特殊紙の開発に取組み始めた企業も増えているため、紙リサイクル技術の推進、紙質・製品評価技術の確立、機能性付与技術の開発に重点を置いている。これまでの古紙利用に関する研究では、トイレットペーパーがほぐれにくくなっている要因や、かさが要求される製品でより低密度化できる処方を探り、工場の実状に併せた改善策を提案し、品質改善に結び付けた。また、古紙原料不足に対応した課題として廃棄衣料を製紙原料として活用する技術開発にも取り組んでいる。その他古紙の品質低下が原因と考えられる様々な技術相談が寄せられていることから、今後も古紙利用技術の開発は重点的に取り組んでいく。

ＣＮＦ科は県内企業によるＣＮＦ関連産業への参入を支援する中核的役割を担うとともに、次世代の新素材として注目されているＣＮＦの技術窓口として、ふじのくにＣＮＦプロジェクト推進事業を遂行している。令和元年度からのＣＮＦの応用分野として期待される樹脂を対象とした新成長戦略研究「次世代自動車軽量化のためのＣＮＦ複合材の開発」では、安価で性能の良いＣＮＦの製造方法と樹脂中で分散しやすい混練、成形方法の開発を行った。令和４年度は、新成長戦略研究政策課題指定枠「プラスチック資源循環実現に向けたＣＮＦ複合樹脂リサイクル性の評価」を実施し、脱炭素・資源循環社会実現に向けた自動車部材の軽量化素材として、リサイクルが困難なガラス繊維等を使用した樹脂の代替とするため、ＣＮＦを30％配合したポリプロピレン樹脂を成形し、ＣＮＦ複合樹脂のリサイクル性を検証した。また、産学官連携体制強化のため、静岡大学ＣＮＦサテライトオフィス及び企業と共同研究を行うＣＮＦラボで構成される「ふじのくにＣＮＦ研究開発センター」を運営し、事業化や製品化を推進している。

機械電子科は、当地域における製造品出荷額の上位を占めている機械、電気・電子産業の支援を目的に設置され、通常の業務に加え、センター協議会活動を通して中小企業の技術力の向上に寄与している。平成28年度から畜産技術研究所とともにＡＩを利用した牛の分娩検知システムの開発を進めており、実用化できる見込みがついている。平成29年度からは次世代自動車等での利用増加が見込まれる軽量、高強度の部品の製造技術確立と実用化を目指す新成長戦略研究「異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発」に取り組み、開発した試作品による実用化のための技術開発を終え、企業に利用開放している。

今後も産業支援機関や大学と連携して地域企業の新たな成長分野への参入を支援するとともに、センターの持つ技術力を活かして現場ニーズに対応した技術支援を推進していく。

エ　浜松工業技術支援センター（浜松市）

（ア）地域の概要

当センターが所在する西部地域は、トヨタ、ホンダ、スズキ、ヤマハ発動機などの世界的輸送機械メーカー発祥の地であり、自動車や二輪車及び船外機関連企業が集積している。また、ヤマハ、河合楽器製作所、ローランドなどの世界的楽器メーカー、浜松ホトニクスなどの光関連メーカー及び電気機器関連企業等が立地している。また、古くから綿織物の国内有数の産地として盛況を極めてきた。

西部地域は、次世代のリーディング産業の創出と育成を図る「静岡新産業集積クラスター」のなかで、フォトンバレープロジェクトの中心となっている。産学官金の連携による地域企業の新製品開発や新たな市場への進出を支援するとともに、「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」や「光産業創成大学院大学」が実施する人材育成などを支援するなど、光・電子技術産業の集積化を推進している。

また、成長産業である次世代自動車、医療機器、航空機産業分野などへの地域企業の参入を促進し、海外成長力の取り込みなどによる地域産業の活性化を図っている。次世代自動車産業については、県内企業で参入を目指した取組が活発化しており、当センターでも関連する試験機器を整備するなど、支援体制の強化に努めている。また、部品部材の開発を支援するため、電気自動車（日産リーフ）の2010年型と2017年型の分解展示を令和元年１月より開始した。

さらに、地域に集積する技術力と地元の素材を結び付けた高付加価値の製品づくりとブランド力の強化、県内外への情報発信や販路開拓を支援するなど、繊維をはじめとする地場産業の振興を図っている。

（イ）事業の概要

当センターでは、地域企業の要望に応じた製品試験、不良品の原因調査などの相談に応じるとともに、企業と共同で新製品の研究開発に取り組んでいる。

このため、県内中小企業のものづくりをデジタルデータに基づいて企画・設計から成型加工、測定・評価まで一貫して支援する「デジタルものづくりセンター」を開設する。

CAE等の試し使いができる「シミュレーショントライアルルーム」、サンプル等の紹介、企業連携による打合せができる「コワーキング・展示スペース」、CAE等の各種ソフトウエアに関するセミナー、ワークショップを行う「セミナールーム」を新たに設け、既存・新設機器を活用し、製品開発課程における中小企業のデジタル技術のボトムアップを推進する。

光科では、光半導体レーザーや超短パルスレーザーを高度に利用する技術や透過光計測により応力に起因する複屈折率分布を可視化する装置の開発を行い、ものづくりの品質検査等、新たな応用分野の研究開発を進めている。また、平成29年度より参画してきた内閣府革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）の中で開発した新型レーザーの試用プラットホームを、用途開発に利用していただくよう無料開放している。令和３年度からは、次世代自動車への搭載を目的に「コミュニケーションライティングシステム」のためのレンズ開発を行う新成長戦略研究課題（リーダーは本所）がはじまり、光学素子の設計・評価及び樹脂成形用金型転写技術の検討を担当している。

また、光産業創成大学院大学による中核人材育成講座に、派遣講師として協力するなど、レーザー応用技術に携わる人材の育成を支援している。

機械電子科では、精密測定や品質工学に関する技術相談を通じ、モノづくりを支援している他、機械技術に関連する研究会の活動をサポートしている。また、アルミニウム部品の熱変形やウルトラハイテン材のひずみ等を三次元的に計測、評価する技術の開発を進め、地域企業の製品設計、開発力の強化に取組んでいる。

令和３年11月にはセンター内に「静岡県IoT推進ラボ　サテライト浜松」を開設し、企業のIoT導入の事例を紹介するとともに、令和５年度は熱構造解析用CAE装置や形状最適化ソフトウエアを導入して、前述のデジタルものづくりを支援する。

一方、電磁波測定、電磁波環境計測関連機器及び耐振耐候試験機等、所有機器を用いて製品の信頼性向上を図り、安全で安心できる電子機器の開発や技術向上を支援している。また、EMC試験における測定の不確かさの算出・管理による測定値の信頼性及び測定技術の向上に向けた研究を通じ、事業者の製品開発を支援している。なお、電子制御化が進む自動車関連産業の需要に対応するための車載機器用EMC試験施設を平成30年度に整備し、県内事業者等による次世代自動車開発関連分野への参入を支援している。

材料科では、次世代自動車に用いられる軽量難加工材に関わる加工・評価やめっき技術を応用した表面処理技術の開発に取り組んでいる。また解析技術の向上・体系化を図り、材料の成分分析、構造解析、強度試験、破損・欠陥解析などの各種試験や技術相談に迅速かつ的確に対応することにより、企業の新製品開発・技術開発を支援している。

加えて新たな造形方法として注目されている金属３Ｄプリンタを令和５年１月に導入した。従来の成形、加工技術では作成が困難な形状の部品を造形できるため、デジタルものづくりによる試作やより付加価値の高い製品の開発への支援を目指している。

繊維高分子材料科では、令和２年度より県の新成長戦略研究として、次世代自動車などへの採用が期待される軽量高強度材料「炭素繊維強化複合材（CFRP)」の、大量生産に対応した高効率成形技術の確立を目指している。また、当センターが保有する織物サンプルデータベース、電子ジャカード織機などを活用して、コーデュロイやゆかたなどの新製品開発を行う地域企業の技術支援を行っている。

（４）工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要

ア　工業技術研究所(静岡市)

（ア）敷地面積　２３，１５７㎡
（イ）建築面積　　７，６５９㎡
（ウ）延床面積　１３，０９１㎡

○管理棟	鉄筋コンクリート４階建	２，２５０㎡（管理部門）
○研究棟	鉄筋コンクリート４階建	４，１３０㎡（研究部門）
○研修棟	鉄筋コンクリート平屋建	２７０㎡（講習・研修施設）
○実験棟	鉄骨平屋建	２，７１９㎡（実験施設）
○開放棟	鉄筋コンクリート３階建	１，６８０㎡（開放試験・共同研究施設等）
○資料館	鉄筋コンクリート２階建	４６０㎡
○付属棟		１，５８２㎡（設備棟・薬品庫等）

イ　沼津工業技術支援センター(沼津市)

（ア）敷地面積　１９，９５８㎡

（イ）建築面積　　３，８９２㎡

（ウ）延床面積　　６，２１９㎡

○管理・研究・開放棟　鉄筋コンクリート３階建　４，３８４㎡（管理・研究部門、開放試験）

○実験棟　　鉄筋コンクリート平屋建　　６４８㎡（実験施設）

○付属棟　　３０５㎡（廃水処理施設等）

○インキュベートセンター　鉄骨平屋建　　８８２㎡

ウ　富士工業技術支援センター（富士市）

（ア）敷地面積　　２０，０７５㎡

（イ）建築面積　　４，４３３㎡

（ウ）延床面積　　８，８０１㎡

○管理･研究･開放棟　鉄筋コンクリート３階建　５，３４６㎡（管理・研究部門、開放試験）

○実験棟　　鉄筋コンクリート３階建　２，４１４㎡（実験施設）

○付属施設　　１６５㎡（車庫・駐輪場等）

○インキュベートセンター　鉄骨平屋建　　８７６㎡

エ　浜松工業技術支援センター（浜松市）

（ア）敷地面積　２８，２３８㎡

（イ）建築面積　　５，７９２㎡

（ウ）延床面積　１１，１４２㎡

○管理研究棟　鉄筋コンクリート４階建　５，０２３㎡（管理・研究部門）

○開放棟　　鉄筋コンクリート２階建　１，２７６㎡（開放試験･共同研究･講習研修施設）

○実験棟　　鉄筋コンクリート２階建　３，３０９㎡（実験施設）

○付属棟　　１２８㎡（排水処理施設・薬品庫等）

○車載機器EMCテストサイト　鉄骨平屋建　　５３１㎡（実験施設）

○インキュベートセンター　鉄骨平屋建　　８７５㎡

（５）組織図

令和５年７月31日現在の工業技術研究所の組織及び業務分担は、次のとおりである。
職員総数は事務職員９人、技術職員91人、再任用職員11人、会計年度任用職員30人の計141人である。

- 工業技術研究所　（静岡市）（職員数54人、会計年度任用職員6人）
  - 沼津工業技術支援センター　（沼津市）（職員数14人、会計年度任用職員3人）
  - 富士工業技術支援センター　（富士市）（職員数15人、会計年度任用職員6人）
  - 浜松工業技術支援センター　（浜松市）（職員数28人、会計年度任用職員15人）

ア　工業技術研究所（静岡市）

職員数は事務職員４人、技術職員46人、再任用職員４人、会計年度任用職員6人の計60人である。

- 所　長
  - 次　長（総務課長兼務）
    - 総務班 …予算、経理、人事、財産管理、物品出納等
      - 班長　1人
      - 主査　1人
      - 主任　2人
  - 企画調整部長
    - 企画調整班 …研究所間の連絡調整・連携、総合相談窓口、情報収集分析、技術情報提供、産学官連携推進
      - 班長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 主任　1人
      - 主事　1人
  - 研究統括官
    - 金属材料科 …冶金技術、金属の腐食・防食技術、分析評価技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 主任　1人
      - 研究員　1人
    - 化学材料科 …有機系材料の合成技術、利用技術、分析評価技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 主任研究員　2人
    - 機械電子科 …CAD／CAM／CAE技術、製造プロセス技術、電子計測・制御、ネットワーク応用技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　1人
      - 主任研究員　4人
    - 照明音響科 …照明技術、音響技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　3人
  - 研究統括官
    - 食品科 …食品生体機能調節・物理特性評価技術 食品製造プロセス・自動化技術、食品加工技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 主任研究員　2人
      - 研究員　1人
    - 環境エネルギー科 …高度なリサイクル技術、環境調和型の新生産技術、資源エネルギー等の利用技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　3人
      - 主任研究員　1人
    - ユニバーサルデザイン科 …人間工学に基づくUD製品設計・評価技術 CAD・CG活用によるデザイン企画・開発
      - 科長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 主任　2人
    - 工芸科 …木質材料の利用技術、快適で安全な住環境開発、工芸関連製品の高度化技術 ものづくり産業への支援
      - 科長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 主任研究員　1人

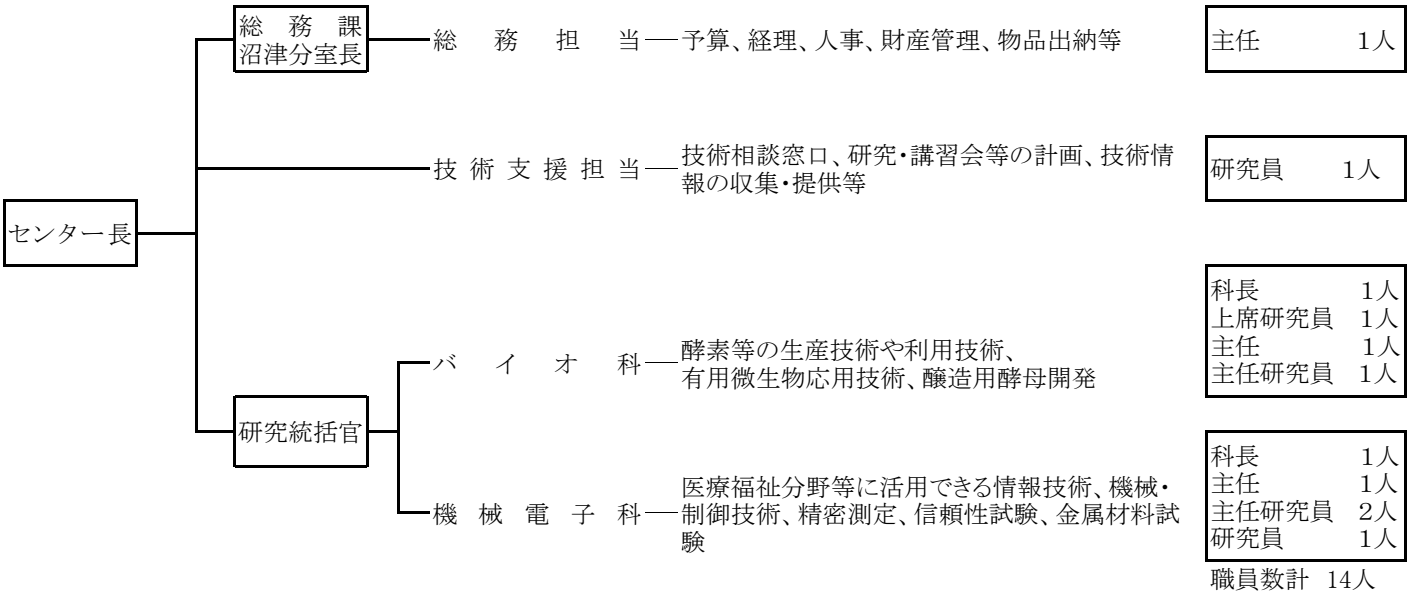
職員数計　54人

（その他会計年度任用職員等）

職　名	人数
会計年度任用職員	6人

イ　沼津工業技術支援センター（沼津市）

職員数は事務職員１人、技術職員10人、再任用職員３人、会計年度任用職員３人の計17人である。

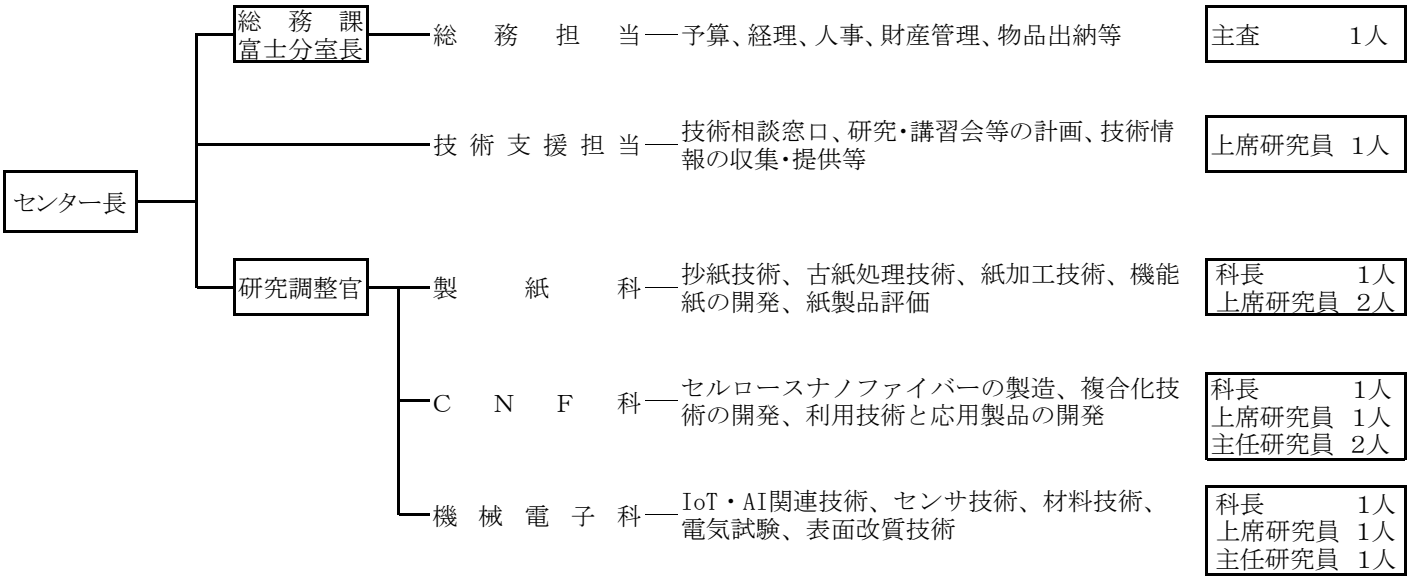


（その他会計年度任用職員等）

職　　名	人数
会計年度任用職員	3

ウ　富士工業技術支援センター（富士市）

職員数は事務職員２人、技術職員13人、会計年度任用職員6人の計21人である。

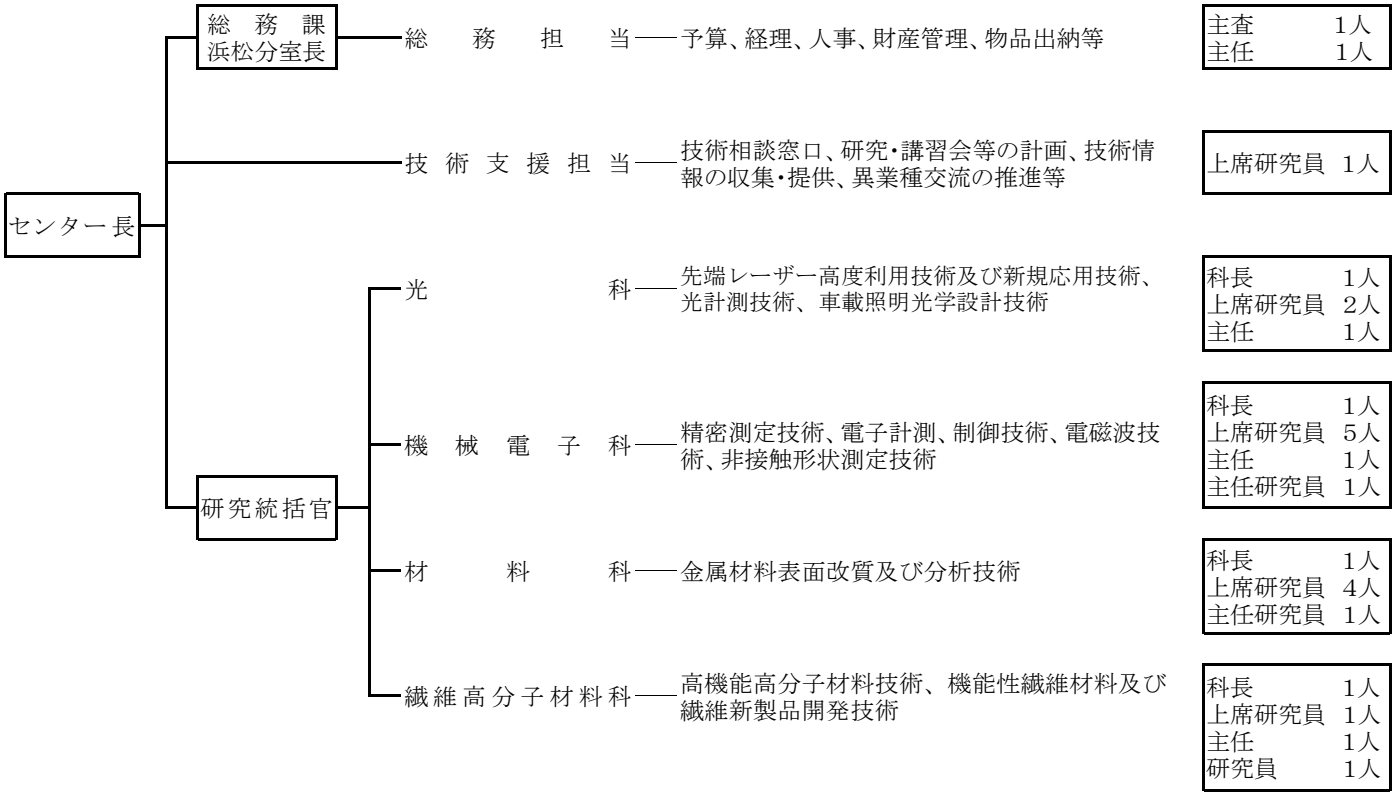


（その他会計年度任用職員等）

職　　名	人数
会計年度任用職員	6

エ　浜松工業技術支援センター（浜松市）

職員数は事務職員２人、技術職員22人、再任用職員４人、会計年度任用職員15人の計43人である。



職員数計　28人

（その他会計年度任用職員等）

職　　名	人数
会計年度任用職員	15人

２　事務又は事業の目的、計画及び実績（成果）並びに評価（課題等）及び改善

（１）総務事務

（目　的）

工業技術研究所総務課及び各工業技術支援センター総務課分室において、人事管理、予算、経理、財産管理、安全衛生・健康管理、職員研修等の業務を行い、職員が快適かつ安心して仕事に専念できる職場環境づくりに努める。

（実　績）

ア　人事管理について

工業技術研究所全体の職員総数は、令和５年７月31日現在で、141人である（事務職員９人、技術職員91人、再任用職員11人、会計年度任用職員30人）。

そのうち、工業技術研究所（静岡市）が60人（事務職員４人、技術職員46人、再任用職員４人、会計年度任用職員６人）、沼津工業技術支援センターが17人（事務職員１人、技術職員10人、再任用職員３人、会計年度任用職員３人）、富士工業技術支援センターが21人（事務職員２人、技術職員13人、会計年度任用職員６人）、浜松工業技術支援センターが43人（事務職員２人、技術職員22人、再任用職員４人、会計年度任用職員15人）である。

職員の配置については、各々の職員が最大限に能力を発揮できるよう専門分野等を考慮し、適切な職場配置に努めている。

イ　予算執行及び財産管理について

予算執行に当たっては、費用対効果を検証し、常にコスト意識を持って効率的な執行に努めている。また、財産管理では、関係法令等を遵守し、適正に取り組んでいる。

ウ　事務の執行について

事業の円滑な推進を図るため、工業技術研究所及び各支援センターにおいて、毎月定期的に幹部職員会議あるいは全体会議を開催し、各科・各スタッフ間の連絡調整及び職員間の意思疎通を図っている。

さらに、工業技術研究所と各支援センター間の連携を密にするため、定期的に所長・センター長会議及び企画調整会議（企画調整部主催）等を開催している。

また、職員の資質向上や研究業務に必要な情報収集等のため、各種団体等が開催する講演会、研修会等にも積極的に参加させ、専門知識や技能の習得等に努めている。

エ　職員の安全衛生・健康管理について

工業技術研究所・各支援センターとも、地理的条件から、自家用車等による通勤者が多く、出張等にも車は欠かせないため、公用車には「安全運転の心得」や「事故発生時対応マニュアル」の配置、職員全員に万が一の時のため「事故対策マニュアル」を配布するなど、交通安全については機会あるごとに周知徹底を図っている。

健康管理については、定期健康診断、人間ドック等の健康診断のほか、特別健康診断（特定化学物質取扱、有機溶剤取扱、放射線等の業務従事者）を年２回実施している。

（評価・改善）

・　交通事故等の防止

交通事故は、工業技術研究所全体で、令和２年度は２件、令和４年度は１件、令和５年度は１件、発生している。令和３年度は発生していない。

工業技術研究所及び各支援センターでは、幹部会議・職員会議、館内放送などにより、繰り返し職員全員に対し交通安全の徹底の呼び掛けを行うなど、意識の高揚を図っている。さらに、職員による交通安全標語の作成、掲示を行うとともに、交通安全講習会の独自開催や研修会への積極的な参加を図っている。

・　労働安全衛生・健康管理

労働安全衛生に関する講習会を年１回実施するなど、職員の労働安全に対する意識の改革に努めている。また、幹部職員等による職場巡視を定期的に実施することにより、業務中における事故防止に努めている。

工業技術研究所全体の職員の健康管理区分は、Ｃ区分が２名、Ｄ区分が104名である。

工業技術研究所では、特に、精神面での健康管理を重視し、健康指導課と共催でメンタルヘルスセミナーを開催している。引き続き、時間外勤務の縮減や休暇取得の促進を図るなど、職員の健康管理に努めている。

（２）　試験研究、調査及び指導事務

（目　的）

産業構造の変化や技術の進展等への対応が不可欠となっている中小企業支援のため、研究開発や技術相談、依頼試験、設備使用及び講習会、技術情報提供などで中小企業の技術力向上に努めている。

（計画・実績）

計画と実績は下表のとおりである。

ア　研究開発

（ア）研究課題　　（令和５年度は７月31日現在）

	令和４年度	令和５年度
工業技術研究所	３１件	２１件
沼津工業技術支援センター	７件	７件
富士工業技術支援センター	８件	８件
浜松工業技術支援センター	２０件	１１件
総課題件数	６６件	４７件

ａ　令和４年度研究課題数

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
工業技術研究所	4	9	6	5	7	３１
沼津工業技術支援センター	1	0	2	0	4	7
富士工業技術支援センター	1	1	6	0	0	8
浜松工業技術支援センター	3	4	5	0	8	２０
合計	9	１４	１９	5	１９	６６

（ａ）工業技術研究所の研究課題の内訳　（単位:件）

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
金属材料科	0	2	1	2	1	6
化学材料科	0	0	3	0	0	3
機械電子科	1	0	1	0	0	2
照明音響科	1	1	0	1	0	3
食品科	2	3	0	1	0	6
環境エネルギー科	0	1	0	0	4	5
ユニバーサルデザイン科	0	0	1	0	0	1
工芸科	0	2	0	1	2	5
合計	4	9	6	5	7	３１

（ｂ）沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳　（単位:件）

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
バイオ科	1	0	1	0	2	4
機械電子科	0	0	1	0	2	3
合計	1	0	2	0	4	7

（ｃ）富士工業技術支援センターの研究課題の内訳　（単位:件）

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
製紙科	0	1	1	0	0	2
ＣＮＦ科	1	0	3	0	0	4
機械電子科	0	0	2	0	0	2
合計	1	1	6	0	0	8

（ｄ）浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳　（単位:件）

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
光科	1	2	2	0	0	5
機械電子科	0	1	2	0	0	3
材料科	1	1	1	0	7	１０
繊維高分子材料科	1	0	0	0	1	2
合計	3	4	5	0	8	２０

b　令和４年度研究課題名一覧

（ａ）工業技術研究所研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	食品科	
継続 R3～	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	照明音響科	
新規	設備、モノ、ヒトの統合的データ分析による生産性の効率化	機械電子科	
新規	静岡発ドライマンナンを用いた培養肉の開発	食品科	チャレンジ研究枠
県単独研究			
継続 R2～	セルロースナノファイバーによる香り成分の徐放機構の解明及び放散制御技術の開発	食品科	科学研究費助成事業（学振）
継続 R3～	バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発	金属材料科	
継続 R3～	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	食品科	科学研究費助成事業（学振）
継続 R3～	微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発	環境エネルギー科	
継続 R3～	居住空間における木材･木製品等の変色に関する研究	工芸科	
継続 R3～	県産材の屋外使用に向けた防腐･防蟻処理技術の開発	工芸科	
新規	摩擦攪拌接合を適用した半溶融成形鋳物継手の技術開発	金属材料科	
新規	機械学習によるＢＲＤＦの高分解能化手法の開発	照明音響科	科学研究費助成事業（学振）
新規	抗炎症効果のある伊豆特産サクラ葉抽出物の素材化と作用機序解析	食品科	
一般共同研究			
継続 R2～	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	機械電子科	つながる工場テストベッド事業（産総研）
継続 R3～	介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発	ユニバーサルデザイン科	
継続 R3～	アルミニウム鋳造品用異種素材の固相接合技術の研究開発	金属材料科	次世代自動車技術革新対応促進助成事業（財団）
新規	資源循環型システムを志向した樹脂複合材のテラヘルツ波による非破壊検査手法の開発	化学材料科	
新規	カーボンニュートラルに貢献するリサイクル樹脂複合材の開発	化学材料科	

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	自動車用途向けＣＮＦオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	化学材料科	
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 R2～	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発	金属材料科	先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）
継続 R2～	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化	照明音響科	国際標準化事業（経産省）
継続 R3～	バイオマス素材を原料とした白金担持炭素材料の燃料電池発電特性	工芸科	課題提案型研究助成（スズキ財団）
新規	エアコンの省エネ性能を躍進する軽量高剛性スクロールの量産化システムの開発	金属材料科	新成長産業戦略的育成事業助成事業事業化推進助成事業（財団）
新規	エラ抽出物の腸内細菌叢改善作用の研究	食品科	MaOI-FS （MaOI機構）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	ポリプロピレン(PP)/CNF複合材への高密着なめっき技術の開発	金属材料科	
新規	蒸留所から発生する高濃度廃液を利用した高効率メタン発酵手法の開発	環境エネルギー科	
新規	長期の連続式メタン発酵試験によるサプリメント製造残渣の適性評価	環境エネルギー科	
新規	バイオリファイナリーを活用した食品廃棄物再資源化のための可溶化技術の開発	環境エネルギー科	
新規	実験室規模水素発酵装置による水素生産最適条件の検討	環境エネルギー科	
新規	サウナ用ウッドジョイントデッキの耐熱・耐荷重試験	工芸科	
新規	木質活性炭への白金担持と燃料電池性能評価	工芸科	

注）学振：(独)日本学術振興会、産総研：（国研）産業技術総合研究所、財団：（公財）静岡県産業振興財団、経産省：経済産業省、県新産課：静岡県新産業集積課

（ｂ）沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	バイオ科	
一般共同研究			
継続 R3～	本県独自の清酒用種麹の開発フローの構築	バイオ科	
継続 R3～	二軸引張試験を活用した難成形材プレスシミュレーションの高精度化	機械電子科	
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	国産高麗人参エキスの微生物発酵による有効成分変換機構の解明	バイオ科	
新規	医療用金属材料の材料評価及び高温成形加工を活用した新たな加工方法の検討	機械電子科	
新規	温間プレス成形後の材料評価	機械電子科	
新規	自然界分離酵母のビール醸造適性評価	バイオ科	

（ｃ）富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
新規	プラスチック資源循環実現のためのCNF複合樹脂リサイクル技術の開発	ＣＮＦ科	政策課題指定枠
県単独研究			
新規	加温処理による紙の低密度化に関する研究	製紙科	
一般共同研究			
継続 R3～	深層学習を用いた画像解析による牛群中での子牛の疾病検知システムの開発	機械電子科	科学研究費助成事業（学振）
新規	プラズマ照射によるクロム酸フリーめっき技術の開発	機械電子科	
新規	廃棄衣料をリサイクルするための製紙技術の開発	製紙科	
新規	マイクロ波減圧乾燥による CNF 濃縮技術の開発	ＣＮＦ科	
新規	リファイナーを用いた低コストCNF製造技術の開発	ＣＮＦ科	

新規	自動車用途向けＣＮＦオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	ＣＮＦ科	

注）学振：(独)日本学術振興会

（ｄ）浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（ＣＦＲＰ）の高効率成形技術の確立	繊維高分子材料科	
継続 R3～	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	光科	
新規	積層造形を活用した新たなものづくり技術の開発に向けた調査研究	材料科	政策課題枠
県単独研究			
継続 R2～	車載機器ＥＭＣ試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	機械電子科	
継続 R3～	多波長イメージングによる高速表面粗さ測定法の開発	光科	科学研究費助成事業（学振）
新規	ＥＶ向けコネクタ･スイッチ用めっきの特性向上に関する研究	材料科	
新規	レーザーピーニングのデータベースの構築	光科	
一般共同研究			
継続 R3～	高周波焼入ロボットの研究開発	機械電子科	産学官連携研究開発助成事業（財団）
継続 R3～	めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発	材料科	助成研究一般発展型（東海財団）
新規	中赤外線レーザーによる樹脂成形品切断技術の開発	光科	
新規	繊維への微細マーキングの高速化	光科	
新規	IoT・機械学習を活用した長期稼働機器の遠隔診断技術の開発	機械電子科	
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	生分解性プラスチックの紡糸条件の検討と海洋生分解性の評価に関する研究	繊維高分子材料科	
新規	粉末冶金用金属粉末の粉体特性評価	材料科	
新規	撥液めっきにおけるめっき金属種の検討	材料科	
新規	輸送機器用部品向け結晶華飾処理技術の開発	材料科	

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新規	蓄熱材の熱物性評価	材料科	
新規	ＥＰＭＡ分析向け特殊形状試料固定用サンプルホルダーの作成	材料科	
新規	ガラスコーティング剤のアクセサリー類への適用と性能評価	材料科	
新規	セメンタイトの析出形態に及ぼす熱処理条件の影響	材料科	

注）学振：(独)日本学術振興会、経産省：経済産業省、JST：（国研）科学技術振興機構、
財団：(公財)静岡県産業振興財団、東海財団：（一財）東海産業技術振興財団

ｃ　　令和５年度研究課題数（７月31日現在）

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金 による 研究	競争的 資金 以外の 研究	
工業技術研究所	3	7	4	1	6	２１
沼津工業技術 支援センター	0	1	1	0	5	7
富士工業技術 支援センター	1	3	4	0	0	8
浜松工業技術 支援センター	2	2	3	0	4	１１
合計	6	１３	１２	1	１５	４７

（ａ）工業技術研究所の研究課題の内訳　　（単位:件）

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
金属材料科	0	1	1	1	1	4
化学材料科	0	0	3	0	0	3
機械電子科	1	0	0	0	0	1
照明音響科	1	1	0	0	0	2
食品科	1	1	0	0	2	4
環境エネルギー科	0	2	0	0	3	5
ユニバーサルデザイン科	0	1	0	0	0	1
工芸科	0	1	0	0	0	1
合計	3	7	4	1	6	２１

（ ）内は内数

（ｂ）沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳　（単位:件）

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
バイオ科	0	1	1	0	3	5
機械電子科	0	0	0	0	2	2
合計	0	1	1	0	5	7

（ｃ）富士工業技術支援センターの研究課題の内訳　（単位:件）

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
製紙科	1	1	0	0	0	2
ＣＮＦ科	0	1	3	0	0	4
機械電子科	0	1	1	0	0	2
合計	1	3	4	0	0	8

（ｄ）浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳　（単位:件）

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
光科	1	0	0	0	0	1
機械電子科	0	0	2	0	0	2
材料科	1	1	1	0	3	6
繊維高分子材料科	0	1	0	0	1	2
合計	2	2	3	0	4	１１

b　令和５年度研究課題名一覧

（ａ）工業技術研究所研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新成長戦略研究			
継続 R3～	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	照明音響科	
継続 R4～	設備、モノ、ヒトの統合的データ分析による生産性の効率化	機械電子科	
新規	乳酸菌発酵による食品の感覚応答の増強・減弱	食品科	チャレンジ研究枠
県単独研究			
継続 R3～	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	食品科	科学研究費助成事業（学振）
継続 R4～	半溶融成形法の高度化技術開発	金属材料科	
新規	高結晶コーヒーかす活性炭への白金埋込による高耐久性燃料電池触媒の開発	環境エネルギー科	科学研究費助成事業（学振）
新規	好気性グラニュールを利用した省スペース型高濃度窒素排水処理装置の開発	環境エネルギー科	
新規	加工材における変形挙動再現の検討	ユニバーサルデザイン科・工芸科	
新規	リサイクルパルプ繊維を活用した塗り壁材の開発	工芸科	
新規	音声認識技術を用いた自動車室内音環境の評価に関する研究	照明音響科	
一般共同研究			
継続 R4～	資源循環型システムを志向した樹脂複合材のテラヘルツ波による非破壊検査手法の開発	化学材料科	
継続 R4～	自動車用途向けＣＮＦオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	化学材料科	
新規	ポリプロピレン／セルロース繊維複合材射出成形品への高密着なめっき技術の開発	金属材料科	
新規	ＣＮＦ複合樹脂を用いた発泡ブロー成形技術の開発	化学材料科	
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 R4～	エアコンの省エネ性能を躍進する軽量高剛性スクロールの量産化システムの開発	金属材料科	新成長産業戦略的育成事業助成事業事業化推進助成事業（財団）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	持続可能な地産地消型バイオガスエネルギー供給技術の開発と実証	環境エネルギー科	

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	バイオマス由来活性炭を白金担体とした燃料電池触媒の性能向上	環境エネルギー科	
新規	特殊鋳鉄鋳物の耐食性に関する研究	金属材料科	
新規	微生物培養に適した食品残渣培地組成の検討	環境エネルギー科	
新規	魚残渣の骨代謝改善作用の研究	食品科	
新規	ラペソーと梅ヶ島食べる乳酸発酵茶の比較研究（好まれる嗜好について）	食品科	

注）学振：(独)日本学術振興会、産総研：（国研）産業技術総合研究所、財団：（公財）静岡県産業振興財団、経産省：経済産業省、県新産課：静岡県新産業集積課

（ｂ）沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
県単独研究			
継続 R4～	抗炎症効果のある伊豆特産サクラ葉抽出物の素材化と作用機序解析	バイオ科	
一般共同研究			
継続 R3～	本県独自の清酒用種麹の開発フローの構築	バイオ科	
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	温間プレス成形後の材料評価	機械電子科	
新規	高温成形加工を活用した新たな加工方法の検討	機械電子科	
新規	自然界分離酵母のビール醸造適性評価	バイオ科	
新規	熱海の未活用魚からの酵母単離とビール醸造適性の評価	バイオ科	
新規	令和５年静岡県清酒鑑評会における出品酒の成分分析とそれら成分が官能評価に与える影響に関する調査研究	バイオ科	

（ｃ）富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
新規	サステナブルファッションに寄与する廃棄衣料を利用した製紙技術の開発	製紙科	政策課題指定枠
県単独研究			
継続 R4～	加温処理による紙の低密度化に関する研究	製紙科	
新規	ＡＩを活用した古紙原料の判別に関する研究	機械電子科	
新規	植物由来の新素材「ＣＮＦ」を使って環境にやさしい社会を実現させたい！	ＣＮＦ科	クラウドファンディング型研究
一般共同研究			
継続 R3～	深層学習を用いた画像解析による牛群中での子牛の疾病検知システムの開発	機械電子科	科学研究費助成事業（学振）
継続 R4～	マイクロ波減圧乾燥によるＣＮＦ濃縮技術の開発	ＣＮＦ科	

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
継続 R4～	リファイナーを用いた低コストCNF製造技術の開発	ＣＮＦ科	
継続 R4～	自動車用途向けＣＮＦオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	ＣＮＦ科	

注）学振：(独)日本学術振興会

（ｄ）浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R3～	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	光科	
新規	金属３Ｄプリンタを活用したものづくり支援のための積層造形技術開発	材料科	
県単独研究			
継続 R4～	ＥＶ向けコネクタ･スイッチ用めっきの特性向上に関する研究	材料科	
新規	熱可塑性炭素繊維強化複合材料（CFRTP）の循環利用	繊維高分子材料科	
一般共同研究			
継続 R3～	めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発	材料科	助成研究一般発展型（東海財団）
継続 R4～	IoT・機械学習を活用した長期稼働機器の遠隔診断技術の開発	機械電子科	
新規	簡易的な電波到来方向推定システムの開発	機械電子科	
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	レザーシート基布の水平リサイクルに向けたペレット化手法の確立	繊維高分子材料科	
新規	金型を用いた等温熱処理の金属組織の影響	材料科	
新規	EPMAによる機械構造用炭素鋼の炭素含有率の推定	材料科	
新規	3Dプリンタを用いたレーザ溶接用シールドガス導入機構の検討	材料科	

注）学振：(独)日本学術振興会、経産省：経済産業省、JST：（国研）科学技術振興機構、
財団：(公財)静岡県産業振興財団、東海財団：（一財）東海産業技術振興財団

（イ）外部研究員招へい事業
（目的）
職員の高度技術分野の研究開発能力を向上させ、高度技術関連の研究開発の円滑な推進を図るために、外部研究員を招へいしている。
（実績・計画）
実績及び計画は下表のとおりである。

	令和４年度		令和５年度（７月31日現在）	
	人数	指導時間	人数	指導時間
工業技術研究所	１１	６３	１（８）	１２（５２）
沼津工業技術支援センター	6	２７	０（６）	０（２６）
富士工業技術支援センター	3	３２	１（３）	３（３３）
浜松工業技術支援センター	5	５１	１（６）	６（４９）
合計	２５	１７３	３（２３）	２１（１６０）

※　括弧内は計画

ａ　令和４年度外部研究員

（ａ）工業技術研究所外部研究員

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間（計画）
□□ □□□	ありなす	分析化学、複合材料、高分子	赤外分光分析を用いた高分子材料の評価法	4
□□ □□	鳥取大学	糖質化学、糖鎖の化学合成、糖鎖の単離と構造決定	食品・天然物の糖鎖分析に関する手法について	4
□□ □□	静岡大学	木材及びその接着技術	ダンピング試験機による木材接着評価について	１２
□□□ □□	早稲田大学	人間生活工学、安全人間工学、経営システム工学	安全人間工学の理論と技術	3
□□ □□	関東学院大学	材料工学	高密着な樹脂めっき作製方法について	8
□□ □□	常葉大学	栄養化学、食品機能学	食品成分の機器分析	8
□□□ □	静岡県立大学	食品工学	クリープメータによる食品の物性測定について	4
□□ □□	静岡大学	地球微生物学	食品残渣を原料とした微生物発酵によるバイオガス生産について	4
□□　□	産業技術総合研究所	医療福祉工学	福祉機器開発について	4
□□ □□	静岡大学	環境微生物学	食品残渣を原料とした微生物発酵によるバイオガス生産について	4
□□ □□	株式会社 TEK	CAE 技術	工芸分野への CAE 技術の応用	8
合計　１１　人			合計　６３　時間	

（ｂ）沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

氏　名	所　　属	専　門	指導を受ける内容	指導時間（計画）
□□　□	（独）酒類総合研究所	応用微生物学	醸造用酵母に関するゲノム解析及び育種手法について	3
□□ □□	サレジオ工業高等専門学校	生体高分子材料	生体高分子材料の成型方法及び医療機器への応用について	4
□□　□	東京農業大学	醸造学	酒類製造技術及び関連試験手法について	6
□□ □□	東京農業大学	醸造学	製麹試験について	3

□□ □□	東北大学	生体適合性材料	医療用材料の加工技術について	4
□□ □□	静岡大学大学院	塑性加工	二軸及び単軸引張試験結果に基づく降状局面の作成	7
合計 6 人			合計 ２７ 時間	

（ｃ）富士工業技術支援センター外部研究員一覧

氏　名	所　　属	専　門	指導を受ける内容	指導時間（計画）
□　□□	沼津工業高等専門学校	振動工学、信号処理技術	PyTorch の基礎、牛の疾病検知に関する研究、深層学習・機械学習の手法について	１２
□　□□	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	製紙工学	廃棄衣料をリサイクルするための製紙技術の開発	4
□□ □□	東京農工大学大学院	紙パルプ科学、セルロース科学、ナノ材料学	加温処理による紙の低密度化に関する指導、製紙概要	１６
合計 3 人			合計 ３２ 時間	

（ｄ）浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

氏　名	所　　属	専　門	指導を受ける内容	指導時間（計画）
□□ □□	合同会社 EMCDOC	EMC 関連	車載機器の EMC 測定試験のノウハウについて	6
□□ □□	近畿大学	金属材料	金属３Ｄプリンタの造形と評価方法	１２
□□ □□	兵庫県立大学	金属粉末	金属粉末の作製と評価方法	9
□□ □□	福島テック	高分子材料、複合材料	高分子材料の成形加工技術	１２
□□ □□	理化学研究所	高分子材料	高分子材料の成形加工技術	１２
合計 5 人			合計 ５１ 時間	

b　令和５年度外部研究員（７月31日現在）

（ａ）工業技術研究所外部研究員

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間（計画）
□□ □□	東京大学大学院	バイオマス材料、木材科学	キチン・キトサンファイバーを添加した抗菌塗料の開発	１２
□□ □□	関東学院大学	材料工学	高密着な樹脂めっき作製方法について	（８）
□□ □□	㈱ベンチャー･アカデミア	防食、水質化学	電気化学試験の腐食評価への活用	（４）
□□ □□	中部大学	音声情報処理	音声認識技術を用いた自動車室内音環境の評価に関する研究	（１２）
□□　□	福井技術士事務所	化粧品	化粧品開発の基礎及びエマルション制御技術について	（４）
□□　□	エネルギー総合工学研究所	エネルギー工学	水素エネルギー、燃料電池、バイオマス利用について	（１２）
□□ □□	福井大学大学院	電気・電子工学	最適な枕を科学的に分析する	（４）
□□ □□	大阪河﨑リハビリテーション大学	リハビリテーション、作業療法	患者様が自ら幸せをつかむことができる自助具の開発	（４）
□□ □□	国際医療福祉大学	リハビリテーション科学、福祉用具・支援機器	身体障害に対する作業療法	（４）
合計　１　人（計画　８　人）			合計　１２　時間（計画　５２　時間）	

（ｂ）沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

氏　名	所　　属	専　門	指導を受ける内容	指導時間（計画）
□□ □□	東北大学	生体適合性材料	医療用材料の加工技術について	（４）
□□　□	東京農業大学	醸造学	酒類製造技術及び関連試験手法について	（６）
□□ □□	東京農業大学	醸造学	製麹試験について	（３）
□□ □□	静岡大学	応用微生物学	本県独自の清酒用種麹の開発フローの構築	（４）
□□ □□	静岡大学	細胞生物学	本県独自の清酒用種麹の開発フローの構築	（６）
□□　□	農研機構	食品衛生微生物学	食品衛生と HACCP に関する指導	（３）
合計　０　人（計画　６　人）			合計　０　時間（計画　２６　時間）	

（ｃ）富士工業技術支援センター外部研究員一覧

氏　名	所　　属	専　門	指導を受ける内容	指導時間（計画）
□□ □□	東京農工大学大学院	紙パルプ科学、セルロース科学、ナノ材料学	加温処理による紙の低密度化に関する指導、製紙概要	３（１３）
□　□□	沼津工業高等専門学校	振動工学、信号処理技術	深層学習を用いた画像解析による牛群中ので子牛の疾病検知システムの開発	（８）
□　□□	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	製紙工学	廃棄衣料をリサイクルするための製紙技術の開発	（４）
□□ □□	中部大学	機械知覚、ロボティクス	深層学習を用いた画像解析による牛群中ので子牛の疾病検知システムの開発	（８）
合計　１　人（計画　３　人）			合計　３　時間（計画　３３　時間）	

（ｄ）浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

氏　名	所　　属	専　門	指導を受ける内容	指導時間（計画）
□□ □□	兵庫県立大学	金属粉末	金属粉末の作製と評価方法	６（３）
□□ □□	福井大学大学院	光学関係	光学的計測方法の基礎と応用	（４）
□□ □□	㈱TEK	CAE	SOLIDWORKS による伝熱、熱流体及び構造解析	（１８）
□□ □□	近畿大学	金属材料	金属３Ｄプリンタの造形と評価方法	（６）
□□ □□	静岡大学	高分子材料	高分子材料の成形加工技術	（８）
□□ □□	理化学研究所	高分子材料	高分子材料の成形加工技術	（４）
□□ □□	CFRP 研究会	高分子材料・複合材	高分子材料の成形加工技術	（６）
合計　１　人（計画　６　人）			合計　６　時間（計画　４９　時間）	

（ウ）　特許等の登録及び出願

令和５年７月31日現在出願中の特許等は12件、登録は42件

a　研究所及び各支援センターの出願及び登録件数

	出願中件数	登録件数
工業技術研究所	7	２３[1)]
沼津工業技術支援センター	0	1
富士工業技術支援センター	0	4
浜松工業技術支援センター	５[2)]	１４[3)]
合計	１２	４２

１）意匠登録２件を含む。（内１件は外国での意匠登録）

２）外国で特許出願中の４件を含む。

３）外国登録特許６件を含む。

b　令和４年度及び令和５年度の特許等出願、登録及び消滅件数

	令和４年度			令和５年度（７月31日現在）		
	出願件数	登録件数	消滅件数	出願件数	登録件数	消滅件数
工業技術研究所	2	4	3	0	1	2
沼津工業技術支援センター	0	1	1	0	0	0
富士工業技術支援センター	0	1	0	0	0	0
浜松工業技術支援センター	0	0	0	0	0	1
合計	2	6	4	0	1	3

c　特許等出願・登録の内訳

（ａ）工業技術研究所が所有する特許等一覧表　（令和５年７月31日現在）

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H18.1.10	2006-2927	H20.2.22	第4084821号	アルミニウム合金鋳造素材の製造方法	共同
特許	H18.4.19	2006-115842	H23.11.4	第4852679号	チェックアウト装置	共同
特許	H18.8.31	2006-235622	H23.12.16	第4882058号	作業支援装置	共同
特許	H18.8.31	2006-235623	H24.8.3	第5050170号	作業支援装置	共同
特許	H18.8.31	2006-235624	H23.12.16	第4882059号	袋詰め作業台	共同
特許	H20.12.10	2008-313874	H25.12.20	第5438954号	入浴用リフト装置	共同
特許	H22.1.6	2010-855	H26.9.5	第5604877号	体躯接触具	共同
特許	H22.9.6	2010-198731	H27.4.10	第5724102号	室内照度シミュレーション方法およびシステム	共同
特許	H24.4.4	2012-85130	H28.12.2	第6048639号	マットレスの製造方法及びマットレスの設計方法	共同
特許	H24.9.3	2012-193633	H29.2.10	第6086677号	揮発性成分の計測方法及び装置	共同
特許	H28.3.30	2016-69585	R2.8.14	第6749554号	弾性構造体の製造方法	共同
特許	H28.8.3	2016-152600	R2.9.7	第6759494号	吸音パネル	共同
特許	H29.6.30	2017-129696	R4.11.8	第7173476号	化粧用香料組成物並びにその製造方法	共同
特許	H29.7.28	2017-146065	R3.9.30	第6952529号	熱可塑性複合樹脂、該樹脂を用いた３Ｄプリンタ用フィラメント及びそれらの製造方法	共同
特許	H29.9.1	2017-168394	R1.12.27	第6634579号	セルロースナノファイバー濃縮、乾燥品の製造方法とセルロースナノファイバー再分散液の製造方法	共同
特許	H30.3.7	2018-40490	R4.10.4	第7152865号	活性炭の製造方法	共同
特許	H30.3.7	2018-40491	R4.12.15	第7195053号	活性炭の製造方法	共同
特許	R1.9.25	2019-174106	R3.9.8	第6941263号	セルロースナノファイバー濃縮、乾燥品の製造方法とセルロースナノファイバー再分散液の製造方法	共同
特許	R1.10.15	2019-188658	R3.10.21	第6964300号	廃石膏ボードの石膏を利用したリン回収技術	共同
特許	R2.2.18	2020-252238	―	―	冷爽感持続性薬液並びにこれを含浸させた清拭用シート並びにそれらの製造方法	共同
特許	R2.12.23	2020-213685	R5.7.13	第7313329号	ポリプロピレン系樹脂組成物、ポリプロピレン系樹脂製の被めっき対象物、金属層付きポリプロピレン系樹脂製品及びその製造方法、ポリプロピレン系樹脂製配線基材及びその製造方法	共同

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	R3.2.19	2021-25341	―	―	ネットワーク構成模型	県単
特許	R3.2.25	2021-29000	―	―	機能性香料を有する皮膚化粧料並びにその製造方法	共同
特許	R3.3.10	2021-38788	R4.4.14	第7058403号	グルコマンナンを含有する多孔質体	共同
特許	R4.2.4	2022-16581	―	―	活性酸素種産生の抑制または低減のための組成物	共同
特許	R4.3.17	2022-42793	―	―	湿式摩擦材、および湿式摩擦材を用いた湿式摩擦板	共同
特許	R4.11.28	2022-188996	―	―	□□□□	共同
特許	R4.12.26	2022-207998	―	―	□□□□□□□□□□□□□□	共同
意匠	H29.3.22	2017-500697	H30.3.9	第1601162号	Lever knob for a toggle clamp ※1	共同
意匠(欧州)	H29.3.22	DM/096553	H29.9.28	DM/096553	Lever knob for a toggle clamp ※2	共同

注）県単：県単独出願、共同：企業等との共同出願

※１、※２はハーグ協定のジュネーブ改正協定に基づく意匠の国際登録制度を利用し、１回の手続で２カ国（日本と欧州）へ出願

（ｂ）沼津工業技術支援センターが所有する特許等一覧表　　（令和５年７月31日現在）

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	R3.6.30	2021-108277	R5.2.15	第7228202号	摩擦係数測定方法およびシミュレーション方法、摩擦係数測定装置およびシミュレーション装置、摩擦係数測定プログラムおよびシミュレーションプログラム	県単

注）県単：県単独出願、共同：企業等との共同出願

（ｃ）富士工業技術支援センターが所有する特許等一覧表　　（令和５年７月31日現在）

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H23.3.25	2011-68446	H27.4.10	第5725339号	熱板溶着用治具およびその製造方法、金属部材	共同
特許	H26.1.23	2014-10328	H30.10.26	第6421304号	撥水性を有する多孔質材及びこれを用いた音響透過材	共同
特許	H27.9.26	2015-189029	R2.2.7	第6656513号	生体情報監視システム	共同
特許	H31.2.21	2019-28955	R4.12.26	第7201170号	タオルペーパー	共同

注）共同：企業等との共同出願

（ｄ）浜松工業技術支援センターが所有する特許等一覧　　（令和５年７月31日現在）

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H17.3.31	2005-102818	H23.8.12	第4799893号	被加工糸のレーザマーキング方法及び装置	共同
特許	H20.3.31	2008-89869	H26.2.7	第5467670号	染色方法及び染色装置	共同
特許	H21.8.10	2009-185647	H21.12.25	第4430131号	レーザ溶融接合用ベルト素材及びレーザ接合方法	共同
特許	H22.1.26	2010-548511	H26.5.30	第5548886号	レーザマーキング方法	共同
特許	H24.6.4	2012-126739	H28.9.23	第6010349号	染色方法及び染色装置	共同
特許	H26.4.23	2014-088824	H29.9.15	第6205674号	微細繊維の製造方法	共同
特許	H28.6.20	2016-121855	R2.7.13	第6733904号	焼結体およびその製造方法	共同
特許	H29.2.6	2017-19162	R3.12.24	第6999273号	染色装置及び染色方法	共同
特許	R1.7.30	2019-140233	―	―	染色装置及び染色方法	共同
特許(欧州)	H21.3.23	09728217.2	H24.6.20	EP2261419B1	染色方法及び染色装置	共同
特許(米国)	H22.9.21	12/933,801	H29.1.3	9,534,344	染色方法及び染色装置	共同
特許(米国)	H22.1.26	13/145,847	H28.8.16	9,415,463	レーザマーキング方法	共同
特許(中国)	H22.1.26	201080005649.2	H27.9.30	102300717.B	レーザマーキング方法	共同
特許(欧州)	H24.6.4	12171233.5	H26.10.16	EP2532781B1	染色方法及び染色装置	共同
特許(米国)	H30.1.3	15/861136	R3.1.12	10,889,935	染色方法及び染色装置	共同
特許(米国)	R2.12.3	17/110767	―	―	染色方法及び染色装置	共同
特許(欧州)	R1.7.30	20188556.3	―	―	染色方法及び染色装置	共同
特許(中国)	R1.7.30	202010744402.8	―	―	染色方法及び染色装置	共同
特許(タイ)	R1.7.30	2001004258	―	―	染色方法及び染色装置	共同

注）共同：企業等との共同出願

イ　技術相談等

（ア）技術相談

（目的）

中小企業が直面している生産技術の問題や新素材・新製品開発、先端技術応用など広い範囲にわたり現場あるいは所内において技術指導を実施する。

（実績）

令和４年度及び令和５年度（７月31日現在）の実績は下表のとおりである。

	工業技術研究所		沼津工業技術支援センター		富士工業技術支援センター		浜松工業技術支援センター		合計	
年　度	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
技術相談	14,482	4,941	2,712	955	3,968	1,222	11,601	4,412	32,763	11,530
実地指導	1,313	633	200	80	282	104	207	296	2,002	1,113
合　計	15,795	5,574	2,912	1,035	4,250	1,326	11,808	4,708	34,765	12,643

a　工業技術研究所の相談件数

所　属	金属材料科		化学材料科		機械電子科		照明音響科	
年　度	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
技術相談	1,375	421	2,421	806	1,253	292	1,582	477
実地指導	48	38	63	32	90	41	51	41
合　計	1,423	459	2,484	838	1,343	333	1,633	518
所　属	食品科		環境エネルギー科		ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ科		工芸科	
年　度	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
技術相談	2,666	954	1,228	681	1,656	525	2,048	589
実地指導	354	87	244	86	196	148	181	51
合　計	3,020	1,041	1,472	767	1,852	673	2,229	640
所　属	その他		合計					
年　度	R4	R5	R4	R5				
技術相談	253	196	14,482	4,941				
実地指導	86	109	1,313	633				
合　計	339	305	15,795	5,574				

b　沼津工業技術支援センター相談件数

所　属	バイオ科		機械電子科		その他		合計	
年　度	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
技術相談	486	206	2,135	713	91	36	2,712	955
実地指導	183	47	7	3	10	30	200	80
合　計	669	253	2,142	716	101	66	2,912	1,035

c　富士工業技術支援センター相談件数

所　属	製紙科		ＣＮＦ科		機械電子科		その他	
年　度	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
技術相談	1,735	592	632	201	1,451	365	150	64
実地指導	45	14	62	54	74	12	101	24
合　計	1,780	606	694	255	1,525	377	251	88

所　属	合計	
年　度	R4	R5
技術相談	3,968	1,222
実地指導	282	104
合　計	4,250	1,326

d　浜松工業技術支援センター相談件数

所　属	光科		機械電子科		材料科		繊維高分子材料科	
年　度	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
技術相談	591	272	3,953	1,390	4,770	2,006	1,904	624
実地指導	26	67	18	58	103	49	39	25
合　計	617	339	3,971	1,448	4,873	2,055	1,943	649

所　属	その他		合計	
年　度	R4	R5	R4	R5
技術相談	383	120	11,601	4,412
実地指導	21	97	207	296
合　計	404	217	11,808	4,708

（イ）依頼試験、機器使用及び研修施設等使用

（目的）

企業からの依頼により、製品及び原材料などの各種試験・分析・測定などを行い、試験成績書を発行する。また、企業自ら研究所の設備機器を利用して試験を行う。

（実績）

令和４年度及び令和５年度（７月31日現在）の実績は下表のとおりである。

a　依頼試験の件数及び収入額

	令和４年度		令和５年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
依頼試験	37,044	38,031,810	5,147	9,900,260

b　機器使用及び研修施設等使用の時間数及び収入額

		令和４年度		令和５年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		65,144	93,542,030	28,926	31,356,340
研修施設等使用	研修施設	373	524,050	105	124,900
	無響室	173	648,750	30	112,500
	電波暗室	587	4,183,900	177	1,230,150
	車載機器用ＥＭＳ電波暗室	305	1,647,000	136	734,400
	車載機器用ＥＭＩ電波暗室	888	4,514,700	136	727,200
	ＢＣＩ試験室（シールドルーム）	176	705,900	68	265,200
	車載機器試験用シールドルーム	225	1,025,700	33	152,100
合　　計		67,871	106,792,030	29,611	34,702,790

c　依頼試験内訳（工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計）　　（令和５年度は７月31日まで）

		令和４年度		令和５年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1　分析	定性分析	1,907	11,157,910	632	3,714,550
	定量分析	681	3,054,630	206	1,244,630
2　工業用材料	材料強度試験	717	1,869,830	394	745,200
	長期性能試験	30,448	7,622,860	3,102	1,055,980
	特殊試験	960	5,075,850	162	785,220
3　木材工業	木材試験	64	458,160	1	2,520
	塗料試験	8	11,840	4	5,910
	製品試験	325	1,279,860	84	392,600
4　化学工業	金属表面処理試験	61	256,160	21	106,610
	プラスチック及びゴム試験	0	0	165	603,280
	微生物試験	5	21,950	2	9,440
	セラミックス試験	0	0	0	0
	熱勘定試験	0	0	0	0
5　機械金属工業	精密測定	77	273,130	15	56,800
	機械器具の検査及び試験	423	2,321,460	14	65,800
	金属試験	334	1,518,440	61	281,790
	電気試験	0	0	0	0
6　包装材料	包装材料試験	0	0	0	0
7　繊維工業	繊維材料試験	1	3,570	1	3,570
	編織試験	82	244,370	17	45,560
	染色試験	0	0	0	0
	整理仕上加工試験	0	0	0	0
8　製紙工業	原材料試験	83	970,170	18	235,440
	紙質試験	267	732,960	74	256,440
	製紙及び紙加工試験	16	152,880	6	65,520
9　加工	塗装加工	0	0	0	0
	木竹材加工	5	16,540	0	0
10　設計及び調整	機械等の設計及び調整	306	830,820	74	169,240
	繊維デザイン	0	0	10	26,800
	商業及び工業デザイン	8	29,320	3	10,590
11　写真及び複写		247	118,320	79	15,790
12　成績書の複本		19	10,780	2	980
合　　計		37,044	38,031,810	5,147	9,900,260

(a) 工業技術研究所の依頼試験実績　　（令和５年度は７月31日まで）

		令和４年度		令和５年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1　分析	定性分析	432	4,297,100	157	1,545,120
	定量分析	524	1,906,570	145	658,990
2　工業用材料	材料強度試験	439	1,212,660	321	590,940
	長期性能試験	9,363	2,377,210	1,557	659,840
	特殊試験	659	3,430,510	101	442,350
3　木材工業	木材試験	64	458,160	1	2,520
	塗料試験	8	11,840	3	4,380
	製品試験	325	1,279,860	84	392,600
4　化学工業	金属表面処理試験	14	102,060	5	36,450
	プラスチック及びゴム試験			165	603,280
	微生物試験				
	セラミックス試験				
	熱勘定試験				
5　機械金属工業	精密測定	4	4,560		
	機械器具の検査及び試験				
	金属試験	69	474,980	8	53,760
	電気試験				
6　包装材料	包装材料試験				
7　繊維工業	繊維材料試験				
	編織試験				
	染色試験				
	整理仕上加工試験				
8　製紙工業	原材料試験				
	紙質試験				
	製紙及び紙加工試験				
9　加工	塗装加工				
	木竹材加工	5	16,540		
10　設計及び調製	機械等の設計及び調製	1	20,140		
	繊維デザイン				
	商業及び工業デザイン	8	29,320	3	10,590
11　写真及び複写		24	720		
12　成績書の複本					
合　　計		11,939	15,622,230	2,550	5,000,820

(b) 沼津工業技術支援センターの依頼試験実績　　（令和５年度は７月31日まで）

		令和４年度		令和５年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1　分析	定性分析	94	607,320	30	196,250
	定量分析	25	80,410	12	56,520
2　工業用材料	材料強度試験	51	221,520	36	90,660
	長期性能試験	6,338	1,678,480		
	特殊試験	38	76,910	17	85,490
3　木材工業	木材試験				
	塗料試験				
	製品試験				
4　化学工業	金属表面処理試験				
	プラスチック及びゴム試験				
	微生物試験	5	21,950	2	9,440
	セラミックス試験				
	熱勘定試験				
5　機械金属工業	精密測定	73	268,570	15	56,800
	機械器具の検査及び試験	423	2,321,460	14	65,800
	金属試験	49	177,250	6	18,120
	電気試験				
6　包装材料	包装材料試験				
7　繊維工業	繊維材料試験				
	編織試験				
	染色試験				
	整理仕上加工試験				
8　製紙工業	原材料試験				
	紙質試験				
	製紙及び紙加工試験				
9　加工	塗装加工				
	木竹材加工				
10　設計及び調製	機械等の設計及び調製	3	16,470		
	繊維デザイン				
	商業及び工業デザイン				
11　写真及び複写		16	4,690	34	5,020
12　成績書の複本					
合　　計		7,115	5,475,030	166	584,100

(c) 富士工業技術支援センターの依頼試験実績　　（令和５年度は７月31日まで）

		令和４年度		令和５年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1　分析	定性分析				
	定量分析				
2　工業用材料	材料強度試験	2	2,780		
	長期性能試験	1,838	404,150		
	特殊試験				
3　木材工業	木材試験				
	塗料試験				
	製品試験				
4　化学工業	金属表面処理試験				
	プラスチック及びゴム試験				
	微生物試験				
	セラミックス試験				
	熱勘定試験				
5　機械金属工業	精密測定				
	機械器具の検査及び試験				
	金属試験				
	電気試験				
6　包装材料	包装材料試験				
7　繊維工業	繊維材料試験				
	編織試験				
	染色試験				
	整理仕上加工試験				
8　製紙工業	原材料試験	83	970,170	18	235,440
	紙質試験	267	732,960	74	256,440
	製紙及び紙加工試験	16	152,880	6	65,520
9　加工	塗装加工				
	木竹材加工				
10　設計及び調製	機械等の設計及び調製				
	繊維デザイン				
	商業及び工業デザイン				
11　写真及び複写					
12　成績書の複本		19	10,780	2	980
合　　計		2,225	2,273,720	100	558,380

(d) 浜松工業技術支援センターの依頼試験実績　　（令和５年度は７月31日まで）

		令和４年度		令和５年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1　分析	定性分析	1,381	6,253,490	445	1,973,180
	定量分析	132	1,067,650	49	529,120
2　工業用材料	材料強度試験	225	432,870	37	63,600
	長期性能試験	12,909	3,163,020	1,545	396,140
	特殊試験	263	1,568,430	44	257,380
3　木材工業	木材試験				
	塗料試験			1	1,530
	製品試験				
4　化学工業	金属表面処理試験	47	154,100	16	70,160
	プラスチック及びゴム試験				
	微生物試験				
	セラミック試験				
	熱勘定試験				
5　機械金属工業	精密測定				
	機械器具の検査及び試験				
	金属試験	216	866,210	47	209,910
	電気試験				
6　包装材料	包装材料試験				
7　繊維工業	繊維材料試験	1	3,570	1	3,570
	編織試験	82	244,370	17	45,560
	染色試験				
	整理仕上加工試験				
8　製紙工業	原材料試験				
	紙質試験				
	製紙及び紙加工試験				
9　加工	塗装加工				
	木竹材加工				
10　設計及び調製	機械等の設計及び調製	302	794,210	74	169,240
	繊維デザイン			10	26,800
	商業及び工業デザイン				
11　写真及び複写		207	112,910	45	10,770
12　成績書の複本					
合　　計		15,765	14,660,830	2,331	3,756,960

d　機器使用等の内訳

(a) 工業技術研究所の機器使用等の実績　　(令和５年度は７月31日まで)

		令和４年度		令和５年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		20,875	24,629,640	12,812	9,152,980
研修施設等使用	研修施設	98	96,800	60	66,000
	無響室	25	93,750		
合　　計		20,998	24,820,190	12,872	9,218,980

(b) 沼津工業技術支援センターの機器使用等の実績　　(令和５年度は７月31日まで)

	令和４年度		令和５年度	
	時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用	3,239	5,586,290	1,325	1,401,170
研修施設	50	79,200		
合　　計	3,289	5,665,490	1,325	1,401,170

(c) 富士工業技術支援センターの機器使用等の実績　　(令和５年度は７月31日まで)

	令和４年度		令和５年度	
	時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用	4,617	10,133,150	2,273	4,310,650
研修施設	177	260,050	22	29,100
合　　計	4,794	10,393,200	2,295	4,339,750

(d) 浜松工業技術支援センターの機器使用等の実績　　(令和５年度は７月31日まで)

		令和４年度		令和５年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		36,413	53,192,950	12,516	16,491,540
研修施設等使用	研修施設	48	88,000	23	29,800
	無響室	148	555,000	30	112,500
	電波暗室	587	4,183,900	177	1,230,150
	車載機器用ＥＭＳ電波暗室	305	1,647,000	136	734,400
	車載機器用ＥＭＩ電波暗室	888	4,514,700	136	727,200
	ＢＣＩ試験室（シールドルーム）	176	705,900	68	265,200
	車載機器試験用シールドルーム	225	1,025,700	33	152,100
合　　計		38,790	65,913,150	13,119	19,742,890

（ウ）　研究会の育成

（目的）

講習会や講演会、工場見学会等を通じて技術向上に努める研究会を支援する。

a　工業技術研究所（令和５年７月 31 日現在）

研　究　会　名	発 足 年 月	会 員 数
静岡県プレス技術研究会	昭和４４年　６月	３７社
静岡県食品技術研究会	昭和４７年１２月	１１１社・個人・団体
静岡県資源環境技術研究会	昭和４４年１１月	７２社・人
静岡県プラスチックス技術研究会	平成　２年　６月	３２社・人
静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	平成　７年　５月	３６社

b　沼津工業技術支援センター（令和５年７月 31 日現在）

研　究　会　名	発 足 年 月	会 員 数
静岡県東部精密技術研究会	平成　２年　６月	３５社・団体
静岡県バイオテクノロジー研究会	昭和５９年　９月	２６社・個人・団体

c　富士工業技術支援センター（令和５年７月 31 日現在）

研　究　会　名	発 足 年 月	会 員 数
静岡県紙パ技術研究フォーラム	昭和６２年　９月	１０社

d　浜松工業技術支援センター（令和５年７月 31 日現在）

研　究　会　名	発 足 年 月	会 員 数
浜松機械技術研究会	昭和３９年１２月	６１社
表面技術研究会	昭和６０年　８月	３８社
浜松繊維加工技術研究会	平成　７年　７月	１３社
浜松品質工学研究会	平成　９年　３月	１５人
浜松ＥＭＣ研究会	平成２０年　６月	２１社
浜松地域ＣＦＲＰ事業化研究会	平成２１年　４月	４７社
はままつ超ハイテン研究会	平成２８年　６月	１５社

（エ）研修生の受入れ

（目的）

民間及び学生、大学院生等を研修生として受け入れることで、民間企業等の人材育成、学生の就業体験、試験研究機関の研究業務活性化及び大学教育の一層の拡充を図るとともに、県内産業の発展及び本県の科学技術進展に寄与する。

（実績）

令和４年度及び令和５年度の研修生受入れは以下のとおりである。

単位：人

	令和４年度			令和５年度（７月 31 日現在）		
	一般研修	就業体験研修	連携大学院	一般研修	就業体験研修	連携大学院
工業技術研究所	5	4	0	2	0	0
沼津工業技術支援センター	0	0	0	0	0	0
富士工業技術支援センター	0	0	0	0	0	0
浜松工業技術支援センター	6	0	0	0	0	0
合計	１１	4	0	2	0	0

a　令和４年度研修生の詳細

（ａ）工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	発酵により産生される化合物の同定並びに有用性の評価	令和４年５月１日～ 令和５年３月 31 日	県内大学 □□ □□
食品科	匂い嗅ぎＧＣ/ＭＳによる畜肉香気の分析	令和４年５月１日～ 令和５年３月 31 日	県内大学 □□ □□
工芸科	接着性能に関する評価方法を習得他	令和４年５月１日～ 令和５年３月 31 日	県内大学 □□　□
工芸科	接着性能に関する評価方法を習得他	令和４年５月１日～ 令和５年３月 31 日	県内大学 □□ □□
工芸科	シャルピー試験による広葉樹の曲げ衝撃エネルギー測定法を習得	令和４年 10 月 17 日～ 令和４年３月 31 日	県外大学 □□ □□
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	食品科業務体験	令和４年９月７日～ 令和４年９月 13 日	県内大学 □□　□
食品科	食品科業務体験	令和４年９月７日～ 令和４年９月 13 日	県内大学 □□ □□
食品科	食品科業務体験	令和４年９月８日～ 令和４年９月 13 日	県内大学 □□ □
食品科	食品科業務体験	令和４年９月８日～ 令和４年９月 13 日	県内大学 □□□ □
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

（ｂ）浜松工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
材料科	熱処理技術及び材料試験	令和４年 11 月 11 日～ 令和４年 12 月８日	□□ □□、□□ □□、 □□ □□、□□ □□、 □□ □□、□□ □□
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

b　令和５年度研修生の詳細（７月 31 日現在）

（ａ）工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	肉の成分分析	令和５年７月３日～ 令和６年３月 31 日	県内大学 □□ □□□
食品科	肉の成分分析	令和５年７月３日～ 令和６年３月 31 日	県内大学 □□ □□
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

ウ　技術情報提供

（目的）

当研究所の業務内容又は職員が収集した技術情報及び研究成果等を、県内企業に役立つ形で提供する。

（実績）

令和４年度及び令和５年度実績は以下のとおりである。

（ア）研究報告関係　　（令和５年度は７月31日現在）

項　　目　　等	令和４年度	令和５年度
研究成果事例集	展示会での閲覧及び協議会等で配布 ホームページに掲載	協議会等で配布 展示会で配布予定 ホームページに掲載
工業技術研究所研究報告	800部	750部 （予定）

（イ）研究発表会関係

項　　目　　等			令和４年度	令和５年度
研究発表会	工業技術研究所	開催年月日	R5.3.9-10	R6.3(予定)
		参加者数	167人	－
		要旨集	工技研及びWebで公開	－
	沼津工業技術支援センター	開催年月日	工技研と合同開催	R6.3(予定)
		参加者数	－	－
		要旨集	－	－
	富士工業技術支援センター	開催年月日	R5.3.8	R6.3(予定)
		参加者数	112人	－
		要旨集	発行50部及びWebで公開	－
	浜松工業技術支援センター	開催年月日	R5.3.7	R6.3(予定)
		参加者数	82人	－
		要旨集	発行４部及びWebで公開	－

ａ　令和４年度の研究発表会の実績

（ａ）令和４年度静岡県工業技術研究所研究発表会の実績（令和５年３月９日－令和５年３月10日）

テーマ名	発表者
海洋微生物を利用した食品開発① －乳酸菌を用いた発酵ハバネロソースの開発－	堀池 隼雄
海洋微生物を利用した食品開発② －チーズや発酵甘酒等を事例とした発酵食品の開発スキーム－	袴田 雅俊
海洋由来微生物を活用した食品開発③－生酛系清酒用微生物の選抜－	横澤　賢
海洋由来微生物を活用した食品開発④－選抜株による生酛系酒母の試作－	勝山　聡
県内酒造業界へのＷＥＢ会議システムを活用した支援について	鈴木 雅博
ゲノム編集で乳酸菌のGABA生産能を向上できるか?	髙木 啓詞
凍結融解技術”を用いた豆乳エマルション制御の可能性	松野 正幸
水産物由来コラーゲンペプチド投与のマウス腸管IgA産生促進作用	長房 秀幸
静岡発ドライマンナンを用いた培養肉の開発に関する基礎的検討	長房 秀幸
熱間鍛造後の金属組織の予測技術の開発	是永 宗祐
二軸引張試験等の導入による高精度プレス成形シミュレーションの実施	船井　孝
工業技術研究所のIoT導入支援について （静岡県IoT推進ラボ第四期の紹介）	赤堀　篤
IoT大学連携講座による導入支援	岩﨑 清斗
数理最適化による生産計画の自動作成	松下 五樹
模擬食品廃棄物を原料とした微生物発酵による水素生産の試み -水素発酵装置の構築と水素ガス発生量の「見える化」-	井口 大輔
微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発	岡本 哲志
コミュニケーションライティングの実用化に向けた映像投影技術の開発	豊田 敏裕
精密で微細な光学部品の量産技術に関するフィジビリティスタディ　―光造形×精密電気鋳造による金型試作―	豊田 敏裕
非接触形状測定機における傾斜面の粗さ測定性能について-光干渉計と共焦点顕微鏡の測定誤差の評価-	柳原　亘
光干渉式測定機による傾斜面の形状測定 ―傾斜基準面を用いた角度測定範囲の拡張	中野 雅晴
マイクロプリズムアレイの形状誤差が投影像に与える影響	志智　亘
物体表面凹凸の違いが反射特性に与える影響	田代 知範
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立	鈴木 重好
金属材料科の機器の紹介－強度試験と破断面観察－	鈴木 洋光
バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発	田中 宏樹
半溶融成形アルミニウム合金を用いた摩擦攪拌接合継手の特性	岩澤　秀

セルロースナノファイバーを用いた自動車用湿式摩擦材の開発	菅野 尚子
フラッシュ法による樹脂発泡体の熱伝導率測定の検討	望月 智文
セルロース繊維を強化材としたリサイクル樹脂複合材の開発	小泉 雄輔
プラスチック成形品における異材混入による物性への影響	野澤　遼
２軸押出混練によるポリプロピレンの劣化について	望月 智文
介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発に向けた調査	易　強
居住空間での木製品の変色の検討（２）	村松 重緒
県産材の屋外使用に向けた防腐・防蟻処理技術の開発	菊池 圭祐

（ｂ）令和４年度富士工業技術支援センター研究発表会の実績（令和５年３月８日）

テーマ名	発表者
資源循環実現のためのＣＮＦ複合樹脂リサイクル性評価	田中 翔悟
ＴＥＭＰＯ酸化ＣＮＦに関する産業支援の取組について	中島 大介
マイクロ波減圧乾燥によるＣＮＦ濃縮技術の開発	山崎 利樹
加温処理による紙の低密度化に関する現象について	河部 千香
廃棄衣料コットンを原料とした紙の開発について	伊藤　彰
クロム酸を使わないプラスチックめっき	髙木　誠
ＡＩを用いたスマート畜産への取組について	井出 達樹

（ｃ）令和４年度浜松工業技術支援センター研究発表会の実績（令和５年３月７日）

テーマ名	発表者
ナノ秒レーザーピーンフォーミングの変形特性（レーザーピーニングの簡易評価法の検討）	鷺坂 芳弘
繊維への微細カラーマーキングのための光学系構築と染料層の厚さ制御方法の検討	山下 清光
２次元色彩計を応用した金属加工面の表面粗さ推定	中野 雅晴
車載電子機器のアンテナ照射試験における低周波(80MHz以下)領域への周波数拡大の検討	山田 浩文
IoT･機械学習を活用した機器の稼働状態評価（第１報）	太田 幸宏
高周波焼入ロボットの研究開発	鈴木 悠介
ＥＶ向けコネクタ・スイッチ用めっきの特性向上に関する研究	長田 貴将
めっきを利用した鉄-アルミニウムのスポット溶接技術の開発	田光 伸也
積層造形を活用した新たなモノづくり技術の開発に向けた調査研究	田光 伸也
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立	鈴木 重好
細断したUDテープを用いたCFRTPのトランスファ成形	森田 達弥
X線CTによるCFRTPの繊維配向観察	針幸 達也

（ウ）研究所情報等の提供　　（令和５年度は７月31日現在）

刊行物名	令和４年度		令和５年度	
	発行部数（部）	ホームページ掲載	発行部数（部）	ホームページ掲載
工業技術研究所各科紹介チラシ	－	○	－	○
沼津工業技術支援センターニュース	－	○	－	○
富士工業技術支援センターニュース	－	－	－	－
富士工業技術支援センター利用案内	－	－	－	－
浜松工業技術支援センターニュース	1,500	○	1,500（予定）	○（予定）
静岡県工業技術情報	－	○	－	○
静岡県工業技術研究所年報	－	○	－	○（予定）
静岡県工業技術研究所メールマガジン（2週間に１回発行）	25回	－	10回	－

（エ）研究所の事業広報等

（目的）

一般県民に当研究所の業務を理解してもらうとともに、科学技術への興味を持ってもらうため、見学者の受入れや「工業技術研究所フェア」を開催する。

（実績）

令和４年度及び令和５年度の実績・結果は以下のとおりである。

（令和５年度は７月31日現在）

項目等			令和４年度	令和５年度
見学の受入	工業技術研究所		156人	156人
	沼津工業技術支援センター		194人	15人
	富士工業技術支援センター		94人	107人
	浜松工業技術支援センター		473人	296人
「県民の日」研究所フェア及びセンターフェア	工業技術研究所	開催年月日	R4.8.5	R5.8.4（予定）
		参加者数	40人	—
	沼津工業技術支援センター	開催年月日	R4.8.5	R5.8.4（予定）
		参加者数	19人	—
	富士工業技術支援センター	開催年月日	R4.8.5	R5.8.4（予定）
		参加者数	60人	—
	浜松工業技術支援センター	開催年月日	R4.8.5	R5.8.4（予定）
		参加者数	102人	—

（オ）　講習会等

（目的）

企業経営者及び技術者に新技術等の情報を提供するよう、外部講師の招へい等により、講習会及び講演会を実施する。

（実績）

令和４年度及び令和５年度の実績は以下のとおりである。（令和５年度は７月31日現在）

	令和４年度		令和５年度	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
工業技術研究所	２３	１，４６８	４	１３３
沼津工業技術支援センター	６	１３６	１	２１
富士工業技術支援センター	９	１８５	１	１３
浜松工業技術支援センター	１７	６５０	５	２１９
合計	５５	２，４３９	１１	３８６

ａ　令和４年度

（ａ）工業技術研究所の実績

年月日	件　　名		会　　場	参加人数※)	共催等
R4.4.26	光学部品計測セミナー		工業技術研究所	24	ー
R4.4.27	走査型電子顕微鏡の概要と活用事例		工業技術研究所	36	静岡県プレス技術研究会
R4.11.9			工業技術研究所	81	
R4.6.7	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座		工業技術研究所	10	静岡県IoT導入推進コンソーシアム
R4.8.29			浜松工業技術支援センター	10	
R4.11.29			沼津工業技術支援センター	9	
R4.6.23	食品技術研修会	第272回	Web開催及び札の辻クロスホール	91	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R4.10.7		第273回	Web開催及びホテルグランヒルズ静岡	722	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R4.11.2		第274回	Web開催及び札の辻クロスホール	107	静岡県食品技術研究会、静岡県食品産業協議会、静岡大学食品・生物産業創出拠点
R5.2.28		第275回	長野県５ヶ所・山梨県１ヶ所	17	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R4.7.27		第１回	Web開催	11	

R4.8.31	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会講習会	第２回	Web開催	6	静岡県ユニバーサルデザイン･工芸研究会
R4.9.28		第３回	Web開催	11	
R4.10.26		第４回	Web開催	5	
R5.2.1		第５回	Web開催	6	
R5.2.22		第６回	Web開催	4	
R4.9.26	第11回排水処理技術セミナー		Web開催	118	静岡県資源環境技術研究会 静岡県環境保全協会 静岡市資源環境保全推進協力会
R4.12.1	第26回分析技術研修会		Web開催	38	静岡県資源環境技術研究会、（一財）静岡県計量協会環境計量証明部会
R5.1.13	プラスチック資源循環セミナー		Web開催	43	静岡県プラスチックス技術研究会、静岡県資源環境技術研究会
R5.2.3	腐食促進試験の概要と複合サイクル試験機の活用		Web開催	51	静岡県プラスチックス技術研究会、静岡県資源環境技術研究会
R5.2.8	脱炭素経営に関するWeb学習会		Web開催	36	静岡県資源環境技術研究会、静岡県プラスチックス技術研究会
R5.3.2	スモールスタートIoTセミナー		Web開催	9	株式会社特電
R5.3.14	プラスチック技術講習会		工業技術研究所	23	静岡県プラスチックス技術研究会
実施回数　２３　回				参加者数　１，４６８　人	

※）Web開催については、接続端末数

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件　　名	会　　場	参加人数※)	共催等
R4.6.30	令和４年度静岡県バイオテクノロジー研究会特別講演会	沼津工業技術支援センター	22	静岡県バイオテクノロジー研究会
R4.7.15	セミナー「IoT技術の導入で変わるモノづくり現場」	沼津工業技術支援センター	28	沼津センター協議会
R4.7.22	ひずみゲージ活用セミナー	沼津工業技術支援センター	13	沼津センター協議会
R4.8.26	高速液体クロマトグラフ分析セミナー	沼津工業技術支援センター	4	沼津センター協議会
R4.8.31	令和４年度酒造研修	Web開催	49	静岡県酒造組合、静岡県杜氏研究会
R4.12.6	令和４年度静岡県バイオテクノロジー研究会企業発表会・講演会	静岡県男女共同参画センターあざれあ	20	静岡県バイオテクノロジー研究会
実施回数　６　回			参加者数　１３６人	

※）Web開催については、接続端末数

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

年月日	件　　名		会　　場	参加人数※)	共催等
R4.5.26	静岡県紙パ技術研究フォーラム勉強会		富士工業技術支援センター	17	静岡県紙パ技術研究フォーラム
R5.3.22				16	
R4.10.27	紙パルプ技術セミナー	第１回	富士工業技術支援センター	27	富士センター協議会
R5.1.24		第２回	Web開催	53	富士センター協議会
R4.9.9	新規事業・市場開拓の戦略		Web開催	15	富士センター協議会
R5.2.14	中小企業におけるAI活用の障壁と実践		Web開催	26	富士センター協議会
R5.3.2- R5.3.29	ふじのくにＣＮＦプロジェクトＣＮＦ技術者研修		富士工業技術支援センター	11	富士センター協議会
R5.3.17	CNF実践セミナー		富士工業技術支援センター	12	富士センター協議会、富士市CNFプラットフォーム、富士市
R5.3.24				8	
実施回数　９　回				参加者数　１８５人	

※）Web開催については、接続端末数

（ｄ）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件　　名	会　　場	参加人数※)	共催等
R4.5.20	浜松品質工学研究会定例会	Web開催	15	浜松品質工学研究会
R4.6.17			15	
R4.7.29			12	
R4.8.26			13	
R4.9.16			19	
R4.10.28			16	
R4.11.25			16	
R4.12.23			13	
R5.1.27			12	
R5.2.24			15	
R4.7.15	パラメータ設計入門講座	Web開催	12	浜松品質工学研究会
R4.8.24	2022年度浜松地域CFRP事業化研究会講演会	浜松工業技術支援センター会議室 web会議　ハイブリッド	32	浜松地域CFRP事業化研究会
R4.9.30	MTシステム入門講座	Web開催	11	浜松品質工学研究会
R4.10.28	はままつ超ハイテン研究会講演会2022	プレスタワー	93	はままつ超ハイテン研究会
R5.2.3	金属3Dプリンタ活用セミナー１	静岡大学工学部佐鳴会館	91	浜松センター協議会
R5.2.24	金属3Dプリンタ活用セミナー２	Web開催	101	浜松センター協議会
R5.3.1～22	速度制御熱分析装置セミナー	Web開催（YouTube配信）	164	浜松センター協議会
実施回数　１７　回			参加者数　６５０　人	

※）Web開催については、接続端末数

ｂ　令和５年度（７月31日現在）

（ａ）工業技術研究所の実績

年月日	件　　名	会　　場	参加人数※)	共催等
R5.6.15	食品技術研修会 第276回例会	Web開催及びグランヒルズ静岡	87	静岡県食品産業協議会
R5.6.23	ロボットティーチング講座	工業技術研究所	14	―
R5.6.27	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	12	静岡県IoT導入推進コンソーシアム
R5.７.３１	第１回静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会講習会	工業技術研究所	20	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
実施回数 ４ 回			参加者数 １３３ 人	

※）Web開催については、接続端末数

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件　　名	会　　場	参加人数※)	共催等
R5.6.29	静岡県バイオテクノロジー研究会特別講演会	中島屋グランドホテル	21	静岡県バイオテクノロジー研究会
実施回数 １ 回			参加者数 ２１ 人	

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

年月日	件　　名	会　　場	参加人数※)	共催等
R5.5.12	静岡県紙パ技術研究フォーラム技術勉強会	富士工業技術支援センター	13	静岡県紙パ技術研究フォーラム
実施回数 １ 回			参加者数 １３ 人	

（d）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件　　名	会　　場	参加人数※)	共催等
R5.5.30	金属３Ｄプリンター活用セミナー	浜松工業技術支援センター	101	浜松センター協議会 静岡県積層造形技術協議会
R5.6.28	金属３Ｄプリンター活用ワークショップ	浜松工業技術支援センター	7	浜松センター協議会 静岡県積層造形技術協議会
R5.7.3 ～4	デジタルものづくりセミナー（３Ｄスキャナ活用講座）	浜松工業技術支援センター	92	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
R5.7.18	令和５年度製造中核人材育成講座	浜松工業技術支援センター	15	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
R5.7.27	デジタル化等促進在職者訓練「積層造形金属３Ｄプリンター入門」″	浜松工業技術支援センター	4	浜松技術専門校
実施回数　５　回			参加者数　２１９　人	

（カ）講師活動

（目的）

企業経営者及び技術者等に新技術等の情報を提供するよう、講習会及び講演会等で職員が講演を実施する。

（実績）

令和４年度及び令和５年度の実績は以下のとおりである。（令和５年度は７月31日現在）

	令和４年度		令和５年度	
	活動回数	参加者数	活動回数	参加者数
工業技術研究所	１４	５１６	1	１２
沼津工業技術支援センター	１０	４５５	2	６１７
富士工業技術支援センター	１５	５１	0	0
浜松工業技術支援センター	１２	４０５	4	２０８
合計	５１	１，４２７	7	８３７

a　令和４年度

（ａ）工業技術研究所の実績

<table>
<tr><th>年月日</th><th colspan="2">講習会等の名称</th><th>会場</th><th>参加者数</th><th>主催</th><th>講師氏名</th></tr>
<tr><td>R4.6.7</td><td colspan="2" rowspan="3">わかりやすいIoTを用いた現場実装講座</td><td>工業技術研究所</td><td>10</td><td rowspan="3">静岡県ＩｏＴ導入推進コンソーシアム</td><td rowspan="3">岩﨑 清斗</td></tr>
<tr><td>R4.8.29</td><td>浜松工業技術支援センター</td><td>10</td></tr>
<tr><td>R4.11.29</td><td>沼津工業技術支援センター</td><td>9</td></tr>
<tr><td rowspan="2">R4.9.8</td><td rowspan="7">総合食品学講座</td><td>食品の保存と劣化のポイント</td><td rowspan="7">工業技術研究所</td><td>29</td><td rowspan="7">（公財）静岡県産業振興財団</td><td>長房 秀幸
石橋 佳奈</td></tr>
<tr><td>中間報告会</td><td>28</td><td>山下 里恵
長房 秀幸
石橋 佳奈</td></tr>
<tr><td>R4.10.4</td><td>試作加工Ａ、Ｂ</td><td>28</td><td rowspan="6">山下 里恵
松野 正幸
袴田 雅俊
長房 秀幸
石橋 佳奈
堀池 隼雄</td></tr>
<tr><td>R4.10.6</td><td>試作加工Ｃ、Ｄ</td><td>28</td></tr>
<tr><td>R4.10.13</td><td>試作品の評価</td><td>28</td></tr>
<tr><td>R4.10.18</td><td>微生物試験</td><td>28</td></tr>
<tr><td>R4.10.20</td><td>微生物試験</td><td>28</td></tr>
<tr><td>R4.10.27</td><td>成果発表会</td><td>28</td><td>松野 正幸
堀池 隼雄</td></tr>
<tr><td>R4.11.2</td><td colspan="2">シーズ＆ニーズビジネスマッチング研究発表会</td><td>札の辻クロスホール</td><td>140</td><td>静岡県食品技術研究会</td><td>袴田 雅俊</td></tr>
<tr><td>R4.12.15</td><td colspan="2">地域食材学B</td><td>Web開催</td><td>117</td><td>静岡県立大学</td><td>長房 秀幸</td></tr>
<tr><td>R4.10.26</td><td colspan="2">静岡県ユニバーサルデザイン･工芸研究会（第４回講習会）</td><td>Web開催</td><td>5</td><td>静岡県ユニバーサルデザイン･工芸研究会</td><td>田村 克浩</td></tr>
<tr><td colspan="5">活動回数 １４ 回</td><td colspan="2">参加者数 ５１６人</td></tr>
</table>

※）Web開催については、接続端末数

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R4.5.15	門池地区連合自治会講演会	門池地区センター	10	門池地区連合自治会	勝山　聡
R4.6.7	第６回静岡クラフトビールの会	御殿場高原ビール株式会社グランテーブル	45	静岡クラフトビールの会	横澤　賢
R4.7.22	ひずみゲージ活用セミナー	沼津工業技術支援センター	13	沼津工業技術支援センター	是永 宗祐
R4.8.31	令和４年度酒造研修	Web開催	49	沼津工業技術支援センター 静岡県酒造組合 静岡県杜氏研究会	杉本 芳邦 勝山　聡 鈴木 雅博 横澤　賢
R4.9.3	静岡朝日テレビカルチャー三島スクール 「オトナが学ぶ美味しい日本酒講座」	沼津工業技術支援センター	37	静岡朝日テレビカルチャー三島スクール	勝山　聡
R4.9.30	幾何公差実践活用編（実習）	沼津工業技術支援センター	3	工科短大沼津キャンパス	本多 正計 船井　孝
R4.11.2	シーズ＆ニーズビジネスマッチング研究発表会	札の辻クロスホール	140	静岡県食品技術研究会	横澤　賢
R4.12.27	冬休み門池ワクワク寺子屋	門池地区センター	38	門池コミュニティ推進委員会	杉本 芳邦 本多 正計 飯塚 千佳世 横澤　賢
R5.2.23	誉富士セミナー	ホテルグランヒルズ静岡	69	静岡県誉富士普及推進協議会	鈴木 雅博
R5.2.27	静岡大学グリーン科学技術研究所共同利用機器セミナー	Web開催	51	静岡大学グリーン科学技術研究所	髙木 啓詞
活動回数　１０　回			参加者数　４５５　人		

※）Web開催については、接続端末数

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R5.3.2	CNF技術者研修	富士工業技術支援センター	3	富士工業技術支援センター	前田 研司 山崎 利樹
R5.3.3			6		前田 研司 山崎 利樹
R5.3.7			2		前田 研司 山崎 利樹
R5.3.7			2		山崎 利樹
R5.3.15			2		田中 翔悟
R5.3.15			1		前田 研司
R5.3.16			3		田中 翔悟
R5.3.16			3		前田 研司
R5.3.20			2		田中 翔悟
R5.3.20			2		中島 大介
R5.3.23			2		中島 大介
R5.3.28			1		田中 翔悟
R5.3.29			2		山崎 利樹
R5.3.17	CNF実践セミナー	富士工業技術支援センター	12	富士センター協議会 富士市CNFﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ 富士市	中島 大介
R5.3.24	CNF実践セミナー	富士工業技術支援センター	8	富士センター協議会 富士市CNFﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ 富士市	田中 翔悟 中島 大介
活動回数 １５ 回			参加者数 ５１ 人		

※）Web開催については、接続端末数

（ｄ）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場		主催	講師氏名
R4.10.6	第７回地方公設試験研究機関金属 AM 技術担当者会議	大阪産業技術研究所	22	大阪産業技術研究所	田光 伸也
R4.10.13	金属材料の基礎	天龍製鋸株式会社	15	天龍製鋸株式会社	植松 俊明
R4.10.24			15		
R4.10.27	レーザー中核人材 映像実習	FUSE（ザザシティー内）	47	光産業創成大学院大学	鷺坂 芳弘 山下 清光
R4.11.18	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 積層造形研究会	長崎県 ミライon図書館	50	光産業創成大学院大学	木野 浩成
R4.11.29	機器分析講義	静岡理工科大学	7	静岡理工科大学吉見研究室	吉岡 正行
R4.12.15	分析マイスター講義	静岡大学浜松キャンパス共同利用機器センター	10	静岡大学浜松キャンパス共同利用機器センター	吉岡 正行
R5.1.19	第３回デジタルものづくり研究会	オフィスパーク名駅プレミアホール	30	中部経済産業局	木野 浩成
R5.2.3	金属3Dプリンタ活用セミナー	浜松工業技術支援センター大研修室	90	浜松工業技術支援センター	田光 伸也
R5.3.14			101		
R5.3.9	赤外分光分析の座学及び実習	DOWAメタル㈱	9	DOWAメタル㈱	吉岡 正行
R5.3.24	材料評価・解析の心構え	(株)サンコー分析センター	9	(株)サンコー分析センター	吉岡 正行
活動回数 １２ 回			参加者数 ４０５ 人		

※）Web開催については、接続端末数

ｂ　令和５年度（７月31日現在）

（ａ）工業技術研究所の実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R5.6.27	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	12	静岡県ＩｏＴ導入推進コンソーシアム	岩﨑 清斗
活動回数 １ 回			参加者数 １２ 人		

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R5.6.13	第21回 産総研・産技連LS-BT合同研究発表会	産総研つくばセンター	487	産総研 産技連ライフサイエンス部会バイオテクノロジー分科会	袴田 雅俊
R5.7.11	第１回静岡県ガストロノミーツーリズム研究会	鈴木学園　中央調理製菓専門学校静岡校	130	県観光政策課	袴田雅俊
活動回数 ２　回			参加者数 ６１７ 人		

（ｃ）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場		主催	講師氏名
R5.5.30	金属3Dプリンター活用セミナー	浜松工業技術支援センター	101	浜松工業技術支援センター	田光 伸也
R5.7.3	デジタルものづくりセミナー	浜松工業技術支援センター	88	浜松工業技術支援センター	長津 義之
R5.7.4			4		
R5.7.18	令和５年度製造中核人材育成講座	浜松工業技術支援センター	15	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構	植松 俊明 木野 浩成
活動回数 ４　回			参加者数 ２０８ 人		

※）Web開催については、接続端末数

（キ）　委員派遣

（目的）

委嘱を受けた場合に職員を委員として出席させ、知見や新技術の情報等を提供する。

（実績）

令和４年度及び令和５年度の実績は以下のとおりである。（令和５年度は７月31日現在）

	令和４年度		令和５年度	
	派遣回数	延べ派遣者数	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	６０	６０	１２	１２
沼津工業技術支援センター	２８	４３	６	７
富士工業技術支援センター	５８	５８	１１	１２
浜松工業技術支援センター	８３	１０２	３５	４７
合計	２２９	２６３	６４	７８

a　令和４年度

（ａ）工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.4.18	鋳造工学会　東海支部　工場見学会	(Web)	日本鋳造工学会	岩澤　秀
R4.5.10				
R4.5.23				
R4.4.25	文献情報委員会	照明学会第二会議室（東京）	一般社団法人照明学会	田代 知範
R4.6.20		(Web)		
R4.8.25				
R4.10.24				
R4.12.1				
R5.2.22				
R4.5.6	光学編集委員会	(Web)	一般社団法人日本光学会	田代 知範
R4.9.9				
R4.11.4				
R5.1.6				
R5.2.13				
R5.2.21				
R5.3.10				
R4.5.12	第1部会国内小委員会	(Web)	一般社団法人日本照明工業会	田代 知範
R4.7.19				
R4.6.1	『シズオカ カグ アワード2022』審査	ツインメッセ静岡	静岡県家具工業組合	多々良 哲也
R4.6.2	中小企業研究開発助成事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	杉山 直人
R4.6.3	産学共同研究委託事業選考審査会	B-nest	静岡市産学交流センター	田中 伸佳
R4.6.14				
R4.6.8	次世代自動車技術革新対応促進助成事業助成金審査会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	杉山 直人
R4.6.10	食品等開発助成事業・化粧品等研究開発推進事業助成金審査会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	油上　保
R4.6.14	鋳造工学会　軽合金部会	(Web)	日本鋳造工学会	岩澤　秀

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.8.9	鋳造工学会　軽合金部会	(Web)	日本鋳造工学会	岩澤　秀
R4.6.15	静岡エネルギー・環境懇談会総会	ホテルアソシア静岡	静岡エネルギー・環境懇談会	杉山 直人
R4.6.16	加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金審査会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	杉山 直人
R4.6.24	静岡市産学交流センター運営委員会	B-nest	静岡市産学交流センター	田中 伸佳
R4.6.24	ISO国内委員会	(Web)	（一社）日本規格協会	柳原　亘
R4.9.5				
R4.10.28				
R5.2.21				
R4.6.29	医療機器産業基盤強化推進事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	杉山 直人
R4.7.7	全国食品関係試験研究場所長会第１回役員会	(Web)	全国食品関係試験研究場所長会	杉山 直人
R4.7.13	MaOI事業化助成事業審査委員会	(Web)	静岡県	油上　保
R4.7.15	海洋技術開発補助金審査委員会	(Web)	静岡県	油上　保
R4.7.20	静岡市新商品等開発事業補助金審査会	静岡市役所	静岡市	中山　洋
R4.8.26	医療機器等開発可能性調査審査会	書面	公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構	油上　保
R4.8.31	JIS素案作成委員会	(Web)	一般社団法人日本規格協会	柳原　亘
R4.12.14				
R5.3.30				
R4.9.9	2022グッドデザインしずおか一次審査	(Web)	静岡県	杉山 直人
R4.9.22	県科学技術振興表彰選考委員会	(Web)	静岡県	杉山 直人
R4.9.29～30	日本鋳造第180回全国講演大会	広島大学	日本鋳造工学会	岩澤　秀
R4.10.12	2021グッドデザインしずおか二次審査	(Web)	静岡県	杉山 直人
R4.11.12	軽金属学会第143回全国講演大会	(Web)	軽金属学会	岩澤　秀

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.12.8	「自立のための３歩の住まい」標準設計マニュアルに関する意見交換会	ファルマバレーセンター	ファルマバレーセンター	易　強
R4.12.23	D2Cセミナー	(Web)	地域産業課	油上　保
R5.1.19	第３回溶接コンクール委員会	ポリテクセンター静岡	静岡県溶接工業協同組合	鈴木 洋光
R5.2.10	フーズ・ヘルスケア　オープンイノベーションプロジェクト戦略検討委員会	(Web)	静岡県	杉山 直人
R5.2.15	新成長産業戦略的育成事業推進会議	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	杉山 直人
R5.2.19	静岡県溶接技術競技大会	ポリテクセンター静岡	静岡県溶接工業協同組合	鈴木 洋光
R5.2.22	溶接コンクールX線試験評価	JFEテクノス静岡事業所	静岡県溶接工業協同組合	鈴木 洋光
R5.3.2	静岡市福祉用具普及連絡会	静岡市リハビリテーション推進センター	静岡市リハビリテーション推進センター	易　強
R5.3.7	溶接コンクール曲げ試験評価	静岡県溶接工業協同組合	静岡県溶接工業協同組合	鈴木 洋光
R5.3.7	令和４年度総合食品学講座推進委員会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	山下 里恵
R5.3.9	第４回溶接コンクール委員会	ポリテクセンター静岡	静岡県溶接工業協同組合	鈴木 洋光
R5.3.14	経営革新計画承認審査委員会	県庁	経営支援課	油上　保
R5.3.16	海洋技術開発促進事業費補助金審査委員会	(Web)	産業イノベーション推進課	油上　保
派遣回数　６０　回			派遣人数（延べ）　６０　人	

（b）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.5.10	令和４年静岡県杜氏研究会新酒研究会	沼津工業技術支援センター	静岡県杜氏研究会	勝山　聡 鈴木 雅博
R4.5.18	令和４年静岡県清酒鑑評会	沼津工業技術支援センター	静岡県酒造組合	大川 勝正 勝山　聡 鈴木 雅博
R4.5.18	令和４年度富士山麓産業支援ネットワーク会議	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレー センター	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレー センター	飯塚 千佳世
R4.7.20		(Web)		
R4.9.28				
R4.11.22				
R5.2.8				
R5.2.28				
R4.6.7	第6回静岡クラフトビールの会	御殿場高原ビールグランテーブル	第6回静岡クラフトビールの会	鬼久保 郁雄 杉本 芳邦 勝山　聡 横澤　賢
R4.6.13	令和４年静岡県清酒鑑評会表彰式	ホテルアソシア静岡	静岡県酒造組合	大川 勝正 鬼久保 郁雄 杉本 芳邦 勝山　聡 鈴木 雅博
R4.6.21	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	(Web)	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	大川 勝正
R4.6.22	静岡県創業者育成施設(沼津インキュベートセンター)使用承認資格審査に係る事前ヒアリング	沼津工業技術支援センター	静岡県	鬼久保 郁雄 飯塚 千佳世
R4.12.1				
R4.6.27	2022年度富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア実行委員会	(Web)	2022年度富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア実行委員会	飯塚 千佳世
R5.3.29				
R4.9.22	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	静岡県庁	静岡県	大川 勝正
R4.9.27 ～28	令和４年度名古屋国税局酒類鑑評会品質評価会	名古屋国税局	名古屋国税局	鈴木 雅博
R4.11.5	「発酵とサステナブルな地域社会」研究所主催シンポジウム	静岡市産学交流センター	静岡大学　発酵とサステナブルな地域社会研究所	勝山　聡

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.11.16	静岡県科学技術振興表彰式	静岡県庁	静岡県	大川 勝正
R4.12.26	静岡県創業者育成施設入居審査委員会	静岡県庁	静岡県	大川 勝正
R5.2.16	令和４年度ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	(Web)	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	大川 勝正
R5.3.13	令和５年静岡県杜氏研究会新酒研究会	工業技術研究所	静岡県杜氏研究会	勝山　聡 鈴木 雅博
R5.3.14	令和５年愛知県新酒品評会	あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター	愛知県酒造組合	勝山　聡
R5.3.15	「富士山麓医用機器開発エンジニア養成プログラム」第14期生修了式	沼津工業高等専門学校	国立高等専門学校機構沼津工業高等専門学校	大川 勝正
R5.3.15	第53回三重県新酒品評会	三重県工業研究所	三重県酒造組合	鈴木 雅博
R5.3.17	令和４酒造年度名古屋国税局新酒の集約品質評価会	名古屋国税局	名古屋国税局	鈴木 雅博
R5.3.23	令和４年度ふじのくに先端医療総合特区地域協議会（書面決議）	（書面）	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	大川 勝正
R5.3.24	令和５年静岡県清酒鑑評会	工業技術研究所	静岡県酒造組合	大川 勝正 勝山　聡 鈴木 雅博
派遣回数　２８　回			派遣人数（延べ）４３　人	

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.4.20	静岡県紙パルプ技術協会運営委員会	ホテルグランド富士	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4.4.22	岳南地域地下水利用対策協議会令和４年度第１回委員・幹事合同会議	富士市役所	岳南地域地下水利用対策協議会	飯野　修
R4.4.27	富士市CNF関連産業創出事業に係るアドバイザリーボード	富士市役所	富士市	櫻川 智史
R4.4.27	富士市ＳＤＧｓものづくり事業支援補助金審査委員会	富士市役所	富士市	櫻川 智史
R4.5.11	静岡県紙パルプ技術協会第１回理事会	ホテルグランド富士	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4.5.12	紙パルプ技術協会木材科学委員会	(Web)	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4.5.17	静岡県紙業協会通常総会	ホテルグランド富士	（一社）静岡県紙業協会	櫻川 智史
R4.5.18	令和４年度富士山麓産業支援ネットワーク会議	静岡県医療健康産業研究開発センター	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレー センター	三宅 健司
R4.7.20		(Web)		
R4.6.6	紙パルプ試験規格委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	深沢 博之
R4.7.14				
R4.6.7	静岡県紙パルプ技術協会総会	ホテルグランド富士	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4.6.8	岳南地域地下水利用対策協議会	ふじさんめっせ	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4.6.13	ＣＮＦ活用試作品開発事業費補助金に係る審査委員会	(Web)	静岡県	櫻川 智史
R4.6.13	富士ブランド推進会議	富士商工会議所	富士商工会議所	櫻川 智史
R4.6.23	紙パルプ技術協会研究発表会審査	(Web)	紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4.6.27	富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア2022第１回実行委員会	(Web)	富士山麓A&Sフェア2022実行委員会	三宅 健司
R4.6.30	編集委員会	(書面)	紙パルプ技術協会	深沢 博之
R4.7.6	紙パルプ技術協会木材科学委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	櫻川 智史

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.7.13	富士市ＳＤＧｓものづくり事業支援補助金審査委員会	（書面）	富士市	櫻川 智史
R4.8.17	富士市工業振興会議	富士市庁舎	富士市	櫻川 智史
R3.10.4		富士市消防防災庁舎		
R5.3.23				
R4.8.24	富士市立博物館協議会	富士山かぐや姫ミュージアム	富士市立博物館	櫻川 智史
R5.2.2				
R4.8.25	県紙パルプ技術協会理事会	ホテルグランド富士	県紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4.12.8				
R5.3.16				
R4.8.30	CNF活用試作品開発事業補助金審査委員会	県庁	新産業集積課	櫻川 智史
R4.9.5	富士市CNF関連産業推進懇話会	富士市役所	富士市	櫻川 智史
R4.9.12	紙パルプ技術協会木材科学委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R5.3.1				
R4.9.26	静岡県－産総研の連携に係る連絡会議	(Web)	産業技術総合研究所イノベーション推進本部地域連携部関東地域室	櫻川 智史
R4.9.26	紙パルプ試験規格委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	深沢 博之
R4.10.19				
R4.11.28				
R5.3.31		銀座区民会館		
R4.9.28	令和４年度富士山麓産業支援ネットワーク会議 第３回	(Web)	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレー センター	三宅 健司
R4.11.22	第４回			
R5.2.8	第５回			
R4.10.3	富士市ＣＮＦブランド認定審査会	富士市役所	富士市	櫻川 智史
R5.3.29		(Web)		
R4.10.13	医療・福祉関連産業懇談会	ラ・ホール富士	医療・福祉関連産業懇談会運営員会	櫻川 智史
R4.11.17	繊維学会紙パルプ研究委員会研究会 第276回	(Web)	繊維学会紙パルプ研究委員会	深沢 博之
R5.3.10	第277回			
R4.11.9	機能紙研究会企画・会誌編集合同委員会	電気ビル（福岡市）	機能紙研究会	深沢 博之

年月日	委員会等の名称		会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.11.10	機能紙研究発表・講演会		電気ビル（福岡市）	機能紙研究会	深沢 博之
R4.11.16	富士市発明くふう展表彰式		ラ・ホール富士	富士市	櫻川 智史
R4.11.16	編集委員会	第２回	（書面）	静岡県紙パルプ技術協会	深沢 博之
R5.2.14		第３回			
R4.11.17	県紙業振興大会		ホテルグランド富士	県紙業協会	櫻川 智史
R4.12.12	富士市産業経済問題懇話会		富士商工会議所	富士市	櫻川 智史
R4.12.14	岳南地域地下水利用対策協議会委員・幹事合同会議		富士市役所	岳南地域地下水利用対策協議会	櫻川 智史
R5.1.23	産業技術連携推進推進会議 ナノテクロノジー・材料部会 紙・パルプ分科会		(Web)	産業技術連携推進推進会議 ナノテクロノジー・材料部会 紙・パルプ分科会	飯野　修
R5.2.16	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会		(Web)	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	櫻川 智史
R5.2.20	富士市産業経済問題懇話会		富士商工会議所	富士市	櫻川 智史
R5.3.22	日本木材学会中部支部総会		(Web)	日本木材学会中部支部	櫻川 智史
R5.3.29	富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア2022第２回実行委員会		(Web)	富士山麓A&Sフェア2022実行委員会	三宅 健司
派遣回数 ５８ 回				派遣人数（延べ） ５８ 人	

（d）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.4.21	随時級・基礎級技能検定実技試験検定委員	三光製作(株)	静岡県職業能力開発協会	田光 伸也
R4.7.22				鈴木 一之
R4.10.18				
R4.10.7		㈱ゴトー理研		
R4.8.25		大佑工業(株)		
R4.11.4		丸長鍍金㈱浜松工場		
R5.3.23				鈴木 一之 田光 伸也
R5.1.16		神谷理研㈱		鈴木 一之
R5.1.16		三美鍍金工業㈱		
R5.1.26		㈲太陽メッキ工業所		
R4.12.14		㈲鷲津メッキ工業所		
R4.5.11	新規EMC規格対応WG	(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田 浩文
R4.6.10				
R4.7. 7				
R4.11.2				
R4.11.9				
R4.11.21 ～22		KEC関西電子工業振興センター		
R4.12.21		(Web)		
R5.1.26				
R5.3.2				
R4.5.17	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点第79回事業運営委員会　ワーキング会議	浜松医科大学	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	山下 清光
R4.7.19				
R4.9.20				
R4.11.29				
R5.3.14				
R4.5.19	車載機器計測精度分析WG	(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田 浩文
R4.6.8				
R4.7.25				
R4.8.29		JQA中部試験センター		
R4.9.1 ～2		(Web)		
R4.9.12				
R4.9.21				
R4.11.28 ～29		ADOX福岡		
R4.12.8		(Web)		
R5.1.16				
R5.2.20				

年月日	委員会等の名称		会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.5.20	HFP定例会	第１回	浜松商工会議所会館	（一社）静岡県繊維協会	鈴木 重好 大木 結以
R4.6.21		第２回			鈴木 重好
R4.7.22		第３回			鈴木 重好 大木 結以
R4.8.26		第４回			鈴木 重好
R4.9.20		第５回			鈴木 重好 大木 結以
R4.11.15		第６回			
R4.12.20		第７回			鈴木 重好
R5.1.20		第８回			
R4.5.20	静岡化学工学懇話会　令和４年度役員会・総会		スズキ歴史館	静岡化学工学懇話会	松田　稔
R4.5.24	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点令和４年度第1回事業運営委員会		浜松市役所	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	山下 清光
R4.5.26	令和４年度静岡県－産総研の連携に係る連絡会議	第１回	（Web）	国立研究開発法人産業技術研究所イノベーション推進本部地域連携部関東地域局	宮原　鐘一
R4.7.14		第２回			
R4.9.26		第３回			
R4.5.27	フォトンバレーセンターA-SAP産学官金連携イノベーション推進事業採択審査会		（公財）浜松地域イノベーション推進機構フォトンバレーセンター	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	松田　稔
R4.9.13					
R5.2.1					
R5.2.6					
R4.6.5	ＪＩＳ溶接技能者評価試験立会員		浜松技術専門校	（一財）日本溶接協会 中部地区溶接技術検定委員会	木野 浩成
R4.9.4					
R4.12.14					
R5.3.5					
R4.6.10	レーザー中核人材企画会議		（Web）	光産業創成大学院大学	鷺坂 芳弘
R4.12.16					
R5.2.17					
R4.6.15	第１分科会		（Web）	中部エレクトロニクス振興会	山田 浩文
R4.8.19			浜松工業技術支援センター		
R4.9.20					
R4.11.25					
R5.2.14			（Web）		
R4.6.16	令和４年度光･電子活用チャレンジ事業費補助金審査会		静岡大学イノベーション社会連携推進機構	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	宮原 鐘一
R4.7.1	はままつ知財研究会　2022年度総会		（書面）	はままつ知財研究会	松田　稔
R4.7.7	令和４年度医工連携スタートアップ支援事業審査会		アクトシティ浜松	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	宮原 鐘一
R5.2.22			ホテルクラウンパレス浜松		

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.7.11	次世代自動車センター令和４年度試作品等製作委託事業第1回審査会	(公財)浜松地域イノベーション推進機構次世代自動車センター浜松	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	松田　稔
R4.7.22	2022年度先端精密技術研究会総会及び幹事会	ホテルクラウンパレス浜松	先端精密技術研究会	長谷川 和宏
R4.7.25	令和４年度モータードライブ応用研究会総会及び役員会	ホテルクラウンパレス浜松	モータードライブ応用研究会	木野 浩成
R4.7.25 R5.1.27	静岡県創業者育成施設入居審査委員会	静岡県庁	経済産業部商工業局	松田　稔
R4.8.30	浜松地域産業支援ネットワーク会議委員会	（書面）	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	松田　稔
R4.9.8	次世代自動車センター令和4年度試作品等製作委託事業第2回審査会	(公財)浜松地域イノベ-ション推進機構次世代自動車センター浜松	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	松田　稔
R4.9.22	令和4年度静岡県科学技術振興表彰選考委員会	静岡県庁	経済産業部商工業局長	松田　稔
R4.9.28 R4.3.15	KECシェアードミーティング	(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田 浩文
R4.12.22	基礎級技能検定実技試験検定委員	山田㈱	静岡県職業能力開発協会	田光 伸也
R4.12.22	浜松ものづくりマイスター選考委員会(現地調査及び最終選考)	株式会社日本設計工業、浜松工業技術支援センター	浜松市産業部	松田　稔
R5.3.1	令和４年度モータードライブ応用研究会役員会及び例会	ホテルクラウンパレス浜松	モータードライブ応用研究会	木野 浩成
R5.3.27	はままつ知財研究会幹事会	浜松商工会議所会館	はままつ知財研究会　事務局	松田　稔
派遣回数　８３　回			派遣人数（延べ）　１０２　人	

b　令和５年度（７月31日現在）

（ａ）工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R5.5.26	静岡情報産業協会通常総会	(Web)	静岡県情報産業協会	櫻川 智史
R5.5.29	試作品開発助成審査会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	櫻川 智史
R5.5.31	食品等開発助成事業審査委員会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター	油上　保
R5.6.14	静岡市産学交流センター最終審査会	B-nest	静岡市産学交流センター	中山　洋
R5.6.20	静岡市産学交流センター運営委員会	B-nest	静岡市産学交流センター	中山　洋
R5.6.23	全国食品関係試験研究場所長会議	(Web)	全国食品関係試験研究場所長会	櫻川 智史
R5.6.23	JIS素案作成委員会	(Web)	一般社団法人日本規格協会	柳原　亘
R5.6.27	ISO国内委員会	(Web)	一般社団法人日本規格協会	柳原　亘
R5.6.27	マリンオープンイノベーション事業化促進事業費補助金審査委員会	(Web)	産業イノベーション推進課	油上　保
R5.7.7	公立鉱工業試験研究機関長協議会総会	三重県文化総合センター	公立鉱工業試験研究機関長協議会	櫻川 智史
R5.7.28	日本鋳造工学会軽合金研究部会	いすゞ(株)藤沢工場	日本鋳造工学会	岩澤　秀
R5.7.31	食品等開発助成事業（２次募集）審査委員会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター	油上　保
派遣回数　１２　回			派遣人数（延べ）　１２　人	

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R5.4.10	静岡県清酒鑑評会表彰式	もくせい会館	沼津工業技術支援センター	鈴木 宏史 鈴木 雅博
R5.4.19 ～21	令和４酒造年度全国新酒鑑評会（予審）の審査委員会	独立行政法人酒類総合研究所	独立行政法人酒類総合研究所	鈴木 雅博
R5.5.17	令和５年度富士山麓産業支援ネットワーク会議	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレー センター	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレー センター	黒瀬 智英子
R5.7.19		(Web)		
R5.6.12	令和５年度静岡化学工学懇話会第１回役員会	日本軽金属(株)蒲原製造所	静岡化学工学懇話会	鬼久保 郁雄
R5.7.5	静岡県誉富士普及推進協議会幹事会	静岡県酒造会館	静岡県誉富士普及推進協議会	鈴木 宏史
派遣回数 ６ 回			派遣人数（延べ） ７ 人	

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R5.4.20 R5.7.27	紙パルプ試験規格委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	深沢 博之
R5.5.17	（一社）静岡県紙パルプ技術協会第１回理事会	ホテルグランド富士	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	飯野　修
R5.5.17	令和５年度　第１回富士山麓産業支援ネットワーク会議	ファルマバレーセンター	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	鈴木 光彰
R5.5.31	ふじマイスター選定委員会	富士市役所	富士市産業交流部商業労政課	飯野　修
R5.6.5	岳南地域地下水利用対策協議会通常総会	ふじさんエコトピア	岳南地域地下水利用対策協議会	飯野　修
R5.6.19	第１回富士ブランド推進会議	富士商工会議所	富士商工会議所富士ブランド推進会議	飯野　修
R5.6.21 ～28	（一社）静岡県紙パルプ技術協会第１回編集委員会	（書面）	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	飯野　修 深沢 博之
R5.6.29	異業種連携新サービス・新事業創出支援補助金審査会	富士市役所	富士市産業交流部産業政策課	飯野　修
R5.6.29	パルプ試験規格委員会	銀座区民館	紙パルプ技術協会	深沢 博之
R5.7.21	令和５年度　第２回富士山麓産業支援ネットワーク会議	(Web)	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	鈴木 光彰
派遣回数　１１　回			派遣人数（延べ）　１２　人	

（ｄ）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称		会　　場	主　　催	派遣者氏名
R5.4.11	2023年度ＴＭプラザはままつ総会		グランドホテル浜松	ＴＭプラザはままつ	鈴木 敬明
R5.4.13	第１分科会		(Web)	中部エレクトロニクス振興会	山田 浩文
R5.4.15					
R5.6.8					
R5.4.14	新規EMC規格対応WG		(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文
R5.6.29～30			KEC関西電子工業振興センター		
R5.4.18	ＨＦＰ定例会	第１回	浜松商工会議所	(一社)静岡県繊維協会	鈴木 敬明 鈴木 重好 大木 結以
R5.5.24		第２回			
R5.6.20		第３回			
R5.7.26		第４回			鈴木 重好 大木 結以
R5.5.10	CON-EX第１回実行委員会		浜松市福祉交流センター	(一社)強化プラスチック協会	鈴木 重好 針幸 達也
R5.5.11	繊維学会夏季セミナー第１回実行委員会		(Web)	(一社)繊維学会	鈴木 重好
R5.5.12	2023年度先端精密技術研究会幹事会		アクトシティ浜松コングレスセンター	先端精密技術研究会	長谷川 和宏
R5.5.16	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点令和５年度事業運営委員会　ワーキング会議		浜松医科大学	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	渥美 博安
R5.5.25			商工会議所		
R5.7.18			浜松医科大学		
R5.5.18	基礎級技能検定実技試験検定委員		(有)鷲津メッキ工業所	静岡県職業能力開発協会	田光 伸也
R5.6.26			ミヤキ		
R5.5.19	車載機器計測精度分析WG		(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田 浩文
R5.6.21					
R5.7.25			沖エンジニアリング		
R5.5.24	繊維機械学会東海支部総会		岐阜県産業技術総合センター	(一社)日本繊維機械学会	鈴木 重好

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R5.5.26	めっき組合総会出席	オークラ　アクトシティホテル浜松	浜松鍍金工業協同組合	鈴木 敬明
R5.6.4	ＪＩＳ溶接技能者評価試験立会員	浜松技術専門校	（一社）日本溶接協会　中部地区溶接技術検定委員会	木野 浩成
R5.6.7	A-SAP＃17　採択審査会	静岡大学浜松キャンパス	フォトンバレーセンター	伊藤 芳典
R5.6.7	レーザー中核人材育成講座事業統括委員会	光産業創成大学院大学	光産業創成大学院大学	渥美 博安
R5.6.7	産業環境センター総会出席	ホテルクラウンパレス	（一社）静岡県産業環境センター	鈴木 敬明
R5.6.26	浜松地域新産業創出会議	グランドホテル浜松	浜松市商工会議所	鈴木 敬明 伊藤 芳典
R5.6.30	スタートアップ支援事業審査会	ホテルクラウンパレス	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	伊藤 芳典
R5.6.30	金型技術研究会役員会及び総会	ホテルクラウンパレス浜松	静岡理工科大学金型技術研究会	吉岡 正行
R5.7.3	GO-Tech助成事業　第一回研究開発推進委員会	(Web)	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	中野 雅晴 志智　亘
R5.7.6	信州・浜松拠点交流会議2023 in Hamamatsu	ホテルクラウンパレス浜松	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	鈴木 敬明 伊藤 芳典 渥美 博安
R5.7.24	2023年度先端精密技術研究会総会	ホテルクラウンパレス浜松	先端精密技術研究会	長谷川 和宏
R5.7.24	産総研第1回地域連携ウェビナー	(Web)	産業技術総合研究所	伊藤 芳典
R5.7.28	都田アソシエイツ総会	ホテルクラウンパレス	都田アソシエイツ	鈴木 敬明
派遣回数　３５　回			派遣人数（延べ）　４７　人	

（ク）産業技術連携推進会議等への派遣

（目的）

（国研）産総研及び他都道府県公設試との協力体制を強化し、機関相互の試験研究を効果的に推進するため、職員を委員として派遣する。

（実績）

令和４年度及び令和５年度の実績は以下のとおりである。（令和５年度は７月31日現在）

	令和４年度		令和５年度	
	派遣回数	延べ派遣者数	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	３０	１０８	１０	２９
沼津工業技術支援センター	８	１１	２	２
富士工業技術支援センター	８	１２	０	０
浜松工業技術支援センター	１４	１５	５	６
合計	６０	１４６	１７	３７

a　令和４年度

（ａ）工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.4.6	産総研IC 説明会	(Web)	産総研	田中 伸佳
R4.4.23	つながる工場テストベッド事業報告会	(Web)	産総研	赤堀　篤 望月 紀寿 望月 健治 大澤 洋文 岩崎 清斗 松下 五樹
R4.5.28				
R4.6.26				
R4.7.24				
R4.8.23				
R4.9.27				
R4.10.25				
R4.11.22				
R5.1.24				
R5.2.28				
R5.3.28				
R4.5.26	静岡県-産総研との連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	田中 伸佳
R4.7.14				
R4.6.6	産技連 企画調整分科会	(Web)	産業技術連携推進会議	田中 伸佳
R4.6.28	中部イノベネット運営委員会	(Web)	中部イノベネット	杉山 直人
R4.7.6	産技連東海北陸地域地域産技連及び東海・北陸地域部会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地域産技連	杉山 直人
R4.10.19 ～20	情報技術分科会音・振動研究会	(Web)	産技連	竹居　翼
R4.10.24 ～28	第16回木質科学分科会	(Web)	産技連ナノテクノロジー・材料部会	田村 克浩 村松 重緒 菊池 圭祐
R4.10.27	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 第６０回高分子分科会	(Web)	鳥取県産業技術センター	菅野 尚子 望月 智文 野澤　遼
R4.10.27	ライフサイエンス部会デザイン分科会	(Web)	産技連、山梨県産業技術センター	長澤　正 及川 貴康 多々良 哲也

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.11.7	東海・北陸地域部会　情報・電子デバイス分科会	(Web)	三重県工業技術研究所	赤堀　篤
R4.11.10 ～11	第29回塗装工学分科会	徳島県立工業技術センター	令和４年度 産技連製造プロセス部会	田村 克浩 村松 重緒
R4.11.22	産技連 企画調整分科会	(Web)	産技連	田中 伸佳
R4.11.24	産業技術連携推進会議　東海・北陸地域部会　機械・金属分科会	(Web)	石川県工業試験場	大竹 正寿 岩澤　秀
R4.11.29	令和４年度合同総会（関東地域産技連、関東地域部会）	東京都立産業医技術研究センター	産技連関東甲信越静地域産技連 産技連関東甲信越静地域部会	杉山 直人
R4.12.8	計測分科会形状計測研究会	(Web)	産技連	柳原　亘
R5.2.9	全国食品関係試験研究場所長会総会	つくば国際会議場	全国食品関係試験研究場所長会	杉山 直人
R5.2.14	産業技術連携推進会議総会	(Web)	産技連	杉山 直人
R5.2.17	産技連 企画調整分科会	(Web)	産技連	田中 伸佳
派遣回数　３０　回			派遣人数（延べ）　１０８　人	

注）産技連：産業技術連携推進会議
　　農研機構：（国研）農業・食品産業技術総合研究機構
　　産総研：(国研)産業技術総合研究所

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.5.26	静岡県-産総研連絡会議	(Web)	産総研	鬼久保 郁雄
R4.7.14				
R4.9.26				
R5.3.27				
R4.6.28	産総研・産技連ＬＳ－ＢＴ合同研究発表会産総研ライフサイエンス分科会発表会	(Web)	産総研	鬼久保 郁雄 杉本 芳邦 勝山　聡 髙木 啓詞
R4.7.6	産技連東海北陸地域地域産技連及び東海・北陸地域部会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	大川 勝正
R4.9.30	中部公設試験研究機関長会	愛知県産業労働センター	中部科学技術センター	鬼久保 郁雄
R4.11.29	令和４年度合同総会（関東地域産技連、関東地域部会）	東京都立産業医技術研究センター	産技連関東甲信越静地域産技連 産技連関東甲信越静地域部会	大川 勝正
派遣回数　８　回			派遣人数（延べ）　１１　人	

注）　産技連：産業技術連携推進会議
　　産総研：(国研)産業技術総合研究所

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.5.26	静岡県-産総研連絡会議	(Web)	産総研	飯野　修
R4.7.14				
R4.7.6	産技連東海北陸地域地域産技連及び東海・北陸地域部会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	櫻川 智史
R4.9.30	中部公設試験研究機関機関長会	愛知県産業労働センター	中部科学技術センター	櫻川 智史

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.10.13	令和4年度 産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 表面技術分科会	(Web)	産技連	髙木　誠
R4.11.29	令和４年度合同総会（関東地域産技連、関東地域部会）	東京都立産業医技術研究センター	産技連関東甲信越静地域産技連 産技連関東甲信越静地域部会	櫻川 智史
R5.1.23	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	(Web)	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	櫻川 智史 飯野　修 深沢 博之 伊藤　彰 河部 千香
R5.2.14	産業技術連携推進会議総会	(Web)	産技連	櫻川 智史
派遣回数 ８ 回			派遣人数（延べ） １２ 人	

注）　産技連：産業技術連携推進会議
　　産総研：(国研)産業技術総合研究所

（ｄ）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R4.5.19	繊維分科会　東海地域連絡会総会	(電子メール)	産技連ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木 重好
R4.5.26 R4.7.14	静岡県-産総研連絡会議	(Web)	産総研	宮原 鐘一
R4.6.7	ＣＨＣ全体会議	(Web)	東海・北陸地域部会 機械・金属分科会 炭素繊維高度利活用技術研究会	鈴木 重好
R4.6.30	繊維分科会 総会	(電子メール)	産技連ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木 重好
R4.7.6	産技連東海北陸地域地域産技連及び東海・北陸地域部会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	松田　稔
R4.9.30	令和4年中部公設試試験研究機関　機関長会･研究者表彰式	愛知県産業労働センター	(公財)中部科学技術センター	松田　稔
R4.10.21	繊維分科会　繊維技術研究会	(Web)	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木 重好
R4.11.17	繊維分科会　東海地域連絡会	(電子メール)	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木 重好 森田 達弥
R4.11.17	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 積層造形研究会	長崎県 ミライon 図書館	産業技術連携推進会議 積層造形研究会	木野 浩成
R4.11.29	令和４年度合同総会（関東地域産技連、関東地域部会）	東京都立産業医技術研究センター	産技連関東甲信越静地域産技連 産技連 関東甲信越静地域部会	松田　稔
R5.1.20	第20回関東甲信越静EMC研究交流会及び広域輸出製品技術支援センター（MTEP）EMCパートナーグループ会	埼玉県産業技術総合センター	関東甲信越静EMC研究交流会 東京都	山田 浩文
R4.1.25	繊維分科会　幹事会	(電子メール)	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木 重好
R5.2.14	第63回産業技術連携推進会議総会	(Web)	産技連	松田　稔
派遣回数 １４ 回			派遣人数（延べ） １５ 人	

注）　産技連：産業技術連携推進会議
　　産総研：(国研)産業技術総合研究所

b　令和５年度（７月31日現在）

（ａ）工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R5.4.25	つながる工場テストベッド事業報告会	(Web)	産総研	山下 清光 課員全員
R5.5.23				
R5.7.25				
R5.6.14	第21回 産総研・産技連 LS-BT合同研究発表会	(Web)	産技連ライフサイエンス部会バイオテクノロジー分科会	堀池 隼雄
R5.6.15 ～16	第32回デザイン分科会	福島県ハイテクプラザ会津若松支援センター	産技連ライフサイエンス部会デザイン分科会	長澤　正 及川　貴康
R5.6.16	産技連東海北陸地域地域産技連及び東海・北陸地域部会合同総会	ミッドランドホール会議室Ａ（名古屋市中村区 ミッドランドスクエア オフィスタワー)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	櫻川 智史
R5.6.23	全国食品関係試験研究場所長会役員会	(Web)	全国食品関係試験研究場所長会	櫻川 智史 油上　保 大竹 正寿
R5.6.26	産技連 企画調整分科会	(Web)	産技連	中山　洋
R5.7.24	産総研第1回地域連携ウェビナー	(Web)	産総研	中山　洋
派遣回数　１０　回			派遣人数（延べ）　２９　人	

注）産技連：産業技術連携推進会議
農研機構：（国研）農業・食品産業技術総合研究機構
産総研：(国研)産業技術総合研究所

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R5.5.17	静岡県-産総研連絡会議	(Web)	産総研	鬼久保 郁雄
R5.6.13 ～14	第21回 産総研・産技連LS-BT合同研究発表会	産総研つくばセンター	産総研 産技連 ライフサイエンス部会 バイオテクノロジー分科会	袴田 雅俊
派遣回数 ２ 回			派遣人数（延べ） ２ 人	

注）　産技連：産業技術連携推進会議
　　産総研：(国研)産業技術総合研究所

（ｃ）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R5.6.1	繊維分科会　東海地域連絡会総会	尾張繊維技術センター	産技連ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木 重好 大木 結以
R5.6.8 ～9	繊維分科会 総会	桐生グランドホテル	産技連ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木 重好
R5.6.16	産技連東海北陸地域地域産技連及び東海・北陸地域部会合同総会	ミッドランドホール 会議室Ａ（名古屋市中村区 ミッドランドスクエア オフィスタワー)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	鈴木 敬明
R5.7.14	ＣＨＣ全体会議	(Web)	東海・北陸地域部会　機械・金属分科会　炭素繊維高度利活用技術研究会	鈴木 重好
派遣回数 ５ 回			派遣人数（延べ） ６ 人	

注）　産技連：産業技術連携推進会議
　　産総研：(国研)産業技術総合研究所

（ケ）　学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展

（目的）

研究者や技術者及び企業経営者等に新技術等の情報を提供するため、学会や展示会等で発表するとともに、学会誌や専門誌等に投稿する。

（実績）

令和４年度及び令和５年度の実績は以下のとおりである。（令和５年度は７月31日現在）

	令和４年度				令和５年度			
	学会等発表回数（ポスター発表含む）	学会誌等投稿	一般誌投稿	展示会出展	学会等発表回数（ポスター発表含む）	学会誌等投稿	一般誌投稿	展示会出展
工業技術研究所	１１	3	5	１０	4	0	1	1
沼津工業技術支援センター	3	3	0	6	0	0	0	0
富士工業技術支援センター	0	1	1	6	2	0	0	0
浜松工業技術支援センター	１７	1	0	3	0	0	1	1
合計	３１	8	6	２５	6	0	2	2

a　令和４年度の学会発表及び投稿等の実績

（ａ）工業技術研究所の実績（※はポスター発表）

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R4.6.12	水産未利用資源抽出物投与がマウス免疫系に与える影響	第76回日本栄養・食糧学会大会	予稿集	長房 秀幸
R4.6.29	海洋由来乳酸菌を用いた発酵甘酒の開発※	第20回産総研・産技連ＬＳ－ＢＴ合同研究発表会	－	袴田 雅俊
R4.6.29	海洋由来微生物による発酵甘酒の香気特性※			松野 正幸
R4.7.22	セルロースナノファイバーを用いた自動車用湿式摩擦材の開発※	セルロース学会第29回年次大会	セルロース学会第29回年次大会講演要旨集	菅野 尚子
	セルロースナノファイバーの繊維長による香りの放散挙動			石橋 佳奈
R4.9.22	分光反射率測定データを対象とした機械学習によるデータ補間手法の検討	一般社団法人照明学会2022年度全国大会	－	田代 知範
R4.11.2	海洋由来乳酸菌を用いた発酵ハバネロソースの開発※	農研機構食品研究成果展示会2022	第40回講演会	堀池 隼雄
R4.11.9	水産未利用資源抽出物投与がマウス免疫系に与える影響※	日本食品免疫学会第18回学術大会	－	長房 秀幸
R5.3.7	ホワイトアッシュの樹幹内位置と衝撃曲げ強さの関係	第73回日本木材学会大会	－	菊池 圭祐 田村 克浩
R5.3.15	テラヘルツ時間領域分光法によるCNF複合材料の非破壊評価※	第73回日本木材学会大会	（一社）日本木材学会	菅野 尚子
R5.3.15	非接触形状測定機による傾斜面測定の誤差評価－傾斜角度と表面粗さについて－	一般社団法人精密工学会	－	柳原　亘
R5.3.15	透析脱塩による豆乳エマルションの可逆的挙動	日本農芸化学会	要旨集	松野 正幸

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会誌及び専門誌への投稿				
R4.10.22	Viscosity of evaporated soymilk prepared in the laboratory using normal and11S-lacking soybean seeds-	Wily Online Libraly	Journal of the Science of Fpod and Agriculture, 2022	松野 正幸
R4.10.25	Cellular Anti-Inflammatory and Antioxidant Activities of Bamboo Sasa albomarginata Leaf Extract and Its Constituent Coumaric Acid Methyl Ester	Volume 2022, Article ID 8454865, 10 pages	The Scientific World Journal	袴田 雅俊 淺沼 俊倫
R5.3.31	未利用バイオマスを原料とした活性炭開発と電極材料への展開	－	日本炭化学会誌	菊池 圭祐
一般誌への投稿				
R4.7.22	高密着な樹脂めっきの作製-ポリカーボネイト，PP/CNF複合材へのめっき技術の検討-	－	月刊ＪＥＴＩ	田中 宏樹
R4.10.15	自転公転式ミキサーによる錠剤粉砕および湿式造粒	Vol.097 No.1137 pp.22-27	冷凍	松野 正幸
R4.11	半溶融成形法を用いたアルミニウム鋳造合金の高性能化	アルミニウム研究会誌	(一社) 表面技術協会	岩澤　秀
R4.12.10	注目の地域ブランド（東海地方編）	－	月刊フードケミカル	袴田 雅俊
R5.2.7	海洋由来乳酸菌を用いた発酵ハバネロソースの開発	No.57	食品の試験と研究	堀池 隼雄 袴田 雅俊 淺沼 俊倫
展示会への出展				
R4.6.1 ～3	業務紹介	シズオカ［ＫＡＧＵ］メッセ2022	－	工芸科
R4.10.3	CNFを用いた香り成分の放散挙動について	ふじのくにCNF総合展示会	－	石橋 佳奈
R4.10.21	静岡県のIoT導入支援について※	第16回TKFオープンフォーラム	－	赤堀　篤
R4.11.8	CNFを用いた香り成分の放散挙動について	ふじのくにCNF総合展示会	－	堀池 隼雄 山下 里恵 工芸科
R4.11.11 ～12	ポリ乳酸へのめっき技術の開発 PP/CNF複合材への高密着めっきの作製	産業振興フェアinいわた	－	田中 宏樹 大竹 正寿

	静岡県のIoT導入支援について※			赤堀　篤
	新成長戦略研究成果品（乳酸発酵甘酒ほか）			堀池 隼雄
	駿河湾由来から分離されたカロテノイド生産微生物の紹介※			室伏 敬太
	小型メタン発酵プラントを用いた高温メタン発酵への対応※			井口 大輔
R4.11.16	医療器具開発について	医療福祉機器展	－	工芸科
合計件数 ２９ 件		学会等発表 １１ 件・投稿等 ８ 件・展示会 １０ 件		

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R4.6.28	海洋由来微生物を活用したサワービールの開発	産総研・産技連ＬＳ－ＢＴ合同研究発表会産総研ライフサイエンス分科会発表会（Web）	－	勝山　聡 横澤　賢 鈴木 雅博
R4.11.17	熱間加工後の動的再結晶化率を予測する新たな構成式の提案	型技術ワークショップ2022　ｉｎ　ぎふ	型技術 Vol.37 No.13 （2022）	是永 宗祐 本多 正計
R5.3.15	コーヒーかす抽出液を利用した酵母によるバイオスティミュラントの生産	日本農芸化学会2023年度大会 （オンライン開催）	－	髙木 啓詞
学会誌及び専門誌への投稿				
R4.5.15	県内分離乳酸菌を活用したサワービールの開発	－	日本食品科学工学会誌	勝山　聡 鈴木 雅博 横澤　賢 髙木 啓詞
R4.6	Novel constitutive equation for predicting dynamic recrystallization during hot working considering the efficiency of power dissipation	－	Metallurgical and Materials Transactions A	是永 宗祐 本多 正計
R4.7.25	海洋由来乳酸菌を用いた豆乳ヨーグルトの開発！	－	生物工学会誌	バイオ科
一般誌への投稿				
実績なし				

展示会への出展				
R4.11.11 ～12	・海洋由来微生物を活用したサワービールの開発Ⅱ (最適酵母の選抜及びベンチスケール試作) ・医療機器開発を支援するための鍛造シミュレーションシステムの構築	第12回産業振興フェアinいわた	－	バイオ科 機械電子科
R4.11.28		第16回静岡県東部テクノフォーラムin沼津高専		本多 正計 飯塚 千佳世
R4.12.2		Made in Mt.Fuji ふじのくに医療・介護福祉機器展-富士山麓産学官金連携フォーラム2022-		本多 正計 飯塚 千佳世
合計件数 １２ 件		学会等発表 ３ 件・投稿等 ３ 件・展示会 ６ 件		

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
実績なし				
学会誌及び専門誌への投稿				
R4.5.1	段ボール古紙を使用した「茶色いトイレットペーパー」の開発	－	紙パルプ技術タイムス	齊藤 和明 深沢 博之 杉本 芳邦
一般誌への投稿				
R4.10	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センターの紹介	日本試験機工業会	TEST	三宅 健司
展示会への出展				
R4.10.3 ～11.15	・次世代自動車軽量化のためのＣＮＦ複合材の開発 ・新型リファイナーを用いたＣＮＦ製造の試み	ふじのくにCNF総合展示会オンラインプレイベント	－	CNF科

R4.11.8	・次世代自動車軽量化のためのＣＮＦ複合材の開発 ・新型リファイナーを用いたＣＮＦ製造の試み ・セルロースナノファイバー(ＣＮＦ)関連機器の紹介	ふじのくにCNF総合展示会	－	山下 晶平 田中 翔悟 中島 大介 山崎 利樹
R4.11.11 ～12	・次世代自動車軽量化のためのＣＮＦ複合材の開発 ・新型リファイナーを用いたＣＮＦ製造の試み ・異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発	第12回産業振興フェアinいわた	－	高木　誠 山下 晶平 田中 翔悟 中島 大介 山崎 利樹
R4.12.2	セルロースナノファイバー(ＣＮＦ)関連機器の紹介	Made in Mt.Fujiふじのくに医療・介護福祉機器展	－	三宅 健司
R4.12.7 ～9	次世代自動車軽量化のためのＣＮＦ複合材の開発	エコプロ2022	－	櫻川 智史 中島 大介 山崎 利樹
R5.2.10 ～11	・プラスチック資源循環実現に向けたCNF複合樹脂のリサイクル性の評価 ・TEMPO酸化CNFに関する産業支援の取組について ・廃棄衣料コットンを原料とした紙の開発 ・プラズマ照射による樹脂表界面の新規改質技術の開発－新型プラズマ照射装置の樹脂表面改質への応用－	ものづくり力交流フェア２０２３	－	櫻川 智史 三宅 健司 飯野　修 高木　誠 中島 大介 山崎 利樹
合計件数 ８ 件		学会等発表 ０ 件・投稿等 ２ 件・展示会 ６ 件		

（ｄ）浜松工業技術支援センターの実績（※はポスター発表）

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R4.6.5	サブナノ秒レーザーピーンフォーミングによる張出し成形（第一報　変形モードの影響）	2021年度塑性加工春季講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘
R4.7.22	セルロースナノファイバーを用いた自動車用湿式摩擦材の開発※	セルロース学会第29回年次大会	－	木野 浩成
R4.9.7	カラーイメージングによる表面粗さ推定に関する研究（第３報）	2022年度 精密工学会秋季大会講演会	講演論文集	中野 雅晴
R4.9.9	サブナノ秒レーザーピーンフォーミングによる薄板のバルジ成形（第一報）	2022年度 精密工学会秋季大会講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘
R4.9.22	図形を描画するマイクロプリズムアレイのと投影性能の検討	2022年度　照明学会全国大会	講演論文集	志智　亘
R4.10.13～14	熱可塑性炭素繊維強化プラスチック（CFRTP）に関する静岡県の取り組み※	第66回FRP総合講演会・展示会	－	針幸 達也
R4.10.13～14	細断したUDテープを用いたCFRTPの圧縮成形技術の開発	第66回FRP総合講演会・展示会	－	森田 達弥
R4.11.15	マイクロプリズムアレイによる図形投影の回折による影響	2022年度 日本光学会年次学術講演会	講演論文集	志智　亘
R4.11.18	サブナノ秒レーザーピーンフォーミングによる張出し成形（第二報　螺旋走査経路の影響）	第73回 塑性加工連合講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘
R4.11.18	ナノ秒レーザーピーンフォーミングにおける水循環適用の効果	第73回 塑性加工連合講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘 山下 清光
R4.11.18	細断したUDテープを用いた熱可塑性CFRPのトランスファ成形技術の開発	第73回塑性加工学会	－	森田 達弥
R4.11.30	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（CFRP）の高効率成形技術の確立※	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄﾊｲｳｪｲｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ2022	－	鈴木 重好
R4.12.10	細断したUDテープを用いたCFRTPのトランスファ成形	繊維学会東海支部若手繊維研究会	－	森田 達弥
R5.3.8	レーザピーニングの簡易評価法の基礎検討（ナノ秒レーザピーンフォーミングの変形特性）	日本機械学会東海支部第72期総会･講演会　TOUKAI ENGINEERING COMPLEX 2023	講演論文集	鷺坂 芳弘 山下 清光

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R5.3.14	サブナノ秒レーザピーンフォーミングによる薄板のバルジ成形(第2報)－走査経路による成形効率の向上－	2023年度精密工学会春季大会講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘
R5.3.15	非接触形状測定機による傾斜面測定の誤差評価－傾斜角度と表面粗さについて－	2023年度精密工学会春季大会講演会	講演論文集	中野 雅晴
R5.3.16	ナノ秒レーザピーンフォーミングにおけるデブリの影響	2023年度精密工学会春季大会講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘 山下 清光
学会誌及び専門誌への投稿				
R4.8	レーザ加工	日本塑性加工学会会報誌	ぷらすとす	鷺坂 芳弘
一般誌への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
R4.7.21	熱可塑性チョップドＵＤテープカット材の成形－静岡県の取り組み－※	ＮＣＣ次世代複合材研究会プレゼン会	－	鈴木 重好
R4.11.11～12	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（CFRP）の高効率成形技術の確立※	産業振興フェアinいわた	－	繊維高分子材料科
R4.11.11～12	車載機器EMCテストサイト※	産業振興フェアinいわた	－	機械電子科
合計件数 ２１ 件		学会等発表 １７ 件・投稿等 １ 件・展示会 ３ 件		

b　令和５年度の学会発表及び投稿等の実績（７月31日現在）

（ａ）工業技術研究所の実績（※はポスター発表）

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R5.6.10	ナノ秒レーザーピーンフォーミングの曲げ変形特性	2023年度塑性加工春季講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘
	ナノ秒レーザーピーンフォーミングにおける水循環適用の効果（第二報　レーザー光と同軸での水噴射の効果）			
R5.6.11	アルミニウム合金のレーザーピーニングによる圧縮残留応力の測定と数値解析			
R5.6.18～25	Changes in soymilk protein behavior with NaCl in freeze-thaw processing※	ICEF14 The 14th edition of International Congress on Engineering and Food	－	松野 正幸
学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				
一般誌等への投稿				
R5.7	ポリプロピレン（PP）の形態が無水マレイン酸変性PPを含むCNF複合材料の物性に及ぼす影響	－	JETI（Japan Energy & Technology Interigence）	菅野 尚子 小泉 雄輔
展示会への出展				
R5.6.7～11	業務紹介、所有椅子展示※	シズオカ［ＫＡＧＵ］メッセ2022	－	田村 克浩 村松 重緒 船井　孝 前田 研司
合計件数 ６ 件		学会等発表 ４ 件・投稿等 １ 件・展示会 １ 件		

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
実績なし				
学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				
一般誌への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
実績なし				
合計件数　０　件		学会等発表　０　件・投稿等　０　件・展示会　０　件		

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R5.6.14	加温処理による紙の低密度化に関する研究・パルプ懸濁液の加温処理により低密度化する紙の構造と物性	2023年繊維学会年次大会	－	河部　千香 深沢　博之
R5.6.21	加温処理による紙の低密度化に関する研究・パルプ繊維懸濁液の加温処理により生じる紙の低密度化現象のメカニズム	第90回紙パルプ研究発表会	－	河部　千香 深沢　博之
学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				

一般誌への投稿	
実績なし	
展示会への出展	
実績なし	
合計件数　２　件	学会等発表　２　件・投稿等　０　件・展示会　０　件

（ｄ）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
実績なし				
学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				
一般誌への投稿				
R5.7.22	ポリプロピレン（PP）の形態が無水マレイン酸変性PPを含むCNF複合材料の物性に及ぼす影響	－	月刊ＪＥＴＩ8月号（R5.7.22）	木野 浩成
展示会への出展				
R5.7.14	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（CFRP）の高効率成形技術の確立	MF-TOKYO2023第7回プレス・板金・フォーミング展への出展	－	針幸 達也
合計件数 2 件		学会等発表 0 件・投稿等 1 件・展示会 1 件		

エ　その他

（ア）産学官連携コーディネート体制強化事業

（目的）

公益財団法人静岡県産業振興財団を中心に実施する地域企業、大学、支援機関の連携強化事業に参画し、技術情報の共有化や研究開発、産業振興を図る。

（実績）

実績は下表のとおりである。　（令和５年度は７月31日現在）

項　目	令和４年度	令和５年度
他支援機関等へのコーディネートによる支援	３７件	２０件
他支援機関からの技術支援要請への対応	１９３件	４８件
研究開発助成事業など支援事業の申請に関わるコーディネート	１８件	６件
工業技術研究所や大学等のシーズ紹介、事業への共同申請等のコーディネート	１２３件	５１件
他支援機関等より依頼された事業評価、審査等への対応	８５件	４２件
新産業集積クラスターなど重点分野への技術支援	１２７件	２９件
合計	５８３件	１９６件

注）各項目の件数は研究所及び３支援センターの数値を合計したものである。

（イ）資質向上研修

（目的）

研修を通して研究職員の技術や知識を向上させることで、研究の推進を図るとともに、中小企業等の技術相談に対応できるようにする。

（実績・計画）

下表のとおり資質向上研修を実施した。　（令和５年度は７月31日現在）

	令和４年度	令和５年度
	件数	件数(計画)
工業技術研究所	２１件	８件（２２件）
沼津工業技術支援センター	７件	２件　（５件）
富士工業技術支援センター	６件	２件　（６件）
浜松工業技術支援センター	１２件	５件（１１件）
合計	４６件	１７件（４４件）

オ　評価・改善

（ア）工業技術研究所

a　試験研究

令和４年度は、一般共同研究、受託研究（競争的資金（国、国立研究開発法人、財団法人等が実施する研究開発助成事業等）を含む）が２／３を占めており、地域のニーズ、産業界の要望に応える課題設定ができたものと考えている。

また、新成長戦略研究について、令和２年度に開始した本県の海洋生物資源を活用した産業振興を目的とした「マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発」では、駿河湾由来乳酸菌を用いた「静岡チーズ」や「ハバネロソース」を開発し、県内企業が商品化した。また、自動車から路面への画像投影を可能とするレンズの開発を目指す「人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発」（令和３年度開始）やIoT技術の導入の次のステップとしてヒトやモノの動きを通して工場全体の効率化を図る「設備、モノ、ヒトの統合的データ分析による生産性の効率化」（令和４年度開始）は、順調に取り組みが進んでいる。さらに令和５年度からは新たに味覚などの感覚を含めた満足度を高めるための「乳酸菌発酵による食品の感覚応答の増強・減弱」の研究を進めている。

このように、企業の要望に合わせた研究や地域企業・業界の発展を支援する波及性の高い研究課題を設定し実施している。

b　技術相談等

令和４年度の技術相談は15,795件実施し、前年度に比べて639件増加した。そのうち、現場における技術相談件数が526件増加していることから、新型コロナウイルス感染拡大が続く中でも、中小企業への支援活動を継続的に行なうため、積極的に現地での指導に取り組んだ結果であると思われる。

各科の状況を見ると、機械電子科、環境エネルギー科、ユニバーサルデザイン科で微減しているものの、他の５科は増加しおり、特に食品科は600件以上増加しており、全体の件数増加に寄与しているものと思われる。

c　依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

令和４年度の依頼試験件数は11,939件で、前年度に比べ1,356件増加した。一方、収入額は15,622千円で、3,299千円の減少となった。これは長期性能試験の件数が大きく増加したものの、より単価が高い特殊試験が減少したものと思われる。

また令和４年度の機器等使用及び研修施設等については、使用時間数が20,998時間、収入は24,820千円で、前年度に比べそれぞれ8,042時間、168千円の減少であった。

令和４年度は、社会的に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響は残るものの、自粛一辺倒ではなく必要であれば積極的に来所を検討する企業姿勢の変化の現れと考える。

今後も地域企業・業界のニーズに応えられるよう機器の導入・更新、維持管理に努めていく。

d　研修生の受入れ

令和４年度は、大学から５人の研修生を受け入れ、前年度から１人減少した。また、就業体験研修が再開され、４人の大学生が業務体験を行った。今後も研究所が持つ技術を普及させるため、企業に研修生制度を紹介するとともに、就業体験研修生や大学院生も積極的に受入れていく。

e　技術情報提供

令和４年度の講習会・講演会については、23件開催し参加者数は延べ1,468人で、前年度よりも開催件数が２件、参加者が500人増加した。また、研究発表会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、現地開催及びWeb会議システムを活用したハイブリッド開催とした。これにより、これまで参加が難しかった遠方からの参加もみられた。

講師活動は、令和４年度は14回実施し、参加者数は516人で、前年度と比較して11回、79人減少した。学会・専門誌･展示会における発表・投稿・展示については、令和４年度は26件で、前年度と比較して６件増加した。

講習会・講演会については、開催件数、活動回数供に増加した。同様に学会・展示会等についても、増加している。

今後も講習会・講演会については、地域企業・業界の要望に合わせた幅広い分野で実務的なテーマを設定し、参加者数の増加に努めるとともに、研究所の技術や研究成果を企業等へPRするよう、講師活動や学会発表・展示会出展を積極的に実施していく。

その他、ホームページによる各種情報提供に加え、２週間に一度程度の頻度で研究所や県の最新情報を記したメールマガジンを配信している。登録者数は順調に増加し1,000を超え、いち早く企業に

必要な情報を提供できていると考えている。

f　産学官連携の促進

研究所全体で、産学官連携推進コーディネータの活動は、令和４年度は583件で、前年度から21件増加した。前年度に引き続き、Web会議システムの活用など、他支援機関等と連携した企業支援活動を継続し、新たな産業創出にむけた取り組みができていると考えている。

また、公益財団法人静岡県産業振興財団が実施する新成長産業分野への助成事業について、助成先への技術的な助言やコーディネート活動による支援を行っている。今後も引き続き産学官連携の促進を図っていく。

（イ）沼津工業技術支援センター

a　試験研究

バイオ科では令和２年度から令和４年度まで水産・海洋技術研究所が中核研究機関となった新成長戦略研究「マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発」を実施し、微生物産業の持続的発展と新たな展開に力を入れた。令和４年度には本研究の成果として得られた海洋微生物を利用したサワービールを県内のクラフトビールメーカと共同で製品化した。また、従来から取り組んできた有用微生物を用いた日本酒・ビール等の新規発酵食品開発については、開発した酵母株を企業、団体等へ分譲し順調に実績を伸ばしている。さらに、令和３年度から３年間の計画で麹に関する研究も開始した。本県の清酒造りに適した独自の麹菌株選抜基準を設定し、これまでに無かった本県独自の清酒醸造用種麹の開発フローを構築し、令和４年度には、共同研究先で県オリジナル清酒用種麹の試作品を開発した。令和５年度は、その種麹を用いた試験醸造を県内酒造メーカーで実施しており、現在、これにより得られた製成酒の成分分析を進めている。本研究で開発した種麹は、共同研究機関にて製造し、県内酒造メーカーのみを対象に販売する予定である。

機械電子科では、平成28年度から平成30年度までの３年間で戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）の「骨端用プレートの高品質・低コスト成形加工技術の開発」に取り組み、製品の高品質、低コスト化につながる成果を得た。また、新成長戦略研究「次世代型インプラントの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発」では、整形外科用インプラントの型鍛造成形を実現させる上で必要不可欠な、金型や成形条件探索等に費やす開発費を削減させることが出来る独自の設計支援技術（一部は特許取得　特許第7228202号「摩擦係数測定方法およびシミュレーション方法、摩擦係数測定装置およびシミュレーション装置、摩擦係数測定プログラムおよびシミュレーションプログラム」令和５年２月15日登録）を開発した。この設計支援技術を活用することで、試験用インプラントの開発期間を３年から１年へ、試作開発費を７割以上削減させることが可能となった。このようにファルマバレープロジェクトの促進に積極的に取り組んでいる。

b　技術相談等

令和３年度は2,658件の実施に対して令和４年度は2,912件であり、254件増加した。令和５年度の７月末までの実績は1,035件であり、年間換算すると令和５年度も同程度か微増の件数となる見込みである。そのうち現地指導については、令和３年度の125件に対し、令和４年度は200件と増加している。令和５年度は７月末現在で80件となっていることかから、このペースが続けば令和５年度は大幅に増加するものと思われる。また、引き続きオンラインでの技術相談を積極的に取り入れることで、新型コロナウイルス対策としてのみでなく、従来は来所が難しかった遠隔地からのニーズの取り込みを図る。今後も引き続き広く地域産業界の技術的な課題の解決などに役立つことを目標に、企業に訪問するなどして、業界ニーズ・要望に対応していく。

c　依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

依頼試験については、令和４年度は、7,115件となり、令和３年度と比べ、件数では713件減少したが、収入は5,475千円となり、令和３年度と比べ485千円の増加となった。令和４年度は機械器具の検査及び試験による収入額が大きく、件数に対し収入額が大きかったことが理由として考えられる。

また、機器等使用及び研修施設等使用については、令和４年度は3,289時間となり、令和３年度と比べ、延べ使用時間では4,661時間、収入では1,312千円の減少となった。新型コロナウイルスの感染拡大の影響が見られた。従来から、依頼試験・機器等使用についての企業のニーズに対しては可能な限り積極的に対応するようにしている。今後も機器の維持管理や導入・更新に積極的に取り組み、地域ニーズや業界の要望に応えられるよう努めるとともに、利用促進のためにもセンターのＰＲを実施していく。

d　研修生の受入れ

近年、継続して一定数の受入れを行っており、令和３年度は、民間企業より２人を受け入れたが、令和４年度については受け入れは０人であり、新型コロナウイルス感染拡大の影響が残った形となった。今後は、企業訪問や展示会への出展などの機会をとらえ、かつオンラインも活用しながら積極的なＰＲに努め、地域人材の育成に貢献していく。

e　技術情報提供

講習会・講演会については、令和４年度の実施回数は６回、参加者数は136人で、回数で３回、人数で54人令和３年度を上回った。コロナ禍により、全６回のうち１回はオンライン開催としたが、他５回は新型コロナウイルス感染防止に細心の注意を払いながら、対面方式で開催した。令和５年度は７月末の段階で開催１回、参加21人である。今後も引き続き、情報提供方法の改善要素を模索しつつ、地域企業のニーズに対応した新技術等の情報を積極的に発信していく。

学会・専門誌・展示会への発表・投稿・出展については、令和４年度は12件であり、令和３年度より５件減少した。これは展示会への出展が減少したことによる。試験研究で得られた成果については今後も引き続き積極的に発信していく。

f　産学官連携の促進

産学官連携コーディネータを中心に幅広く連携を支援している。ファルマバレーセンターをはじめとした地域の支援機関との連携も深めており、令和２年度からはマリンオープンイノベーション推進機構との新たな協働が本格的に始動している。また、令和３年度からは静岡大学に協力研究員として職員を派遣しており、引き続き産学官連携の促進を図っていく。

（ウ）富士工業技術支援センター

a　試験研究

製紙科では、地域の製紙会社が共通して抱えている問題に対応するため、『古紙原料のリサイクル』の視点で課題設定を行っている。令和元年度からは特殊更紙の低密度化に取り組んでおり、原料の選択や加工条件の調整により、低密度化できる要因を明らかにし、地域の企業が実践して効果を上げている。また、令和４年度は、「廃棄衣料をリサイクルするための製紙技術の開発」を取り組み、令和５年度は、新成長戦略研究政策課題指定枠「サスティナブルファッションに寄与する廃棄衣料を利用した製紙技術の開発」を進めている。ＣＮＦ科では、令和元年度からはＣＮＦの樹脂への応用を進める新成長戦略研究を開始し、引き続き大学や地域企業との連携により、ＣＮＦ複合材の実用化を目指して研究開発を進めている。令和４年度は、新成長戦略研究政策課題指定枠「プラスチック資源循環実現に向けたＣＮＦ複合樹脂リサイクル性の評価」を実施し、脱炭素・資源循環社会実現に向けた自動車部材の軽量化素材として、リサイクルが困難なガラス繊維等を使用した樹脂の代替とするため、ＣＮＦを30％配合したポリプロピレン樹脂を成形し、ＣＮＦ複合樹脂のリサイクル性を検証した。また、令和元年度に開設した新たな産学官連携拠点「ふじのくにＣＮＦ研究開発センター」において、ＣＮＦラボに入居する企業３社と共同研究を進め、早期の事業化・実用化を目指している。機械電子科では、畜産技術研究所など関係機関と連携して、ＡＩ技術を応用した牛分娩検知システムの新たな実用化に目処をつけた他、得られた知見を「牛の疾病検知システム」の開発に発展させている。また、次世代自動車、航空・宇宙産業等の成長分野での利用が見込まれる異種材料接合部品の製造に利用できるプラズマ照射技術を開発した。最適な照射条件や材料毎の特性をまとめ、試作品開発に取り組む企業に開放している。

各科のテーマとも、地域のニーズ・産業界の要望に応える課題であり、地域振興に役立つものと考えている。

b　技術相談等

令和４年度の相談件数は4,250件で、令和３年度と比較して同程度の件数であった。現地訪問による相談は令和３年度比70％増の282件、遠隔相談システムの利用は令和３年度の倍増の101件であった。技術相談の内容としては、製紙・機械金属・電子機器等の地域産業の技術的な問題に関する相談が大半であるが、全国的に希少な専門部署である製紙とＣＮＦは県外からの相談が合わせて626件（令和４年度）であり、両分野全体の25％を占めている。また、令和５年度の相談実績（件数）は、令和４年度同時期と同水準で推移している。これはＣＮＦへの関心の高まりからこの分野に関する相談件数が依然として堅調であることによる。今後も、企業の課題や技術的なニーズの把握に努め、要望に応えていきたい。

c　依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

依頼試験については、令和４年度は2,225件、収入で2,274千円であった。令和３年度と比較して、件数

で3,807件、金額で392千円の減少であり、これは複合サイクル腐食試験などの長期試験の減少が大きな要因である。

機器等使用については、令和４年度は時間数で4,794時間、金額で10,393千円であった。令和３年度と比較して、時間数は509時間の減少、金額で916千円の増加であった。令和５年度は、前年の同時期とほぼ同じ水準で推移している。

d　研修生の受入れ

令和４年度及び令和５年度（７月末まで）は、研修生を受け入れていない。

地元高校生への職業体験や製紙業界への技術習得のための施設として、研修を再開したいと考えている。

e　技術情報提供

講習会・講演会については、令和４年度は実施回数９回、参加者数185名であった。令和３年度と比較して、実施回数１回増加、参加人数19名の増加となった。うち３回はオンラインでの開催であったが、オンライン開催はコロナ対応だけでなく、遠方からの参加も見込めることから今後も積極的に検討する。

講師活動は、令和４年度は令和３年度と比較して、実施回数は15回（13回増加）、参加人数は26名減少して51名となった。

学会・専門誌･展示会における発表・投稿・展示の実績は、令和４年度は８件となり、令和３年度と比較して７件減少した。引き続き新成長戦略研究による研究成果の情報発信に力を入れていく。

f　産学官連携の促進

産学官連携コーディネータを中心に地域の産業支援機関や富士市・富士宮市の産業支援担当課との連携を図っている。また、沼津高専や専門家から外部研究員を招聘して指導を受け、研究員の資質向上を図るとともに、シーズ把握の場としても活用している。また、静岡県産業振興財団の新成長産業戦略的育成事業の助成案件毎の事業推進チームのメンバーとして事業化に導くための支援を行っている。今後も国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携を強化し、産総研の高度なシーズを活用し、先端産業の育成推進を積極的に進めていく。

（エ）浜松工業技術支援センター

a　試験研究

令和４年度に実施した研究テーマは20件のうち、12件のテーマが一般共同研究、または競争的資金以外の受託研究に属するものであり、アウトプットを見据えたテーマ設定と、企業からの要望への柔軟な対応ができていると考えている。

それ以外の県単独研究と新成長戦略研究の９件についても、地域企業・産業の発展を支援するための技術開発及びスキルアップに繋がる研究であることから、全体的に見ても地域ニーズ・産業界ニーズに応える研究が実施できたと考えている

b　技術相談等

令和４年度の技術相談数は11,601件（そのうち現地相談は207件）であり、前年度と比較してやや増加した（令和３年度はそれぞれ11,254件、165件）。

新型コロナウイルスの影響が徐々に弱まり現地相談件数が回復しつつあるが、遠隔技術相談システムを使用したweb会議形式による技術相談も定着しつつあり、利用の増加が見込まれる。

今後も県西部地域産業界を中心に、相談対応による課題・問題点の解決、新製品開発等への提案に努めることはもちろん、積極的に企業訪問も行い、産業界ニーズの収集に努め、利用者の増加に努めていく。

c　依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

令和４年度に実施した依頼試験の件数・金額は15,765件・14,660千円（令和３年度はそれぞれ16,909件・16,201千円）で、いずれも減少した。一方、設備（機器・施設）使用については38,790時間・65,913千円（令和３年度は35,066時間・56,661千円）で時間数・金額共に大幅な増加となった。

d　研修生の受入れ

令和４年度は、６人の研修生を受け入れた。新型コロナウイルス感染の影響が低下したことにより、対面で行われる研修は以前の水準まで回復していくと考えられる。

e　技術情報提供

令和４年度に実施した講習会・講演会は17回、参加者数は647人であり、前年度に比べ件数は同数で185人の増加となった。講師活動は12回、参加者数は405人であり前年度からほぼ半減した。web配信による開催ではアクセス数の増減が顕著に出るため、今後も引き続き受講機会拡大に努めていく。学会発表数は17件、投稿は１件であった。展示会出展は例年、一般・企業への情報提供などを目的として積極的に参加しているが、引き続き新型コロナウイルスの影響が残る中で、対面が中心の展示会の開催はまだ少なく、３件に留まった。

f　産学官連携の促進

令和４年度も、企業が計画する公募競争型資金助成研究開発への申請支援及び研究・指導による協力を実施した。今後も産学官が連携した共同研究の推進、研究・開発成果発表会等を通じた研究者間の交流、さらには公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構が事務局として運営する浜松地域産業支援ネットワーク会議等に参画すること等により、地域の大学や各支援機関との連携強化を積極的に進めていく。

（３）事業の根拠法令調

（工業技術研究所及び各工業技術支援センター共通）

事　業　名	根　　拠　　法　　令
新成長戦略研究事業	・新成長戦略研究推進要綱 ・新成長戦略研究実施要領
受託研究事業	・静岡県工業技術研究所受託研究実施要綱 ・静岡県工業技術研究所受託研究取扱要領
外部研究員招へい事業 資質向上研修事業	・静岡県試験研究機関における研究員の資質向上プログラムの取扱い
依頼試験・研修室等使用業務	・静岡県工業技術研究所使用料及び手数料条例 ・静岡県工業技術研究所研修施設等の使用等に関する規則
機器等使用業務	・静岡県工業技術研究所の設置、管理及び使用料に関する条例 ・同条例施行規則
産学官連携	・静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータ設置要領
連携大学院制度	・国立大学法人静岡大学と静岡県試験研究機関との教育研究協力に関する協定 ・静岡県試験研究機関及び静岡県公立大学法人静岡県立大学の教育・研究協力に関する協定 ・静岡県と静岡理工科大学との研究分野での連携に関する協定 ・連携大学院制度における大学院生受入要領

(注)1　根拠法令は、法律、政令、規則、条例及び要綱を全て記入する。

　　2　法律のみ適用条項を（　）内に記入する。

1 職 員 調

(1) 工業技術研究所(静岡)

(令和5年7月31日現在)

整理番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	所長(技)	櫻川 智史	所全体総括	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□
2	次長(事)	宮本 三生	総務総括	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□ □□□
3	研究統括官(技)	油上 保	食品科、環境科、ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ科、工芸科総括	□□□	□ 年 □ 月	
4	研究統括官(技)	赤堀 篤	金属材料科、化学材料科、機械電子科、照明音響科総括	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□
	＜総務課＞					
5	総務班長(事)	塩澤 富代	総務・会計	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□
6	主査(事)	執行 賀名子	総務・会計	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□
7	主任(事)	籔 哲洋	総務・会計	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□ □□□
8	主任(技)	一瀬 将平	総務・会計	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□
	＜企画調整部＞					
9	企画調整部長(技)	中山 洋	部総括	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□
10	企画調整班長(技)	小松 剛	企画調整	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□
11	上席研究員(技)	淺沼 俊倫	企画調整	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□
12	上席研究員(技)	志田 英士	企画調整	□□□	□ 年 □ 月	
13	主任(事)	佐野 芳浩	企画調整	□□□	□ 年 □ 月	□□□
14	主事	伊藤 春香	企画調整	□□□	□ 年 □ 月	
	＜金属材料科＞					
15	科長(技)	岩澤 秀	金属材料技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□
16	上席研究員(技)	鈴木 洋光	金属材料技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□ □□
17	上席研究員(技)	田中 宏樹	金属材料技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□ □□
18	主任(技)	萱沼 広行	金属材料技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□
19	研究員(技)	磯部 佑太	金属材料技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□
	＜化学材料科＞					
20	科長(技)	鷺坂 芳弘	科総括	□□□	□ 年 □ 月	
21	上席研究員(技)	菅野 尚子	化学材料科技術	□□□	□ 年 □ 月	
22	上席研究員(技)	結城 茜	化学材料科技術	□□□	□ 年 □ 月	
23	主任研究員(技)	小泉 雄輔	化学材料科技術	□□□	□ 年 □ 月	
24	研究員(技)	野澤 遼	化学材料科技術	□□□	□ 年 □ 月	
	＜機械電子科＞					
25	科長(技)	山下 清光	科総括	□□□	□ 年 □ 月	
26	上席研究員(技)	望月 紀寿	機械電子技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□
27	主任研究員(技)	鈴木 悠介	機械電子技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□
28	主任研究員(技)	松下 五樹	機械電子技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□
29	主任研究員(技)	岩﨑 清斗	機械電子技術	□□□	□ 年 □ 月	
30	主任研究員(技)	横井 功毅	機械電子技術	□□□	□ 年 □ 月	
	＜照明音響科＞			□□□		
31	科長(技)	木野 直樹	科総括	□□□	□ 年 □ 月	
32	上席研究員(技)	豊田 敏裕	照明音響技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□
33	上席研究員(技)	竹居 翼	機械電子技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□
34	上席研究員(技)	柳原 亘	照明音響技術	□□□	□ 年 □ 月	

＜食品科＞						
35	科長(技)	大竹　正寿	科総括	□□□	□ 年 □ 月	
36	上席研究員(技)	松野　正幸	食品技術	□□□	□ 年 □ 月	
37	主任研究員(技)	山本　佳奈恵	食品技術	□□□	□ 年 □ 月	
38	主任研究員(技)	長房　秀幸	食品技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
39	主任研究員(技)	石橋　佳奈	食品技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
40	研究員(技)	堀池　隼雄	食品技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
＜環境エネルギー科＞						
41	科長(技)	本間　信行	科総括	□□□	□ 年 □ 月	
42	上席研究員(技)	岡本　哲志	環境技術	□□□	□ 年 □ 月	
43	上席研究員(技)	室伏　敬太	環境技術	□□□	□ 年 □ 月	
44	上席研究員(技)	菊池　圭祐	環境技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
45	主任研究員(技)	井口　大輔	環境技術	□□□	□ 年 □ 月	
＜ユニバーサルデザイン科＞						
46	科長(技)	長澤　正	科総括	□□□	□ 年 □ 月	
47	上席研究員(技)	易　　強	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□ 年 □ 月	
48	上席研究員(技)	及川　貴康	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□ 年 □ 月	
49	主任(技)	多々良　哲也	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□
50	主任(技)	深谷　謙一	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□ 年 □ 月	
＜工芸科＞						
51	科長(技)	田村　克浩	科総括	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
52	上席研究員(技)	村松　重緒	工芸技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
53	上席研究員(技)	船井　孝	工芸技術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□
54	主任研究員(技)	前田　研司	工芸技術	□□□	□ 年 □ 月	
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	杉山　和人	総合案内	□□□	□ 年 □ 月	
2	会計年度任用職員	坂田　真弓	総合案内	□□□	□ 年 □ 月	
3	会計年度任用職員	種茂　俊哉	総合案内	□□□	□ 年 □ 月	
4	会計年度任用職員	井上　雅文	依頼試験等の補助	□□□	□ 年 □ 月	
5	会計年度任用職員	木岡　雄作	試験研究補助	□□□	□ 年 □ 月	
6	会計年度任用職員	八木　淳一	依頼試験等の補助	□□□	□ 年 □ 月	
平　均　年　数（会計年度任用職員を除く）					□ 年 □ 月	

(2) 沼津工業技術支援センター

（令和5年7月31日現在）

整理番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	センター長(技)	鈴木 宏史	センター総括	焼津市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□
2	研究統括官(技)	鬼久保 郁雄	研究業務総括	三島市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
＜総務課沼津分室＞						
3	分室長（事）	山島 茂樹	総務総括	静岡市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
4	主任(事)	杉本 和子	総務・会計	裾野市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
＜技術支援担当＞						
5	研究員(技)	黒瀬 智英子	企画・情報	駿東郡長泉町	□ 年 □ 月	
＜バイオ科＞						
6	科長(技)	飯塚 千佳世	科総括	沼津市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□
7	上席研究員(技)	袴田 雅俊	バイオ技術	静岡市	□ 年 □ 月	
8	主任(技)	杉本 芳邦	バイオ技術	静岡市	□ 年 □ 月	□□□
9	主任研究員(技)	鈴木 雅博	バイオ技術	静岡市	□ 年 □ 月	
＜機械電子科＞						
10	科長(技)	望月 建治	科総括	静岡市	□ 年 □ 月	
11	主任(技)	増田 康利	機械電子技術	浜松市	□ 年 □ 月	□□□
12	主任研究員(技)	稲葉 彩乃	機械電子技術	横浜市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□
13	主任研究員(技)	是永 宗祐	機械電子技術	駿東郡長泉町	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
14	研究員(技)	木村 光平	機械電子技術	富士宮市	□ 年 □ 月	□□□□
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	勝間田 智美	総務事務補助	沼津市	□ 年 □ 月	
2	会計年度任用職員	佐藤 廣美	依頼試験・技術相談等の補助	沼津市	□ 年 □ 月	
3	会計年度任用職員	三枝 智賀広	依頼試験・技術相談等の補助	駿東郡長泉町	□ 年 □ 月	
平 均 年 数 （会計年度任用職員を除く）					□ 年 □ 月	

(3) 富士工業技術支援センター

（令和5年7月31日現在）

整理番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	センター長(技)	飯野 修	センター総括	沼津市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□
2	研究調整官(技)	本多 正計	研究業務総括	富士市	□ 年 □ 月	
＜総務課富士分室＞						
3	分室長(事)	髙松 彰	総務総括	富士市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
4	主査(事)	勝山 祥光	総務・会計	富士市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□
＜技術支援担当＞						
5	上席研究員(技)	鈴木 光彰	企画・情報	静岡市	□ 年 □ 月	
＜製紙科＞						
6	科長(技)	深沢 博之	製紙技術総括	富士市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
7	上席研究員(技)	伊藤 彰	製紙技術	静岡市	□ 年 □ 月	
8	上席研究員(技)	河部 千香	製紙技術	静岡市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□
＜CNF科＞						
9	科長(技)	山下 晶平	CNF技術総括	静岡市	□ 年 □ 月	
10	上席研究員(技)	田中 翔悟	CNF技術	藤枝市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□
11	主任研究員(技)	中島 大介	CNF技術	焼津市	□ 年 □ 月	
12	主任研究員(技)	山崎 利樹	CNF技術	富士市	□ 年 □ 月	□□□□□□□
＜機械電子科＞						
13	科長(技)	増井 裕久	機械電子技術総括	焼津市	□ 年 □ 月	
14	上席研究員(技)	齊藤 和明	機械電子技術	静岡市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□□□□□□□□□
15	主任研究員(技)	井出 達樹	機械電子技術	富士市	□ 年 □ 月	□□□□□□□□
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	石川 真澄	総務事務補助	富士宮市	□ 年 □ 月	
2	会計年度任用職員	佐野 重光	依頼試験・研究補助・窓口業務	富士市	□ 年 □ 月	
3	会計年度任用職員	佐野 知恵	依頼試験・研究補助・窓口業務	富士市	□ 年 □ 月	
4	会計年度任用職員	松永 良美	依頼試験・研究補助・窓口業務	富士宮市	□ 年 □ 月	
5	会計年度任用職員	鎌田 直樹	依頼試験・研究補助・窓口業務	富士市	□ 年 □ 月	
6	会計年度任用職員	中村 俊明	依頼試験・研究補助・窓口業務	富士市	□ 年 □ 月	
平 均 年 数(会計年度任用職員等を除く)					□ 年 □ 月	

(4) 浜松工業技術支援センター

（令和5年7月31日現在）

整理番号	職　名	氏　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　　要
1	センター長(技)	鈴木　敬明	センター総括	浜松市	□　年　□　月	□□□□□□□□□□□□□□
2	研究統括官(技)	伊藤　芳典	研究業務総括	浜松市	□　年　□　月	
＜総務課浜松分室＞						
3	分室長(事)	澤木　竜彦	総務総括	浜松市	□　年　□　月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
4	主査(事)	内藤　由衣希	総務・会計	浜松市	□　年　□　月	□□□□□□□□□□□□□□
5	主任(事)	平嶋　髙幸	総務・会計	浜松市	□　年　□　月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
＜技術支援担当＞						
6	上席研究員(技)	矢嶋　雅	企画・情報	島田市	□　年　□　月	
＜光科＞						
7	科長(技)	渥美　博安	科総括	浜松市	□　年　□　月	
8	上席研究員(技)	中野　雅晴	光技術	豊橋市	□　年　□　月	
9	上席研究員(技)	志智　亘	光技術	浜松市	□　年　□　月	
10	主任(技)	植田　浩安	光技術	掛川市	□　年　□　月	□□□
＜機械電子科＞						
11	科長(技)	長谷川　和宏	科総括	袋井市	□　年　□　月	
12	上席研究員(技)	山田　浩文	機械電子技術	浜松市	□　年　□　月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
13	上席研究員(技)	太田　幸宏	機械電子技術	浜松市	□　年　□　月	
14	上席研究員(技)	長津　義之	機械電子技術	浜松市	□　年　□　月	
15	上席研究員(技)	上野　貴康	機械電子技術	藤枝市	□　年　□　月	
16	上席研究員(技)	大澤　洋文	機械電子技術	浜松市	□　年　□　月	
17	主任(技)	三浦　清	機械電子技術	掛川市	□　年　□　月	□□□
18	主任研究員(技)	山口　智之	機械電子技術	浜松市	□　年　□　月	
＜材料科＞						
19	科長(技)	木野　浩成	科総括	浜松市	□　年　□　月	
20	上席研究員(技)	吉岡　正行	材料技術	浜松市	□　年　□　月	
21	上席研究員(技)	髙木　誠	材料技術	藤枝市	□　年　□　月	
22	上席研究員(技)	田光　伸也	材料技術	浜松市	□　年　□　月	□□□□□□□□□□□□□
23	上席研究員(技)	植松　俊明	材料技術	浜松市	□　年　□　月	□□□□□□□
24	主任研究員(技)	望月　智文	材料技術	焼津市	□　年　□　月	

整理番号	職　名	氏　　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　　要
＜繊維高分子材料科＞						
25	科長(技)	鈴木　重好	繊維高分子材料技術	浜松市	□　年　□　月	□□□□□□□□□□□□□
26	上席研究員(技)	針幸　達也	繊維高分子材料技術	浜松市	□　年　□　月	□□□□□□□□□□□□□
27	主任(技)	宮原　鐘一	繊維高分子材料技術	袋井市	□　年　□　月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
28	研究員（技）	大木　結以	繊維高分子材料技術	浜松市	□　年　□　月	
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	竹村　博美	総務事務補助	浜松市	□　年　□　月	
2	会計年度任用職員	岡野　加寿代	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
3	会計年度任用職員	本間　由美子	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
4	会計年度任用職員	野沢　英年	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
5	会計年度任用職員	鈴木　有一	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
6	会計年度任用職員	平間　道弘	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
7	会計年度任用職員	貴島　信彦	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
8	会計年度任用職員	久保田　博	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
9	会計年度任用職員	齋藤　雅子	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
10	会計年度任用職員	山本　孝	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
11	会計年度任用職員	平山　章子	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
12	会計年度任用職員	木村　吉延	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
13	会計年度任用職員	石原　彰浩	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
14	会計年度任用職員	杉浦　秀治	依頼試験･技術相談等補助	磐田市	□　年　□　月	
15	会計年度任用職員	小栗　昌弘	依頼試験･技術相談等補助	浜松市	□　年　□　月	
平　均　年　数（会計年度任用職員･臨時職員を除く）					□　年　□　月	

職　員　の　年　齢　調

（令和5年7月31日現在）

年　　齢	工業技術研究所（静岡）		沼津工業技術支援センター		富士工業技術支援センター		浜松工業技術支援センター		合　計	
	人　員	摘　要	人　員	摘　要	人　員	摘　要	人　員	摘　要	人　員	摘　要
20歳未満	人		人		人		人		0 人	
20歳以上30歳未満	3 人		1 人		人		人		4 人	
30歳以上40歳未満	16 人		5 人		5 人		4 人		30 人	
40歳以上50歳未満	10 人		0 人		2 人		7 人		19 人	
50歳以上56歳未満	11 人		2 人		5 人		8 人		26 人	
56歳以上61歳未満	11 人	再任用1	5 人	再任用2	3 人		6 人	再任用1	25 人	
61歳以上	3 人	再任用3	1 人	再任用1	人		3 人	再任用3	7 人	
計	54 人	平均年齢 46.0 歳	14 人	平均年齢 47.6 歳	15 人	平均年齢 46.5 歳	28 人	平均年齢 50.5 歳	111 人	平均年齢 47.4 歳

健　康　管　理

1　令和4年度受診状況

区　　分		内容				
		工業技術研究所(静岡)	沼津工業技術支援センター	富士工業技術支援センター	浜松工業技術支援センター	合計
受診状況	受診者数	55 人	14 人	15 人	30 人	114 人
	職員数	55 人	14 人	15 人	30 人	114 人
受　診　率		100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
県平均受診率		100.0%				

2　令和5年度在籍者の健康管理区分結果　　（令和5年7月31日現在）

健康管理区分			人数				
			工業技術研究所(静岡)	沼津工業技術支援センター	富士工業技術支援センター	浜松工業技術支援センター	合計
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
B2		要経過観察	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
C1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	(1) 1 人	( ) 人	( ) 人	(1) 1 人	(2) 2 人
C2		要経過観察	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
D1	平常の勤務でよい。	要治療	(16) 16 人	(4) 4 人	(4) 4 人	(13) 13 人	(37) 37 人
D2		要経過観察	(20) 20 人	(6) 6 人	(8) 8 人	(6) 6 人	(40) 40 人
D3		医療不要	(14) 14 人	(2) 2 人	(3) 3 人	(8) 8 人	(27) 27 人
区分者計			(51) 51 人	(12) 12 人	(15) 15 人	(28) 28 人	(106) 106 人
未区分者数			( ) 3 人	( ) 2 人	( ) 0 人	( ) 0 人	( ) 5 人
合　　計			(51) 54 人	(12) 14 人	(15) 15 人	(28) 28 人	(106) 111 人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

面談等をしながら業務調整の必要性や健康状態の確認を行っている。

(2) 未区分の理由

ア　産休・育休　　1 人
イ　新規採用　　3 人
ウ　自己都合による未受診　　人
エ　その他　　1 人

職　員　配　置　調

（令和5年7月31日現在）

区分		工業技術研究所											沼津工業技術支援センター					富士工業技術支援センター						浜松工業技術支援センター							合計
		総務課	企画調整部	金属材料科	化学材料科	機械電子科	照明音響科	食品科	環境エネルギー科	ユニバーサルデザイン科	工芸科	小計	総務課沼津分室	技術支援担当	バイオ科	機械電子科	小計	総務課富士分室	技術支援担当	製紙科	CNF科	機械電子科	小計	総務課浜松分室	技術支援担当	光科	機械電子科	材料科	繊維高分子材料科	小計	
所在地		静岡市葵区牧ヶ谷											沼津市大岡					富士市大渕						浜松市北区新都田							
担当区域																															
配置職員	職員(事)	3	1									4	1				1	2					2	2						2	9
	職員(技)	4	4	4	5	6	4	6	5	4	4	46	2	1	3	4	10	2	1	3	4	3	13	2	1	3	7	6	3	22	91
	再任用職員(事)	1	1									2	1				1							1						1	4
	再任用職員(技)			1						1		2			1	1	2									1	1		1	3	7
	計	8	6	5	5	6	4	6	5	5	4	54	4	1	4	5	14	4	1	3	4	3	15	5	1	4	8	6	4	28	111
	会計年度任用職員		3	1				1			1	6	1			2	3	1		3	1	1	6	1	2	1	3	4	4	15	30
	臨時的任用職員																														
	計	0	3	1	0	0	0	1	0	0	1	6	1	0	0	2	3	1	0	3	1	1	6	1	2	1	3	4	4	15	30
合計		8	9	6	5	6	4	7	5	5	5	60	5	1	4	7	17	5	1	6	5	4	21	6	3	5	11	10	8	43	141

＊所属長は総務課に、センター長は総務課分室に、研究統括官及び研究調整官は総務課、総務課分室に記載

第２　浜松工業技術支援センター

［財務事務］

中表紙裏面

余白

歳　入　予　算

一般会計

区　分	調定額 A	収入済額 納期内 B	収入済額 納期後 C
	円	円	円
款　08使用料及び手数料	3,149,730	2,967,330	182,400
項　01使用料	3,149,730	2,967,330	182,400
目　06経済産業使用料	3,149,730	2,967,330	182,400
04創業者育成施設使用料	3,099,000	2,916,600	182,400
12庁舎等使用料	50,730	50,730	0
款　10財産収入	38,940	38,940	0
項　01財産運用収入	27,940	27,940	0
目　01財産貸付収入	27,940	27,940	0
03建物貸付料	27,940	27,940	0
項　02財産売払収入	11,000	11,000	0
目　02物品売払収入	11,000	11,000	0
01不用品売払収入	11,000	11,000	0
款　11寄附金	1,800,000	1,800,000	0
項　01寄附金	1,800,000	1,800,000	0
目　07経済産業費寄附金	1,800,000	1,800,000	0
04工業技術研究所研究費寄附金	1,800,000	1,800,000	0
款　14諸収入	5,513,394	5,513,394	0
項　04受託事業収入	2,993,530	2,993,530	0
目　04経済産業受託事業収入	2,993,530	2,993,530	0
01工業技術研究受託料	2,993,530	2,993,530	0
項　07雑入	2,519,864	2,519,864	0
目　02雑入	2,519,864	2,519,864	0
81保険料負担金	2,124,005	2,124,005	0
非常勤職員	2,124,005	2,124,005	0
84雑収	395,859	395,859	0
計	10,502,064	10,319,664	182,400

経済産業部　工研浜技支援セ

1

執　行　状　況　調

（令和 4年度 ）
（令和 5年 5月31日現在）

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	94.2
0	0	0	0	100.0	94.2
0	0	0	0	100.0	94.2
0	0	0	0	100.0	94.1
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	98.2

ZIB0090
ZIRB0090

2

歳　入　予　算

一般会計

区　分	調定額 A	収入済額 納期内 B	収入済額 納期後 C
	円	円	円
款　08使用料及び手数料	1,150,850	1,150,850	0
項　01使用料	1,150,850	1,150,850	0
目　05経済産業使用料	1,150,850	1,150,850	0
01創業者育成施設使用料	1,101,800	1,101,800	0
12庁舎等使用料	49,050	49,050	0
款　10財産収入	27,940	0	27,940
項　01財産運用収入	27,940	0	27,940
目　01財産貸付収入	27,940	0	27,940
03建物貸付料	27,940	0	27,940
款　14諸収入	2,946,477	2,940,839	3,347
項　04受託事業収入	2,398,277	2,398,277	0
目　04経済産業受託事業収入	2,398,277	2,398,277	0
01工業技術研究受託料	2,398,277	2,398,277	0
項　07雑入	548,200	542,562	3,347
目　02雑入	548,200	542,562	3,347
81保険料負担金	530,575	530,575	0
非常勤職員	530,575	530,575	0
84雑収	17,625	11,987	3,347
雑収	17,585	11,947	3,347
公文書開示負担金	40	40	0
計	4,125,267	4,091,689	31,287

経済産業部　工研浜技支援セ

1

執　行　状　況　調

（令和 5年度 ）
（令和 5年 7月31日現在）

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	－
0	0	0	0	100.0	－
0	0	0	0	100.0	－
0	0	0	0	100.0	－
0	2,291	0	2,291	99.9	99.8
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	2,291	0	2,291	99.5	98.9
0	2,291	0	2,291	99.5	98.9
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	2,291	0	2,291	87.0	68.0
0	2,291	0	2,291	86.9	67.9
0	0	0	0	100.0	100.0
0	2,291	0	2,291	99.9	99.1

ZIB0090
ZIRB0090

2

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区　　分	令和４年度	令和５年度 (令和5年7月31日現在)
	件　　数	件　　数
依頼試験	１５，７６５	２，３３１
設備使用	３８，７９０	１３，１１９

現　金　出　納　調

工業技術研究所浜松工業技術支援センター　　（令和 5年度）

（令和 5年 7月31日現在）

区　分	受　入　額			払出額	残　高	出納員領収書発行総額及び枚数	現金払込調書兼領収書総額及び枚数
	越高	受高	計				
雑入	円 0	円 40	円 40	円 40	円 0	円 40 1 枚	円 40 1 枚
計	0	40	40	40	0	40 1 枚	40 1 枚

ZIB0110
ZIRB0110

保管現金有高調

（令和５年度）

（令和５年７月 31 日現在）

現 金 保 管 者	区　　分	金　　額（円）
浜松工業技術支援センター センター長	駐車料金　継続的資金前渡	８，０００

預金調

（令和５年７月 31 日現在）

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高（円）	摘　　要
静岡銀行 三方が原支店	無利息型 普通預金	４８６２９７	浜松工業技術支援センター 資金前渡者　鈴木　敬明	０	負担金等資金前渡口座
静岡銀行 三方が原支店	無利息型 普通預金	４８６３１１	（自振口）浜松工業技術支援センター 資金前渡者　鈴木　敬明	０	公共料金引落口座
残　高　合　計				０	

郵　券　等　受　払　調

（令和５年７月31日現在）
（単位：枚、円）

区分	種　類	令和４年度						令和５年度								摘　要
		繰　越		受　入		払　出		繰　越		受　入		払　出		差引現在高		
		枚数	金　額	枚数	金　額	枚数	金　額	枚数	金　額	枚数	金　額	枚数	金　額	枚数	金　額	
郵券	1円券	22	22	0	0	8	8	14	14	0	0	0	0	14	14	文書発送用
	10円券	49	490	100	1,000	78	780	71	710	0	0	40	400	31	310	
	84円券	50	4,200	200	16,800	185	15,540	65	5,460	50	4,200	63	5,292	52	4,368	
	94円券	47	4,418	70	6,580	33	3,102	84	7,896	0	0	3	282	81	7,614	
	120円券	50	6,000	100	12,000	51	6,120	99	11,880	0	0	18	2,160	81	9,720	
	140円券	20	2,800	220	30,800	161	22,540	79	11,060	50	7,000	83	11,620	46	6,440	
	210円券	70	14,700	90	18,900	84	17,640	76	15,960	40	8,400	15	3,150	101	21,210	
	320円券	49	15,680	440	140,800	424	135,680	65	20,800	50	16,000	32	10,240	83	26,560	
	レターパックプラス	8	4,160	30	15,600	22	11,440	16	8,320	0	0	8	4,160	8	4,160	
計			52,470		242,480		212,850		82,100		35,600		37,304		80,396	

歳 入 歳 出 外 現 金 調

経済産業部　工研浜技支援セ

（令和 4年度）
（令和 5年 3月31日現在）

区　分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
保証金	円 54,714	円 0	円 51,920	円 2,794	
計	54,714	0	51,920	2,794	

ZIB0070
ZIRB0070

歳 入 歳 出 外 現 金 調

経済産業部　工研浜技支援セ

（令和 5年度）
（令和 5年 7月31日現在）

区　分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
保証金	円 2,794	円 370,700	円 0	円 373,494	
計	2,794	370,700	0	373,494	

ZIB0070
ZIRB0070

歳 出 予 算 執 行 状 況 調

（令和 4年度）
一般会計　（令和 5年 5月31日現在）

区　　分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘　要
	円	円	円	
款　04経営管理費	4,748,687	4,748,687	0	
項　01経営管理費	4,748,687	4,748,687	0	
目　01一般総務費	2,546,567	2,546,567	0	
01報酬	1,156,218	1,156,218	0	
03非常勤職員報酬	1,156,218	1,156,218	0	
03職員手当等	170,794	170,794	0	
01その他の職員手当等	170,794	170,794	0	
04共済費	1,165,787	1,165,787	0	
01地方公務員共済組合に対する負担金	34,280	34,280	0	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,131,507	1,131,507	0	
08旅費	53,768	53,768	0	
01その他の旅費	53,768	53,768	0	
目　03行政経営費	137,970	137,970	0	
08旅費	137,970	137,970	0	
02普通旅費	137,970	137,970	0	
目　05資産経営費	2,064,150	2,064,150	0	
14工事請負費	2,064,150	2,064,150	0	
款　07健康福祉費	61,260	61,260	0	
項　06感染症対策費	61,260	61,260	0	
目　01感染症対策費	61,260	61,260	0	
08旅費	61,260	61,260	0	
02普通旅費	61,260	61,260	0	
款　08経済産業費	370,287,729	367,434,251	2,853,478	
項　01経済産業費	35,780	35,780	0	
目　02経済産業企画費	35,780	35,780	0	
08旅費	35,780	35,780	0	
02普通旅費	35,780	35,780	0	
項　02産業革新費	161,526,433	158,672,955	2,853,478	

ZIB0030
ZIRB0030

経済産業部　工研浜技支援セ

（令和 4年度）
一般会計　（令和 5年 5月31日現在）

区　　分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘　要
	円	円	円	
目　01産業革新費	161,526,433	158,672,955	2,853,478	
07報償費	179,000	0	179,000	
01その他の報償費	179,000	0	179,000	
08旅費	1,913,000	1,375,690	537,310	
01その他の旅費	87,000	0	87,000	
02普通旅費	1,826,000	1,375,690	450,310	
10需用費	9,565,000	9,037,975	527,025	
01その他の需用費	9,565,000	9,037,975	527,025	
11役務費	632,433	404,197	228,236	
12委託料	8,913,000	8,486,343	426,657	
13使用料及び賃借料	160,000	89,270	70,730	
14工事請負費	10,609,000	10,109,000	500,000	
17備品購入費	129,020,000	129,015,150	4,850	
18負担金、補助及び交付金	535,000	155,330	379,670	
項　04商工業費	208,725,516	208,725,516	0	
目　01商工業費	208,725,516	208,725,516	0	
01報酬	17,677,336	17,677,336	0	
03非常勤職員報酬	17,677,336	17,677,336	0	
03職員手当等	3,349,720	3,349,720	0	
01その他の職員手当等	3,349,720	3,349,720	0	
04共済費	4,629,779	4,629,779	0	
01地方公務員共済組合に対する負担金	501,004	501,004	0	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	4,128,775	4,128,775	0	
07報償費	287,750	287,750	0	
01その他の報償費	287,750	287,750	0	
08旅費	1,519,876	1,519,876	0	
01その他の旅費	762,258	762,258	0	
02普通旅費	757,618	757,618	0	

ZIB0030
ZIRB0030

経済産業部　工研浜技支援セ

（令和 4年度）
一般会計　（令和 5年 5月31日現在）

区　　分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘　要
	円	円	円	
10需用費	69,305,234	69,305,234	0	
01その他の需用費	69,305,234	69,305,234	0	
11役務費	2,198,201	2,198,201	0	
12委託料	78,785,707	78,785,707	0	
13使用料及び賃借料	937,973	937,973	0	
17備品購入費	29,481,540	29,481,540	0	
18負担金、補助及び交付金	531,000	531,000	0	
26公課費	21,400	21,400	0	
計	375,097,676	372,244,198	2,853,478	

ZIB0030
ZIRB0030

経済産業部　工研浜技支援セ

余白

歳 出 予 算 執 行 状 況 調

（令和 5年度）
一般会計　（令和 5年 7月31日現在）

区　　分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘　要
	円	円	円	
款　04経営管理費	8,951,204	1,326,405	7,624,799	
項　01経営管理費	8,951,204	1,326,405	7,624,799	
目　01一般総務費	6,526,145	1,146,346	5,379,799	
01報酬	3,715,000	399,094	3,315,906	
03非常勤職員報酬	3,715,000	399,094	3,315,906	
03職員手当等	571,000	134,270	436,730	
01その他の職員手当等	571,000	134,270	436,730	
04共済費	1,934,145	591,471	1,342,674	
01地方公務員共済組合に対する負担金	235,000	41,162	193,838	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,699,145	550,309	1,148,836	
08旅費	306,000	21,511	284,489	
01その他の旅費	306,000	21,511	284,489	
目　03行政経営費	180,059	180,059	0	
08旅費	180,059	180,059	0	
02普通旅費	180,059	180,059	0	
目　05資産経営費	2,245,000	0	2,245,000	
14工事請負費	2,245,000	0	2,245,000	
款　08経済産業費	297,243,862	33,815,153	263,428,709	
項　01経済産業費	41,000	10,920	30,080	
目　02経済産業企画費	41,000	10,920	30,080	
08旅費	41,000	10,920	30,080	
02普通旅費	41,000	10,920	30,080	
項　02産業革新費	69,485,540	2,201,855	67,283,685	
目　01産業革新費	69,485,540	2,201,855	67,283,685	
07報償費	168,000	0	168,000	
01その他の報償費	168,000	0	168,000	
08旅費	2,674,940	221,870	2,453,070	
01その他の旅費	120,000	7,380	112,620	

ZIB0030
ZIRB0030

経済産業部　工研浜技支援セ

（令和 5年度）
一般会計　（令和 5年 7月31日現在）

区　　分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘　要
	円	円	円	
02普通旅費	2,554,940	214,490	2,340,450	
10需用費	12,268,000	1,479,393	10,788,607	
01その他の需用費	12,268,000	1,479,393	10,788,607	
11役務費	439,600	60,060	379,540	
12委託料	3,790,000	110,000	3,680,000	
13使用料及び賃借料	2,776,000	0	2,776,000	
14工事請負費	5,520,000	0	5,520,000	
17備品購入費	41,350,000	108,460	41,241,540	
18負担金、補助及び交付金	499,000	222,072	276,928	
項　04商工業費	227,717,322	31,602,378	196,114,944	
目　01商工業費	227,717,322	31,602,378	196,114,944	
01報酬	19,202,000	4,539,360	14,662,640	
03非常勤職員報酬	19,202,000	4,539,360	14,662,640	
03職員手当等	4,270,000	1,758,531	2,511,469	
01その他の職員手当等	4,270,000	1,758,531	2,511,469	
04共済費	5,627,000	1,674,749	3,952,251	
01地方公務員共済組合に対する負担金	1,115,000	390,643	724,357	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	4,512,000	1,284,106	3,227,894	
07報償費	483,500	31,500	452,000	
01その他の報償費	483,500	31,500	452,000	
08旅費	1,900,220	385,722	1,514,498	
01その他の旅費	821,000	230,502	590,498	
02普通旅費	1,079,220	155,220	924,000	
10需用費	79,389,608	15,426,806	63,962,802	
01その他の需用費	79,389,608	15,426,806	63,962,802	
11役務費	2,451,250	237,342	2,213,908	
12委託料	93,178,000	6,841,670	86,336,330	
13使用料及び賃借料	1,453,744	285,298	1,168,446	

ZIB0030
ZIRB0030

経済産業部　工研浜技支援セ

（令和 5年度）
一般会計　（令和 5年 7月31日現在）

区　　分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘　　要
	円	円	円	
14工事請負費	536,000	0	536,000	
17備品購入費	18,479,000	0	18,479,000	
18負担金、補助及び交付金	718,000	413,200	304,800	
26公課費	29,000	8,200	20,800	
計	306,195,066	35,141,558	271,053,508	

ZIB0030
ZIRB0030

経済産業部　工研浜技支援セ

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節　名	会 計	款	項	目	執　行　済　額　（円）		
					令和 ３年度	令和４年度	左のうち令和 ３年度からの 繰越額分
（１２） 委託料	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費		8,486,343	
	一般会計	経済産業費	商工業費	商工業費		78,785,707	
計					87,385,672	87,272,050	0
（１４） 工事請負費	一般会計	経営管理費	経営管理費	資産経営費		2,064,150	
	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費		10,109,000	
計					7,828,700	12,173,150	0
（１６） 公有財産購入費							
計					0	0	0
（１７） 備品購入費	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費		129,015,150	
	一般会計	経済産業費	商工業費	商工業費		29,481,540	
計					66,797,515	158,496,690	0
（１８） 負担金、補助 及び交付金	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費		155,330	
	一般会計	経済産業費	商工業費	商工業費		531,000	
計					828,140	686,330	0
（２１） 補償、補填 及び賠償金							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

（令和５年７月31日現在）

節　名	会 計	款	項	目	執 行 済 額　（円）	うち、令和４年度からの繰越額分
（１２）委託料	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	110,000	
	一般会計	経済産業費	商工業費	商工業費	6,841,670	
計					6,951,670	
（１４）工事請負費						
計					0	
（１６）公有財産購入費						
計					0	
（１７）備品購入費	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	108,460	
計					108,460	
（１８）負担金、補助及び交付金	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	222,072	
	一般会計	経済産業費	商工業費	商工業費	413,200	
計					635,272	
（２１）補償、補填及び賠償金						
計					0	

委託料に関する調

（令和4年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	契約金額 変更増減額	契約金額 計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	（事務関係）		円	円	円	円				円		
1	設備総合管理業務	㈱シービーエム	12,961,080	12,163,800		12,163,800	一般	4.4.1～5.3.31	4.5.25	770,880	設備日常点検、運転管理、水質検査等建物環境衛生管理	
									4.6.24	742,500		
									4.7.25	762,300		
									4.8.25	1,324,796		
									4.9.22	861,300		
									4.10.25	852,500		
									4.11.25	770,880		
									4.12.23	742,500		
									5.1.25	769,164		
									5.2.24	2,897,180		
									5.3.24	861,300		
									5.4.25	808,500		
									小計	12,163,800		
2	空調設備保守点検業務	ヤマザキ・シー・エー㈱	7,238,000	6,248,000		6,248,000	一般	4.4.1～5.3.31	5.4.25	6,248,000	空調設備保守点検	
3	庁舎清掃業務	㈱静岡建物サービス	5,111,091	4,686,000		4,686,000	一般	4.4.1～5.3.31	4.5.25	363,000	日常清掃、定期清掃	
									4.6.24	363,000		
									4.7.25	363,000		
									4.8.25	363,000		
									4.9.22	363,000		
									4.10.25	363,000		
									4.11.25	693,000		
									4.12.23	363,000		
									5.1.25	363,000		
									5.2.24	363,000		
									5.3.24	363,000		
									5.4.25	363,000		
									小計	4,686,000		
4	排水処理施設保守点検業務	㈱三進製作所	8,621,800	8,360,000		8,360,000	一般	4.4.1～5.3.31	4.5.25	398,200	排水処理施設維持管理	
									4.6.24	398,200		
									4.7.25	398,200		
									4.8.25	398,200		
									4.9.22	398,200		
									4.10.25	807,400		
									4.11.25	398,200		
									4.12.23	897,600		
									5.1.25	398,200		
									5.2.24	398,200		
									5.3.24	398,200		
									5.4.25	3,071,200		
									小計	8,360,000		
5	消防用設備保守点検業務	東海ビル管理㈱	1,454,343	1,419,000		1,419,000	指名	4.4.1～5.3.31	5.1.25	462,000	消防用設備保守点検	
									5.3.24	957,000		
									小計	1,419,000		

委託料に関する調

（令和4年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	変更増減額	計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
			円	円	円	円				円		
6	（事務関係） 自家発電設備保守点検業務	㈱明電エンジニアリング 静岡支店	3,740,000	3,740,000		3,740,000	一般	4.4.1 ～ 5.3.31	4.6.13 5.3.20 小計	847,000 2,893,000 3,740,000	自家発電設備保守点検	
7	電気空調設備中央制御装置及び防犯制御機器保守点検業務	日本電技㈱浜松支店	5,610,000	5,610,000		5,610,000	一般	4.4.1 ～ 5.3.31	4.9.22 5.4.7 小計	2,805,000 2,805,000 5,610,000	電気空調設備中央制御装置及び防犯制御機器保守点検	
8	エレベータ保守点検業務	日本オーチス・エレベータ㈱ 静岡支店	1,272,480	1,272,480		1,272,480	随契	4.4.1 ～ 5.3.31	4.5.20 4.6.20 4.7.25 4.8.25 4.9.22 4.10.25 4.11.25 4.12.23 5.1.20 5.2.24 5.3.24 5.4.20 小計	100,100 100,100 100,100 100,100 100,100 100,100 100,100 100,100 100,100 100,100 100,100 171,380 1,272,480	エレベータ設備保守点検	随契 2号 （不適）
9	電話設備保守点検業務	㈱エンツー	990,000	990,000		990,000	随契	4.4.1 ～ 5.3.31	4.5.20 4.6.20 4.7.15 4.8.25 4.9.20 4.10.25 4.11.25 4.12.21 5.1.20 5.2.20 5.3.9 5.4.20 小計	82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 990,000	電話設備保守点検	随契 1号 （少額）
10	庁舎機械警備業務	セコム㈱	525,360	525,360		525,360	随契	4.4.1 ～ 5.3.31	4.5.25 4.6.24 4.7.25 4.8.25 4.9.22 4.10.25 4.11.25 4.12.23 5.1.31 5.2.24 5.3.24 5.4.25 小計	43,780 43,780 43,780 43,780 43,780 43,780 43,780 43,780 43,780 43,780 43,780 43,780 525,360	庁舎機械警備	随契 1号 （少額）

委託料に関する調

（令和4年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	変更増減額	計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	(事務関係)		円	円	円	円				円		
11	自家用電気工作物保守点検管理業務	(一財)中部電気保安協会浜松北営業所	991,320	991,320		991,320	随契	4.4.1 ～ 5.3.31	(前払) 4.4.25 (前払) 4.10.25 小計	(前払) 495,660 (前払) 495,660 991,320	自家用電気工作物保安管理	随契 1号 (少額)
12	蒸気ボイラー設備保守点検業務	三浦工業㈱浜松支店	249,480	249,480		249,480	随契	4.4.1 ～ 5.3.31	5.4.25	249,480	蒸気ボイラー保守点検	随契 1号 (少額)
13	一般廃棄物運搬処理業務	㈱ミダックホールディングス	151,800	112,200		112,200	随契	4.4.1 ～ 5.3.31	4.10.25 5.4.25 小計	56,100 56,100 112,200	一般廃棄物運搬処理	随契 1号 (少額)
14	自動扉保守点検業務	寺岡オート・ドアシステム㈱浜松営業所	59,400	59,400		59,400	随契	4.4.1 ～ 5.3.31	5.4.25	59,400	自動扉保守点検	随契 1号 (少額)
15	クレーン設備保守点検業務	山崎産業㈱	224,400	224,400		224,400	随契	4.4.1 ～ 5.3.31	5.3.28	224,400	クレーン設備保守点検	随契 1号 (少額)
16	電界放射型電子顕微鏡システム保守点検業務	日本電子㈱名古屋支店	3,795,000	2,200,000		2,200,000	随契	4.4.28 ～ 5.3.31	5.4.25	2,200,000	電界放射型電子顕微鏡システム保守点検	随契 2号 (不適)
17	庁舎樹木管理業務	天龍造園建設㈱	2,857,800	2,794,000		2,794,000	一般	4.6.6 ～ 5.3.31	4.10.25 5.4.7 小計	1,397,000 1,397,000 2,794,000	剪定、施肥、病虫害防除等	
18	ピコ秒レーザー加工システム保守点検業務	㈱日本レーザー	111,100	111,100		111,100	随契	4.6.9 ～ 5.3.24	5.2.27	111,100	ピコ秒レーザー保守点検	随契 1号 (少額)
19	ファイバーレーザー加工システム保守点検業務	㈱タマリ工業	410,091	410,091		410,091	随契	4.6.9 ～ 5.3.24	5.3.15	410,091	ファイバーレーザー加工システム保守点検	随契 1号 (少額)
20	インキュベートセンター樹木管理業務	天龍造園建設㈱	814,000	814,000		814,000	随契	4.6.16 ～ 5.3.31	5.4.7	814,000	剪定、除草等	随契 1号 (少額)
21	産業廃棄物処理業務	㈱ミダック	827,200	659,450		659,450	随契	4.6.21 ～ 5.8.12	4.10.7	659,450	廃棄備品の収集・運搬・処分	随契 1号 (少額)

委託料に関する調

（令和4年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	変更増減額	計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	（事務関係）		円	円	円	円				円		
22	産業廃棄物処理業務	㈱ミダック	110,000	87,725		87,725	随契	4.6.22 ～ 5.9.30	4.10.31	87,725	産業廃棄物のフックロールによる収集・運搬・処分	随契 1号 （少額）
23	工業用ポータブルX線システムガス回収業務	㈱リガク名古屋営業所	62,040	62,040		62,040	随契	4.6.24 ～ 4.8.12	4.8.5	62,040	絶縁ガス回収X線管引き取り	随契 1号 （少額）
24	表面あらさ測定機保守点検業務	東海理機㈱	371,800	371,800		371,800	随契	4.8.2 ～ 5.1.31	4.10.25	371,800	表面あらさ測定機保守点検	随契 1号 （少額）
25	トランスファ成形機用金型製作業務	㈱キャップ	3,762,000	3,762,000		3,762,000	随契	4.9.20 ～ 5.1.31	5.3.28	3,762,000	トランスファ成形機用金型製作業務	随契 2号 （不適）
26	ハイブリッドレーザー顕微鏡保守点検業務	オザワ科学㈱浜松営業所	399,300	399,300		399,300	随契	4.9.26 ～ 5.3.24	5.1.12	399,300	ハイブリッドレーザー顕微鏡保守点検	随契 1号 （少額）
27	炭素硫黄分析装置保守点検業務	オザワ科学㈱浜松営業所	541,750	541,750		541,750	随契	4.10.26 ～ 5.3.24	5.1.16	541,750	炭素硫黄分析装置保守点検	随契 1号 （少額）
28	酸素窒素分析装置保守点検業務	オザワ科学㈱浜松営業所	953,590	953,590	-68,750	884,840	随契	4.10.26 ～ 5.3.24	5.1.20	884,840	酸素窒素分析装置保守点検業務	随契 1号 （少額）
29	金属3Dプリンタ造形物比較用の試作品製作業務	東海理機㈱	576,037	576,037		576,037	随契	4.11.14 ～ 5.3.31	5.1.30	576,037	金属3Dプリンタ造形物比較用の試作品製作業務	随契 1号 （少額）
30	3m法電波暗室保守点検業務	㈱リケン環境システム	1,298,000	1,298,000		1,298,000	随契	4.11.15 ～ 5.3.24	5.3.29	1,298,000	3m法電波暗室保守点検	随契 2号 （不適）
31	車載機器電波暗室保守点検業務	㈱リケン環境システム	2,673,000	2,673,000		2,673,000	随契	4.11.15 ～ 5.3.24	5.3.29	2,673,000	車載機器電波暗室保守点検	随契 2号 （不適）
32	促進耐候試験機保守点検業務	遠藤科学㈱浜松営業所	442,420	442,420		442,420	随契	4.11.22 ～ 5.3.24	5.3.28	442,420	促進耐候試験機保守点検	随契 1号 （少額）
33	X線回析装置保守点検業務	オザワ科学㈱浜松営業所	863,500	863,500		863,500	随契	4.11.22 ～ 5.3.24	5.1.20	863,500	X線回析装置保守点検業務	随契 1号 （少額）

委託料に関する調

（令和4年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	変更増減額	計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	（事務関係）		円	円	円	円				円		
34	高温真空加熱炉保守点検業務	東海理機(株)	550,000	550,000		550,000	随契	4.11.22～5.3.24	5.3.15	550,000	高温真空加熱炉保守点検業務	随契1号（少額）
35	恒温恒湿器(ARSF-0800-15)保守点検業務	遠藤科学㈱浜松営業所	284,130	284,130		284,130	随契	4.11.30～5.3.24	5.3.10	284,130	恒温恒湿器保守点検	随契1号（少額）
36	耐温度ストレス性評価試験装置保守点検業務	遠藤科学㈱浜松営業所	319,000	319,000		319,000	随契	4.11.30～5.3.24	5.3.10	319,000	耐温度ストレス性評価試験装置保守点検	随契1号（少額）
37	万能材料試験機(UMH-500KN)保守点検業務	東海理機㈱	464,200	443,300		443,300	随契	4.12.2～5.3.24	5.3.14	443,300	万能材料試験機保守点検	随契1号（少額）
38	通信デバイス評価システム保守点検業務	協立電機㈱	1,338,700	1,338,700		1,338,700	指名	4.12.5～5.3.24	5.2.27	1,338,700	通信デバイス評価システム保守点検	
39	試験機器保守点検業務	東海理機㈱	2,683,934	2,683,934		2,683,934	随契	4.12.12～5.3.24	5.3.24	2,683,934	試験機器保守点検	随契2号（不適）
40	産業廃棄物処理業務	㈱ミダック	98,560	98,560		98,560	随契	4.12.6～5.3.31	5.4.20	98,560	産業廃棄物のフックロールによる収集・運搬・処分（廃棄備品等）	随契1号（少額）
41	車載機器用EMC試験システム保守点検業務	東海理機㈱	1,320,000	935,000		935,000	指名	4.12.23～5.3.24	5.3.8	935,000	車載機器用EMC試験システム保守点検	
42	車載機器伝導性妨害波試験システム保守点検業務	東海理機㈱	2,139,500	1,595,000		1,595,000	指名	4.12.23～5.3.24	5.3.31	1,595,000	車載機器伝導性妨害波試験システム保守点検	
43	民生機器放射・伝導エミッション測定装置保守点検業務	遠藤科学㈱浜松営業所	1,540,000	1,364,000		1,364,000	指名	4.12.23～5.3.24	5.4.13	1,364,000	民生機器放射・伝導エミッション測定装置保守点検業務	

委託料に関する調

（令和4年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	契約金額 変更増減額	契約金額 計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	（事務関係）		円	円	円	円				円		
44	民生機器EMCイミュニティ試験装置保守点検業務	東海理機㈱	3,140,500	2,475,000		2,475,000	指名	4.12.23～5.3.24	5.3.24	2,475,000	民生機器EMCイミュニティ試験装置保守点検	
45	自動車部品用EMC試験装置保守点検業務	㈱ラボ・サポート	2,605,900	2,310,000		2,310,000	指名	4.12.23～5.3.24	5.4.7	2,310,000	自動車部品用EMC試験装置保守点検	
46	トランスファ成形機用モーターケース金型製作業務	㈱キャップ	1,672,000	1,672,000		1,672,000	随契	4.12.27～5.3.10	5.3.28	1,672,000	トランスファ成形機用モーターケース金型製作業務	随契2号（不適）
47	樹脂材料造形システム移設及び調整業務	㈱モアソンジャパン営業本部	867,900	867,900		867,900	随契	5.1.13～5.3.31	5.2.16	867,900	樹脂材料造形システム移設及び調整業務	随契1号（少額）
48	耐振耐候試験機及び振動試験機保守点検業務	東海理機㈱	1,613,040	1,613,040		1,613,040	随契	5.1.16～5.3.31	5.3.28	1,613,040	耐振耐候試験機及び振動試験機保守点検業務	随契2号（不適）
49	3Dプリンタ特設サイト制作業務	㈲オフィスタグ	308,000	278,000		278,000	随契	5.1.16～5.3.20	5.3.24	278,000	3Dプリンタ特設サイト制作業務	随契1号（少額）
50	明石製硬度計及び微小硬度試験システム保守点検業務	東海理機㈱	202,400	202,400		202,400	随契	5.1.23～5.3.31	5.3.8	202,400	明石製硬度計及び微小硬度試験システム保守点検	随契1号（少額）
51	産業廃棄物処理業務	㈱太洋サービス	1,378,080	1,096,150		1,096,150	一般	5.1.25～5.3.31	5.4.6	1,096,150	産業廃棄物の収集・運搬及び処分（廃棄機器）	
52	フロンガス抜き取り及び破壊処理業務	㈱リサイクルクリーン	75,823	75,823		75,823	随契	5.2.1～5.3.31	5.3.29	75,823	フロンガス抜き取り及び破壊処理業務	随契1号（少額）
53	自動車部品用EMC試験装置用高周波アンプ保守点検業務	協立電機㈱	792,000	792,000		792,000	随契	5.2.6～5.3.31	5.4.11	792,000	自動車部品用EMC試験装置用高周波アンプ保守点検	随契1号（少額）

委託料に関する調

（令和4年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	契約金額 変更増減額	契約金額 計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
			円	円	円	円				円		
54	（事務関係） 金属3Dプリンタシステムトレーニング業務	愛知産業㈱名古屋営業所	459,800	440,000		440,000	随契	5.2.20 ～ 5.3.31	5.4.14	440,000	金属3Dプリンタシステムトレーニング業務	随契 1号 （少額）
55	産業廃棄物(排水処理施設汚泥)収集運搬処理業務	㈱ミダック	209,000	209,000	−67,980	141,020	随契	5.3.1 ～ 5.3.31	5.4.20	141,020	産業廃棄物の収集・運搬及び処分（排水処理施設汚泥）	随契 1号 （少額）
56	キャス試験機及び塩水噴霧試験機保守点検業務	遠藤科学㈱浜松営業所	94,600	94,600		94,600	随契	5.3.1 ～ 5.3.31	5.3.28	94,600	キャス試験機及び塩水噴霧試験機保守点検業務	随契 1号 （少額）
事務関係　計		56件	94,226,249	87,408,780	−136,730	87,272,050				87,272,050		
合　　計		56件	94,226,249	87,408,780	−136,730	87,272,050				87,272,050		

委託料に関する調

（令和5年度）
（令和5年7月31日現在）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	契約金額 変更増減額	契約金額 計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
			円	円	円	円				円		
1	（事務関係） 設備総合管理業務	㈱シービーエム	12,961,080	12,163,800		12,163,800	一般	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.25 5.6.23 7.7.25 小計	770,880 742,500 762,300 2,275,680	設備日常点検、運転管理、水質検査等建物環境衛生管理	
2	空調設備保守点検業務	ヤマザキ・シー・エー㈱	7,238,000	6,248,000		6,248,000	一般	5.4.1 ～ 6.3.31			空調設備保守点検	
3	庁舎清掃業務	㈱静岡建物サービス	5,586,336	5,495,600		5,495,600	一般	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.25 5.6.23 5.7.25 小計	421,300 421,300 421,300 1,263,900	日常清掃、定期清掃	
4	排水処理施設保守点検業務	㈱三進製作所	14,004,100	13,571,800		13,571,800	一般	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.25 5.6.23 5.7.25 小計	389,950 389,950 389,950 1,169,850	排水処理施設維持管理	
5	消防用設備保守点検業務	東海ビル管理㈱	1,454,343	1,419,000		1,419,000	指名	5.4.1 ～ 6.3.31			消防用設備保守点検	
6	自家発電設備保守点検業務	㈱明電エンジニアリング静岡支店	3,740,000	3,740,000		3,740,000	一般	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.25 小計	847,000 847,000	自家発電設備保守点検	
7	電気空調設備中央制御装置及び防犯制御機器保守点検業務	日本電技㈱浜松営業所	5,940,000	5,830,000		5,830,000	一般	5.4.1 ～ 6.3.31			電気空調設備中央制御装置及び防犯制御機器保守点検	
8	エレベータ保守点検業務	日本オーチス・エレベータ㈱静岡支店	1,272,480	1,272,480		1,272,480	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.22 5.6.23 5.7.25 小計	100,100 100,100 100,100 300,300	エレベータ設備保守点検	随契 2号 （不適）
9	電話設備保守点検業務	㈱エンツー	990,000	990,000		990,000	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.8 5.6.21 5.7.21 小計	82,500 82,500 82,500 247,500	電話設備保守点検	随契 1号 （少額）
10	庁舎機械警備業務	セコム㈱	525,360	525,360		525,360	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.25 5.6.23 5.7.25 小計	43,780 43,780 43,780 131,340	庁舎機械警備	随契 1号 （少額）
11	自家用電気工作物保守点検管理業務	（一財）中部電気保安協会浜松北営業所	1,102,200	1,102,200		1,102,200	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	（前払） 5.4.28 小計	（前払） 551,100 551,100	自家用電気工作物保安管理	随契 2号 （不適）
12	蒸気ボイラー設備保守点検業務	三浦工業㈱浜松支店	269,280	269,280		269,280	随契	5.4.1 ～ 6.3.31			蒸気ボイラー保守点検	随契 1号 （少額）
13	一般廃棄物運搬処理業務	㈱ミダックライナー	158,400	112,200		112,200	随契	5.4.1 ～ 6.3.31			一般廃棄物運搬処理	随契 1号 （少額）

委託料に関する調

（令和5年度）
（令和5年7月31日現在）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	契約金額 変更増減額	契約金額 計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
			円	円	円	円				円		
14	（事務関係） 自動扉保守点検業務	寺岡オート・ドアシステム㈱浜松営業所	59,400	59,400		59,400	随契	5.4.1 ～ 6.3.31			自動扉保守点検	随契 1号 （少額）
15	産業廃棄物処理業務	㈱ミダック	55,000	55,000		55,000	随契	5.4.18 ～ 5.8.31	5.6.26	55,000	産業廃棄物のフックロールによる収集・運搬・処分	随契 1号 （少額）
16	電界放射型電子顕微鏡システム保守点検業務	日本電子㈱名古屋支店	3,795,000	2,200,000		2,200,000	随契	5.4.28 ～ 6.3.29			電界放射型電子顕微鏡システム保守点検	随契 2号 （不適）
17	ピコ秒レーザー加工システム保守点検業務	㈱日本レーザー	111,100	111,100		111,100	随契	5.5.29 ～ 6.3.29			ピコ秒レーザー加工システム保守点検	随契 1号 （少額）
18	ファイバーレーザー加工システム保守点検業務	㈱タマリ工業	410,091	410,091		410,091	随契	5.5.29 ～ 6.3.29			ファイバーレーザー加工システム保守点検	随契 1号 （少額）
19	産業廃棄物処理業務	㈱ミダック	99,660	99,660		99,660	随契	5.5.30 ～ 5.9.29			産業廃棄物のフックロールによる収集・運搬・処分	随契 1号 （少額）
20	庁舎樹木管理業務	天龍造園建設㈱	2,860,000	2,794,000		2,794,000	一般	5.6.13 ～ 6.3.29			剪定、施肥、病虫害防除等	
21	金属3Dプリンタシステムトレーニング業務	愛知産業㈱名古屋営業所	110,000	110,000		110,000	随契	5.6.19 ～ 5.7.31	5.7.25	110,000	金属3Dプリンタシステムトレーニング業務	随契 1号 （少額）
22	インキュベートセンター樹木管理業務	天龍造園建設㈱	814,000	814,000		814,000	随契	5.6.26 ～ 6.3.29			剪定、除草等	随契 1号 （少額）
23	産業廃棄物処理業務	㈱ミダック	627,000	609,840		609,840	随契	5.7.20 ～ 5.10.31			排水処理施設の汚泥の収集・運搬・処分	随契 1号 （少額）
事務関係 計		23件	64,182,830	60,002,811	0	60,002,811				6,951,670		
合計		23件	64,182,830	60,002,811	0	60,002,811				6,951,670		

負担金支出調

（令和４年度）

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	VCCI協会年会費	(一財)VCCI協会	規約	年会費	110,000	4月25日
2	2022年度塑性加工春季講演会	(一社)日本塑性加工学会	参加案内	参加負担金	10,000	5月24日
3	プラスチック力学特性	(株)Ｒ＆Ｄ支援センター	参加案内	講習会受講料	55,000	6月23日
4	腐食防食学会第87回技術セミナー	(公社)腐食防食学会	参加案内	講習会受講料	27,500	6月24日
5	機器取扱研修	栃木県産業技術センター	参加案内	講習会受講料	2,200	6月29日
6	細江地区安全運転管理協会会費	細江地区安全運転管理協会	規約	年会費	25,000	6月30日
7	2022年度(第55回)照明学会全国大会	(一社)照明学会	参加案内	参加負担金	9,130	7月7日
8	振動工学入門	(株)テックデザイン	参加案内	講習会受講料	33,000	7月19日
9	2022年度精密工学会秋季大会学術講演会	(公社) 精密工学会	参加案内	参加負担金	11,000	7月19日
10	化学繊維の糸づくり	(一社)日本繊維機械学会	参加案内	講習会受講料	25,300	8月8日
11	第56回Ｘ線材料強度に関するシンポジウム	(公社)日本材料学会	参加案内	参加負担金	11,000	8月8日
12	安全運転管理者講習	(一社)静岡県安全運転管理協会	道路交通法	講習会受講料	4,500	8月19日
13	設計に活かす３次元ＣＡＤソリッドモデリング技術	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構静岡支部東海職業能力開発大学校附属浜松職業能力開発短期大学校	参加案内	講習会受講料	24,500	9月2日
14	製品設計者のためのプラスチック射出成形・金型	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構静岡支部東海職業能力開発大学校附属浜松職業能力開発短期大学校	参加案内	講習会受講料	19,500	9月22日
15	Optics&Photonics Japan2022	Optics&Photonics Japan事務局	参加案内	参加負担金	14,000	9月22日

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
16	マシニングセンタプログラミング・加工技術	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構静岡支部静岡職業能力開発促進センター	参加案内	講習会受講料	21,000	10月7日
17	2022年自動車技術会秋季大会学術講演会	(公社)自動車技術会	参加案内	参加負担金	22,000	10月11日
18	第73回塑性加工連合講演会	(一社)日本塑性加工学会	参加案内	参加負担金	10,000	10月14日
19	第12回ＣＳＪ化学フェスタ	(公社)日本化学会	参加案内	参加負担金	33,000	10月18日
20	エコマテリアル研究会	(公社)高分子学科	参加案内	参加負担金	2,200	10月24日
21	第73回塑性加工連合講演会	(一社)日本塑性加工学会	参加案内	参加負担金	10,000	10月24日
22	66th FRP CON-EX2022	(一社)強化プラスチック協会	参加案内	参加負担金	10,000	11月9日
23	2022年度ＥＭＣ試験法講習会（車載機器コース）	(一社)ＫＥＣ関西電子工業振興センター	参加案内	講習会受講料	30,000	11月15日
24	2022年度ＥＭＣ試験法講習会（民生機器コース）	(一社)ＫＥＣ関西電子工業振興センター	参加案内	講習会受講料	40,000	11月15日
25	レーザー学会第43回年次大会	(一社)レーザー学会	参加案内	参加負担金	12,000	12月7日
26	金属めっき技術のトラブル対策	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構高度訓練センター	参加案内	講習会受講料	27,000	12月27日
27	2023年度精密工学会春季大会学術講演会	(公社) 精密工学会	参加案内	参加負担金	11,000	1月31日
28	ＥＭＣ技術者教育【実践編】	中部エレクトロニクス振興会	参加案内	講習会受講料	5,500	2月27日
29	日本機械学会東海支部第７２期総会・講演会	(一社)日本機械学会東海支部	参加案内	講習会受講料	5,000	3月6日
30	回折光学系設計ＷＥＢセミナー	(株)ティー・イー・エム	参加案内	講習会受講料	66,000	3月17日
計		30件			686,330	

負担金支出調

（令和５年度）
（令和５年７月31日現在）

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	VCCI協会年会費	(一財)VCCI協会	規約	年会費	110,000	4月24日
2	ベイズモデリングによる機械学習の基礎とデータ分析への応用	(株)日本テクノセンター	参加案内	講習会受講料	49,500	5月29日
3	材料開発のためのデータ解析入門	(株)シーエムシー・リサーチ	参加案内	講習会受講料	49,500	5月29日
4	廃プラスチックの最新リサイクル技術の動向	(株)Ｒ＆Ｄ支援センター	参加案内	講習会受講料	46,200	5月30日
5	照明設計セミナー＆技術者交流会	(株)オプティカルソリューションズ	参加案内	講習会受講料	5,500	6月7日
6	熱設計・熱回路網法の基礎とシミュレーションの応用	(株)日本テクノセンター	参加案内	講習会受講料	49,500	6月16日
7	ナノインプリントの基礎と製品応用・最新動向セミナー	(株)Ｒ＆Ｄ支援センター	参加案内	講習会受講料	44,000	6月27日
8	細江地区安全運転管理協会会費	細江地区安全運転管理協会	規約	年会費	25,000	6月30日
9	生分解性バイオマスプラスチックの基礎と成形加工技術および高性能化への応用	(株)日本テクノセンター	参加案内	講習会受講料	49,500	7月13日
10	2023年国際照明委員会(CIE)大会	Cankarjev dom	参加案内	参加負担金	172,572	7月19日
11	筐体熱設計と熱流体解析による検証技術	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構高度訓練センター	参加案内	講習会受講料	34,000	7月20日
計		11件			635,272	

余白

建　　築　　工

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金	
					当初額	変更増減額
1	資産経営費	蓄電池盤修繕工事	浜松市北区新都田1-3-3 浜松工業技術支援センター	円 1,188,000	円 1,100,000	円 0
2	資産経営費	管理研究棟ネットワーク環境更新工事	浜松市北区新都田1-3-3 浜松工業技術支援センター	1,034,000	964,150	0
		小計	件 2	2,222,000	2,064,150	0
3	産業革新費	実験棟金属加工試験室空調設置工事	浜松市北区新都田1-3-3 浜松工業技術支援センター	円 6,138,000	円 6,050,000	円 0
4	産業革新費	実験棟金属加工試験室土間改修工事	浜松市北区新都田1-3-3 浜松工業技術支援センター	1,661,000	1,661,000	0
5	産業革新費	実験棟１階照明改修工事	浜松市北区新都田1-3-3 浜松工業技術支援センター	2,035,000	1,980,000	418,000
		小計	件 3	9,834,000	9,691,000	418,000
		合計	件 5	円 12,056,000	円 11,755,150	円 418,000

事　　調

（令和４年度）

額 計	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年　月　日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
円 1,100,000	随契	富田電気工事(株)	令和４年５月16日 令和４年８月19日	円 1,100,000	バッテリー触媒栓の交換	－	随契1号（少額） 令達R4.4.19 最終支払R4.9.12
964,150	随契	ＮＤＳ(株)静岡支店	令和４年５月25日 令和４年８月19日	964,150	ネットワーク環境の更新	－	随契1号（少額） 令達R4.4.19 最終支払R4.9.8
2,064,150				2,064,150			
円 6,050,000	指名	ヤマザキ・シー・エー(株)	令和４年６月29日 令和４年10月31日	6,050,000	空調設備設置	済	令達R4.4.1 最終支払R4.11.25
1,661,000	随契	(株)大東建設	令和４年７月１日 令和４年９月30日	1,661,000	土間補強及び帯電防止塗料塗布	－	随契1号（少額） 令達R4.4.1 最終支払R4.10.24
2,398,000	随契	富田電気工事(株)	令和４年８月16日 令和４年11月25日	2,398,000	照明のＬＥＤ化	－	随契1号（少額） 令達R4.4.1 最終支払R4.12.15
10,109,000				10,109,000			
円 12,173,150				円 12,173,150			

建　　築　　工

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金	
					当初額	変更増減額
1	資産経営費	管理研究棟扉更新工事	浜松市北区新都田1-3-3 浜松工業技術支援センター	円 2,068,000	円 2,068,000	円 0
		小計	件 1	2,068,000	2,068,000	0
2	産業革新費	開放棟会議室２空調設備更新工事	浜松市北区新都田1-3-3 浜松工業技術支援センター	円 3,707,000	円 3,707,000	円 0
3	産業革新費	開放棟ネットワーク環境整備工事	浜松市北区新都田1-3-3 浜松工業技術支援センター	825,000	792,000	0
		小計	件 2	4,532,000	4,499,000	0
		合計	件 3	円 6,600,000	円 6,567,000	円 0

事　　調

（令和５年度）
（令和５年７月31日）

額 計	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年　月　日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
円 2,068,000	随契	(株)中村組	令和５年５月25日 令和５年８月31日	円 0	南側扉の更新	－	随契1号（少額） 令達R5.4.13
2,068,000				0			
円 3,707,000	指名	ヤマザキ・シー・エー(株)	令和５年６月13日 令和５年９月25日	0	空調設備更新	－	令達R5.4.3
792,000	随契	(株)エンツー	令和５年６月15日 令和５年８月31日	0	ＬＡＮ接続、ＨＵＢ新設	－	随契1号（少額） 令達R5.4.3
4,499,000				0			
円 6,567,000				円 0			

公有財産調

（令和４年度）

区分	令和4年3月31日 現在		増		減		令和5年3月31日 現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 2,777,074		千円 5,710		千円 105,705		千円 2,677,079	
土地	㎡ 28,238.29	687,409					㎡ 28,238.29	687,409	
立木竹	本 260	13,659					本 260	13,659	
建物	㎡ 5,791.90 ㎡ 11,142.50	2,057,165				104,458	㎡ 5,791.90 ㎡ 11,142.50	1,952,707	
工作物	個 186	18,841	3	5,710		1,247	個 189	23,304	
普通財産		0						0	
特許権等	件 9	0					件 9	0	
公有財産に準ずるもの		307						307	
電話加入権	件 11	307					件 11	307	
上記の財産に属さないもの		0						0	
準特許権等	件 1	0					件 1	0	

公有財産調

（令和５年度）

（令和５年７月31日）

区分	令和5年3月31日 現在		増		減		令和5年7月31日 現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 2,677,079		千円 0		千円 0		千円 2,677,079	
土地	㎡ 28,238.29	687,409					㎡ 28,238.29	687,409	
立木竹	本 260	13,659					本 260	13,659	
建物	㎡ 5,791.90 ㎡ 11,142.50	1,952,707					㎡ 5,791.90 ㎡ 11,142.50	1,952,707	
工作物	個 189	23,304					個 189	23,304	
普通財産		0						0	
特許権等	件 9	0			1		件 8	0	
公有財産に準ずるもの		307						307	
電話加入権	件 11	307					件 11	307	
上記の財産に属さないもの		0						0	
準特許権等	件 1	0					件 1	0	

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

（令和５年度）
（令和５年７月31日現在）

区　分	事業名又は契約名	内　　容	契約額						
				令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
長期継続契約	テキスタイルデザインシステム賃貸借	ﾃﾞｻﾞｲﾝｼｽﾃﾑ賃貸借 （契約日）R2.12.16	2,778,600	92,620	555,720	555,720	555,720	555,720	463,100
	電子複写機賃貸借	電子複写機賃貸借 （契約日）R3.4.1	1,173,425		261,135	338,882	191,136	191,136	191,136

行政財産貸付・使用許可調

（令和５年７月31日現在）

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	浜松市北区新都田一丁目103-25	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ四階建	同左	㎡ 3.30		円 32,550	R5.4.1 ～ R6.3.31	浜北機械金属工業協同組合	収入証紙売りさばき所
2	建物	事務所建	浜松市北区新都田一丁目103-25	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ四階建	同左	㎡ 2.00		27,940	R4.4.1 ～ R7.3.31	ｺｶ･ｺｰﾗﾎﾞﾄﾗｰｽﾞｼﾞｬﾊﾟﾝ㈱ﾍﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ中部日本地区統括部ﾍﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ浜松支店	自販機の設置
3	建物	事務所建	浜松市北区新都田一丁目103-25	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ四階建	同左	㎡ 30.00		免除	R5.6.8 ～ R6.3.31	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	自動車分解部品の保管
4	土地	浜松工業技術支援センター敷地	浜松市北区新都田一丁目103-24	宅地	同左	2本	1,500	3,000	R2.4.1 ～ R7.3.31	中部電力パワーグリット㈱浜松営業所 細江ｻｰﾋﾞｽｽﾃｰｼｮﾝ	電力供給用電柱1本支線1本
5	土地	浜松工業技術支援センター敷地	浜松市北区新都田一丁目103-25	宅地	同左	3本	1,500	4,500	R2.4.1 ～ R7.3.31	中部電力パワーグリット㈱浜松営業所 細江ｻｰﾋﾞｽｽﾃｰｼｮﾝ	電力供給用電柱2本支線1本

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
6	土地	浜松工業技術支援センター敷地	浜松市北区新都田一丁目103-25	宅地	同左	地下ｹｰﾌﾞﾙ 97m 2本	1,500	7,500	R2.4.1 ～ R7.3.31	中部電力パワーグリット㈱浜松営業所 細江ｻｰﾋﾞｽｽﾃｰｼｮﾝ	電力供給用地下ｹｰﾌﾞﾙ 電柱5本分相当
7	土地	浜松工業技術支援センター敷地	浜松市北区新都田一丁目103-25	宅地	同左	1本	1,500	1,500	R2.4.1 ～ R7.3.31	西日本電信電話㈱静岡支店	通信用支線1本
8	土地	浜松工業技術支援センター敷地	浜松市北区新都田一丁目103-25	宅地	同左	㎡ 0.06		免除	R5.4.1 ～ R6.3.31	浜松市長	案内用標柱2基
合計								76,990			

備 品・図 書 調

(令和 4年度)

所属 0000105625 経済産業部　工業技術研究所浜松工業技術支援センター

区 分	令和 4年3月31日現在	増		減		令和 5年3月31日現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
01-01 机類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
01-02 台類	123	(5) 5	0	(0) 0	0	128
01-03 いす類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
01-04 収納保管庫類	86	(0) 0	0	(0) 1	0	85
01-05 印刷機器類	3	(0) 0	0	(0) 1	0	2
01-07 書類整理器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-10 印判類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-14 冷暖房器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-18 パーテーション	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
02-01 情報処理機器類	122	(0) 3	159,940	(0) 0	0	125
02-02 情報伝達機器類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
02-03 再生機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-01 撮影機器類	27	(1) 1	0	(0) 0	0	28
03-02 観察・観測用光学機器類	35	(0) 0	0	(0) 2	0	33
03-03 視覚用再生等機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-99 その他の写真光学視覚機器類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
05-01 強度（物性）試験計測機器類	40	(0) 0	0	(0) 1	0	39

ZMB0040
ZMRB0040

備 品・図 書 調

(令和 4年度)

所属 0000105625 経済産業部　工業技術研究所浜松工業技術支援センター

区 分	令和 4年3月31日現在	増		減		令和 5年3月31日現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
05-02 波動・熱試験計測機器類	80	(0) 0	0	(1) 3	0	77
05-03 電気試験計測機器類	59	(0) 0	0	(0) 3	0	56
05-04 分析化学機器類	27	(0) 0	0	(0) 6	0	21
05-05 生物化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-06 環境化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-07 測量機器類	18	(11) 11	0	(0) 1	0	28
05-08 度量衡測定機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-99 その他の試験計測機器類	56	(1) 4	28,728,150	(0) 6	0	54
06-02 金属加工用機器類	29	(0) 3	18,414,000	(0) 2	0	30
06-03 繊維染色縫製機器類	19	(0) 0	0	(0) 0	0	19
06-04 電気電子機器類	10	(0) 0	0	(0) 1	0	9
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-08 プラスチック成形機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-99 その他の諸機器類	17	(1) 8	111,194,600	(0) 0	0	25
08-01 車両類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
12-01 雑機器	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
50-01 図書	15	(0) 0	0	(0) 0	0	15
計	860	(19) 35	158,496,690	(1) 27	0	868

ZMB0040
ZMRB0040

備 品・図 書 調

(令和 5年度)

所属 0000105625 経済産業部　工業技術研究所浜松工業技術支援センター

区 分	令和 5年3月31日現在	増		減		令和 5年7月31日現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
01-01 机類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
01-02 台類	128	(0) 0	0	(0) 0	0	128
01-03 いす類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
01-04 収納保管庫類	85	(0) 0	0	(0) 0	0	85
01-05 印刷機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-07 書類整理器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-10 印判類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-14 冷暖房器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-18 パーテーション	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
02-01 情報処理機器類	125	(0) 1	258,060	(0) 0	0	126
02-02 情報伝達機器類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
02-03 再生機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-01 撮影機器類	28	(0) 0	0	(0) 0	0	28
03-02 観察・観測用光学機器類	33	(0) 0	0	(0) 0	0	33
03-03 視覚用再生等機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-99 その他の写真光学視覚機器類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
05-01 強度（物性）試験計測機器類	39	(0) 0	0	(0) 0	0	39

ZMB0040
ZMRB0040

備 品・図 書 調

(令和 5年度)

所属 0000105625 経済産業部　工業技術研究所浜松工業技術支援センター

区 分	令和 5年3月31日現在	増		減		令和 5年7月31日現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
05-02 波動・熱試験計測機器類	77	(0) 0	0	(0) 0	0	77
05-03 電気試験計測機器類	56	(0) 0	0	(0) 0	0	56
05-04 分析化学機器類	21	(0) 0	0	(0) 0	0	21
05-05 生物化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-06 環境化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-07 測量機器類	28	(0) 0	0	(0) 0	0	28
05-08 度量衡測定機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-99 その他の試験計測機器類	54	(0) 0	0	(0) 0	0	54
06-02 金属加工用機器類	30	(0) 0	0	(0) 0	0	30
06-03 繊維染色縫製機器類	19	(0) 0	0	(0) 0	0	19
06-04 電気電子機器類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-08 プラスチック成形機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-99 その他の諸機器類	25	(0) 3	1,259,610	(0) 0	0	28
08-01 車両類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
12-01 雑機器	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
50-01 図書	15	(0) 0	0	(0) 0	0	15
計	868	(0) 4	1,517,670	(0) 0	0	872

ZMB0040
ZMRB0040

主　要　備　品　調

（令和5年7月31日現在）

整理番号	区分 大・中	区分 小	品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額（円）
1	5－3	2	自動車部品用EMC試験装置 (放射電磁妨害波(EMI)測定システム 外)	自動車部品に対するEMC評価 年間1,139時間	平成30年3月	135,162,000
2	6－99	99	金属3Dプリンタシステム （金属積層造形システム）	複雑形状部品や金型などの積層造形 70回（7か月）	令和4年12月	109,989,000
3	5－1	12	非破壊3次元計測装置 FF35CT Metrology	自動車部品等に対する内部欠陥の非破壊検査　年間532時間	令和元年12月	99,900,000
4	5－7	1	三次元測定機 UPMC850CARAT	機械部品、金型等寸法形状の測定 年間84時間	平成3年3月	69,010,000
5	5－3	5	民生機器EMCイミュニティ試験装置 （放射イミュニティ試験装置　外）	民生機器部品に対するEMC評価 年間632時間	平成31年2月	64,962,000
6	5－3	2	伝導性妨害波試験システム (自動車部品用EMC技術実習用機器)	自動車部品に対するEMC評価 年間481時間	平成29年12月	63,612,000
7	5－2	1	光学特性解析装置 AQ-8501	光ファイバ、LD、光ディバイスの特性評価 年間50回	平成3年3月	46,350,000
8	3－2	1	電界放射型電子顕微鏡システム JSM-7610F	金属部品等の微細構造観察、元素分析 年間70回	平成30年1月	44,625,600
9	5－3	2	民生機器EMCエミッション測定装置 (放射エミッション測定装置 外)	電気電子機器等に対するEMCエミッション測定　年間485時間	平成30年3月	40,921,200
10	5－4	6	強力X線回折装置 RINT2500V/HP	金属・無機・有機材料の状態分析 年間20回	平成11年1月	39,900,000
11	5－4	99	電子線マイクロアナライザ EPMA-1720 4ch Wフィラメント	金属・セラミックス等の定性分析 年間110回	平成23年1月	31,867,500
12	5－1	13	耐振耐候試験機 i240/SA3	電子機器、自動車部品等信頼性確認試験 年間1,372時間	平成28年1月	31,255,200
13	5－3	1	放射イミュニティ試験システム SQ2601071A	電子機器、輸送関連機械等の電磁波耐性試験　年間321時間	平成20年2月	28,066,500
14	5－4	6	全自動蛍光X線分析装置	材料に含まれる元素の種類や含有率を算出　年間50回	令和2年12月	27,720,000
15	5－2	2	音響特性解析装置 MK80CNK	楽器及び電子機器から発する音響の解析 年間0時間	平成3年3月	27,604,000
16	5－1	13	促進耐候試験機 SX75-S80HB	プラスチック部品等を促進劣化させる耐久性試験　年間3,500時間	平成25年3月	26,775,000
17	5－4	6	蛍光X線膜厚測定分析装置 M4TORNADOP	各種金属薄膜の厚さ測定・異物の元素分析 年間450回	令和3年12月	25,168,000
18	5－3	1	電磁波測定装置 YHPシステム	放射エミッション測定 年間0時間	平成3年3月	25,021,000
19	6－3	99	試験用紡糸装置	樹脂材料を用いた糸の試作試験 年間234時間	平成3年3月	24,411,000
20	5－99	11	小型振動試験機	電子機器、自動車部品等信頼性確認試験 高速衝撃試験試験対応　年間490時間	平成31年2月	24,084,000

余白

第３　試験研究成果一覧表

【研究所全体】

令和４年度　試験研究成果一覧表

工業技術研究所

区分 / 事業名	研究テーマ（細目） 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び普及等の状況	予算額 R4年度	予算額 総予算額	備考
新成長戦略研究	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	継続	共同	R2～R4	マリンバイオ関連産業の振興を図るため、海洋微生物を活用した食品開発として、海洋由来の乳酸菌を活用して、清涼感等を増強した甘酒や発酵調味料等の開発を目指した。	□□	□□□	千円 2,803	千円 7,685	水産・海洋技術研究所 沼津工業技術支援センター 農林技術研究所 畜産技術研究所 環境衛生科学研究所 （一財）マリンオープンイノベーション機構□□□□
新成長戦略研究	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	継続	共同	R3～R5	路面に図形を描画することで歩行者等にメッセージを伝える“コミュニケーションライティングシステム”の実現に必要な、超小型で超微細な樹脂レンズの製品化技術を開発する。	□□□	□□□	千円 14,914	千円 44,671	
新成長戦略研究	設備、モノ、ヒトの統合的データ分析による生産性の効率化	新規	共同	R4～R6	生産機器の稼働状況の見える化へのIoT技術の導入の次のステップとして、ヒトやモノの動きを追加して生産計画への適用を図り、工場全体の効率化を図る。	□□□	□□	千円 9,971	千円 29,963	

新成長戦略研究 （チャレンジ枠）	静岡発ドライマンナンを用いた培養肉の開発	新規	単独	R4	代替肉の需要が今後増加する見込みであるため、県産新規食材「ドライマンナン」を基材とした培養肉を開発する。	畜産動物からの細胞の採取、及び基材とするドライマンナンの調製に成功し、基材上での細胞培養評価系の構築を進め、ドライマンナンと鶏細胞の複合体を作成した。	実用化に向け詳細な検討を進める。	千円 1,000	千円 1,000	
県単独研究 （競争的資金による研究） 科研費 （若手研究）	セルロースナノファイバーによる香り成分の徐放機構の解明及び放散制御技術の開発	継続	単独	R2 ～ R4	セルロースナノファイバーの化粧品への添加によって付与される「香りの徐放性」の発現メカニズムを解明し、その制御技術を確立する。	CNFの繊維長を変更することで、香りの放散挙動が変化することが明らかとなった。また、CNFの繊維長による香り放散挙動変化は、ミセルの水/油界面に吸着するCNFの吸着形態に因ることが示唆された。	県内企業と共同で、県産の香りを活用した製品（雑貨や香粧品・食品等）や　徐放性の技術を提案し、県内外に発信することで、研究成果の普及を図る。	千円 1,528	千円 4,290	
県単独研究	バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発	継続	単独	R3 ～ R4	CO2排出量削減等に対応するため、ポリ乳酸等のバイオマスプラスチックが利用されている。自動車部品等で利用するためには耐食性等の付与が必要となるため、ポリ乳酸等へのめっき技術を開発する。。	高密着なめっき作製条件を確立するために、めっき前処理等のめっき条件を検討した結果、ポリ乳酸について5.4N/cm、セルロース複合化ポリ乳酸について6.0N/cmの密着強度が得られた。	独自技術として開発後、静岡県鍍金工業組合（65社）より県内企業に技術提供を目指す。	—	—	
県単独研究 （競争的資金による研究） 科研費 （基盤研究C）	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	継続	単独	R3 ～ R5	植物性タンパク質源として注目されている豆乳は、加熱濃縮により凝集・固化しやすい問題点がある。このメカニズムを「液-液相分離」の視点で解析することで、豆乳タンパク質が凝集しにくい濃縮技術を開発する。	各種濃度のNaCl添加生豆乳を調整し、透析脱塩して凍結融解した結果、全てのサンプルの分画性が回復し、豆乳エマルションの可逆性が示唆された。	得られた知見を論文投稿する他、県内事業者と共有して新たな食品開発に取り組む予定。	千円 650	千円 3,380	静岡県立大学

県単独研究	微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発	継続	単独	R3～R4	本研究では、排水処理の低コスト化・装置のコンパクト化を実現するために、県内企業に設置したパイロットプラントでの処理実験を通じ、微細気泡散気方式で間欠曝気を行う新たな処理装置を開発する。	今年度は、高負荷条件で新たな処理装置を評価し、所定の水質の処理水を得るのに必要な曝気量が従来方式を下回ることを確認した。活性汚泥の遺伝子解析については脱窒酵素群で４種類の指標微生物を選抜した。	県内排水処理設備メーカーを通じて新たな処理装置の普及を目指す。	—	—	
県単独研究	居住空間における木材・木製品等の変色に関する研究	継続	単独	R3～R5	木材・木製品や建材などの変色に関するトラブルは多く、原因究明への相談が多い。 除菌剤などを含め、屋内で考えられる汚染要因と変色の発生について考察し、トラブルの対策法、防止策について明らかにする。	木製品変色に対する消毒液・洗浄剤の影響、アルカリ変色の目安（pH12以上）を確認した。蛍光X線分析により、非破壊・簡便に無機元素由来変色要因情報が取得できることを確認した。	事例紹介や技術相談にて知見の還元を行う。 次年度は相談事例やリカバリー情報を盛り込んだデータベースを構築する	—	—	
一般共同研究	県産材の屋外使用に向けた防腐・防蟻処理技術の開発	継続	単独	R3～R4	本研究では、木材の事前乾燥や減圧加圧注入が不要な木材保存剤を用いた防腐・防蟻処理技術を開発する。これにより、地域での木材の薬剤処理が可能となり県産材の地産地消が図られる。	ホウ酸系薬剤にポリエチレングリコールを添加すること木材への浸透性が向上した。またシリコーンゴムエマルションを表面に塗布することでホウ酸系薬剤の溶脱を抑制できた。地域で処理可能な防腐防蟻技術へつながる。	協力機関と成果を共有し、実際の木材を用いて野外試験を実施し、実用化を進める。	—	—	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
県単独研究	摩擦攪拌接合を適用した半溶融成形鋳物継手の技術開発	新規	単独	R4～R5	アルミニウム合金鋳物の接合技術により、構造部材の複雑形状化・高機能化が期待される。本研究では、摩擦攪拌接合と半溶融成形法を組合せた信頼性の高い高性能な接合継手を開発する。	接合及び熱処理条件の最適化により、引張強さ290MPa、伸び５%以上の引張特性を有する継手を作製することが出来た。高強度・高延性継手の製造方法として、自動車関連企業へ技術情報を発信していく。	学会発表による技術情報の発信や自動車部品製造メーカーとの技術提携を図る。	—	—	

県単独研究 （競争的資金による研究） 科研費 （若手研究）	機械学習によるBRDFの高分解能化手法の開発	新規	単独	R4 ～ R6	高分解能な反射特性の測定には、時間がかかると共に膨大なデータ容量を作り出すという課題がある。そこで、機械学習を用いて高分解能な双方向性反射率分布関数（BRDF）を推定する方法を確立する。	基礎的な反射特性データの収集を続け、機械学習で使用する反射特性学習データベースの充実を図った。	高精度な光学シミュレーションを実現することで、照明や車載光学機器などの光環境開発支援に貢献する。	千円 3,027	千円 5,097	
県単独研究	抗炎症効果のある伊豆特産サクラ葉抽出物の素材化と作用機序解析	新規	単独	R4 ～ R5	伊豆特産のオオシマザクラの葉に抗炎症活性を見出したことから、サクラ葉抽出物の素材化条件を検討し素材を商品化するとともに抗炎症作用機序の解明に取り組む。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□	—	—	□□□□□□□ □□
一般共同研究	介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発	継続	共同	R3 ～ R4	被介護者の自尊自立支援、介護者の負担軽減、安全性と作業効率化の両立を最大限に考慮しながら「介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器」を新たに開発する。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□	—	—	□□□□□□□ 常葉大学
一般共同研究	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	継続	共同	R2 ～ R4	現在取り組んでいる県内中小企業へのIoT技術の導入支援をさらに強化するため、産総研との共同研究を行う。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□	—	—	産業技術総合研究所

一般共同研究	アルミニウム鋳造品用異種素材の固相接合技術の研究開発	継続	共同	R3～R4	アルミ合金鋳造材とダイカスト材に摩擦攪拌接合（FSW）を適用した接合技術の確立及び実用化を目指す。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□	―	―	□□□□□□
一般共同研究	資源循環型システムを志向した樹脂複合材のテラヘルツ波による非破壊検査手法の開発	新規	共同	R4～R5	テラヘルツ（THz）波を活用し、樹脂複合材の材料特性を非破壊で検査する手法を開発する。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□	―	―	□□□□□□□ □□□
一般共同研究	カーボンニュートラルに貢献するリサイクル樹脂複合材の開発	新規	共同	R4～R5	マテリアルリサイクルされた樹脂にセルロース繊維を配合することで物性を向上させ、得られた複合材の普及拡大を目指す。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	―	―	□□□□□□□ □□□
一般共同研究	自動車用途向けＣＮＦオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	新規	共同	R4～R6	従来のCNF複合樹脂では耐衝撃性が樹脂単体と比べ低下してしまう。このため、自動車用に多く使用されているオレフィン樹脂を対象に、無機添加剤とCNFの相乗効果により耐衝撃性等の物性の向上を目指す。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□	―	―	□□□□□□□ □□

受託研究 （競争的資金による研究） 先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発	継続	受託	R2 ～ R4	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□	千円 400	千円 400	□□□□□□□ □□□□□□□
受託研究 （競争的資金による研究） 国際標準化事業（経産省）	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化	継続	受託	R2 ～ R4	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□	千円 2,712	千円 2,712	山形大学
受託研究 （競争的資金による研究） 課題提案型研究助成（スズキ財団）	バイオマス素材を原料とした白金担持炭素材料の開発	新規	受託	R4 ～ R5	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□	千円 334	千円 334	静岡大学
受託研究 （競争的資金による研究） 新成長産業戦略的育成事業（県産業振興財団）	エアコンの省エネ性能を躍進する軽量高剛性スクロールの量産化システムの開発	新規	受託	R4 ～ R5	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□	千円 533	千円 533	□□□□□□□ □□□□□□□

受託研究（競争的資金による研究） MaOI-FS（MaOI機構）	エラ抽出物の腸内細菌叢改善作用の研究	新規	受託	R4	□□□	□□	□□□	千円 1,000	千円 1,000	□□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	ポリプロピレン(PP)/CNF複合材への高密着なめっき技術の開発	新規	受託	R4	□□	□□	□□	千円 100	千円 100	□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	蒸留所から発生する高濃度廃液を利用した高効率メタン発酵手法の開発	新規	受託	R4	□□	□□□	□□□	千円 330	千円 330	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	長期の連続式メタン発酵試験によるサプリメント製造残渣の適性評価	新規	受託	R4	□□	□□□	□□□	千円 500	千円 500	□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	バイオリファイナリーを活用した食品廃棄物再資源化のための可溶化技術の開発	新規	受託	R4	□□	□□	□□	千円 145	千円 145	□□□□□□□

受託研究 （競争的資金以外の研究）	実験室規模水素発酵装置による水素生産最適条件の検討	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□	千円 750	千円 750	□□□□□□□ □□□
受託研究 （競争的資金以外の研究）	サウナ用ウッドジョイントデッキの耐熱・耐荷重試験	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □	□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□	千円 250	千円 250	□□□□□□□ □□
受託研究 （競争的資金以外の研究）	木質活性炭への白金担持と燃料電池性能評価	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□	千円 800	千円 800	□□□□□□□ □

（注）1　本表は試験研究機関において調整する。
2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

沼津工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び普及等の状況	予算額		備考
								R4年度	総予算額	
新成長戦略研究	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	継続	共同	R2 ～ R4	マリンバイオ産業振興ビジョンに基づき、本県海洋資源を活用した食品分野における新産業創出を目的に、当科では他産地と差別化可能な海洋微生物を活用したサワービール及び生酛系清酒の開発を行う。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□	千円 2,105	千円 11,523	水産・海洋技術研究所 農林技術研究所 畜産技術研究所 環境衛生科学研究所 (一財) マリンオープンイノベーション機構 □□□□□□□ □□□□□
一般共同研究	本県独自の清酒用種麹の開発フローの構築	継続	共同	R3 ～ R5	県内の清酒業界からは、話題性や魅力のある商品の開発に向けて、県独自の清酒用種麹の開発要望が強く寄せられていた。そこで本研究では、本県の清酒造りに適した独自の清酒醸造用種麹の開発フローを構築する。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	—	—	(独)酒類総合研究所 □□□□□□□ 静岡県酒造組合
一般共同研究	二軸引張試験を活用した難成形材プレスシミュレーションの高精度化	継続	共同	R3 ～ R4	EVシフトに向けた開発のリードタイム短縮や開発コスト削減のため、2021年にJIS規格化された二軸引張試験を導入して、プレス成形シミュレーションの高精度化を図る。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□	—	—	□□□□□□□ □□□□

受託研究（競争的資金以外の研究）	国産高麗人参エキスの微生物発酵による有効成分変換機構の解明	新規	受託	R4	□□	□□	□□□	千円 1,000	千円 1,000	□□□□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	医療用金属材料の材料評価及び高温成形加工を活用した新たな加工方法の検討	新規	受託	R4	□□□	□□□	□□□	千円 151	千円 151	□□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	温間プレス成形後の材料評価	新規	受託	R4	□□	□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	千円 121	千円 121	□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	自然界分離酵母のビール醸造適性評価	新規	受託	R4	□□	□□	□□□	千円 401	千円 401	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

（注）1　本表は試験研究機関において調製する。
2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

富士工業技術支援センター

区分 / 事業名	研究テーマ(細目) 研究内容	終了継続新規廃止の別	国庫受託単独共同の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び普及等の状況	予算額 R4年度	予算額 総予算額	備考
新成長戦略研究	プラスチック資源循環実現のためのCNF複合樹脂リサイクル技術の開発	新規	共同	R4	自動車の電動化等に伴う車体の軽量化に対応し、脱炭素・資源循環社会実現に貢献するため、ガラス繊維強化樹脂や炭素繊維強化樹脂に代わり得るCNFを活用した複合樹脂のリサイクル性を評価する。	□□□	□□□	千円 2,500	千円 2,500	静岡大学農学部
県単独研究	加温処理による紙の低密度化に関する研究	新規	単独	R4～R5	当センターの過去の研究からパルプを加温処理するだけで紙が低密度する現象を発見した。紙が低密度化するメカニズムを解明し、製紙工場の工程に適用可能な技術開発を行い紙製品のコストダウンを図る。	紙が低密度化するメカニズムとして化学的変化か繊維形態の変化であると仮定して実験を行ったところ、加温処理により繊維形態が変化（パルプが加温処理による湾曲し微細繊維量が変化）することが分かった。	紙が低密度化するメカニズムを解明し、研究協力機関である東京農工大学と連名で学術誌への投稿を目指して実験を行っている。	—	—	
一般共同研究（競争的資金による研究） 科研費（基盤研究C）	深層学習を用いた画像解析による牛群中での子牛の疾病検知システムの開発	継続	共同	R3～R5	子牛の疾病で代表的な下痢、呼吸器疾患を対象として、深層学習を用いた映像解析等により牛群中での子牛の異常検知方法の検討を行う。	□□□	□□□	千円 650	千円 2,080	畜産技術研究所 日本工業大学

一般共同研究	プラズマ照射によるクロム酸フリーのめっき技術の開発	新規	共同	R4～R5	自動車軽量化のため金属から樹脂への代替が進んでおり、意匠や耐久性向上を目的に樹脂めっきの必要性が増している。そこで樹脂めっきで使用される有害なクロム酸エッチングをプラズマ照射の応用技術で代替する。	□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	—	—	□□□□□□□
一般共同研究	廃棄衣料をリサイクルするための製紙技術の開発	新規	共同	R4	ファッション業界ではサステナブルな取り組みが求められており、廃棄衣類を原料とした紙製造の相談が県内製紙会社で増えている。本研究では廃棄衣類から安定した品質でリサイクル紙を製造する技術開発を行う。	□□	□□	—	—	□□□□□□□□□□
一般共同研究	マイクロ波減圧乾燥によるCNF濃縮技術の開発	新規	共同	R4～R5	CNFの分散液はセルロースに対して数十倍の水を含んでおり、輸送コストが高く非常に高価である。コストを抑えるためにマイクロ波減圧乾燥を用いた濃縮技術を検討し、CNFの凝集を抑えた高濃縮品を目指す。	□□	□□	—	—	□□□□□□□□□□□□□□□
一般共同研究	リファイナーを用いた低コストCNF製造技術の開発	新規	共同	R4～R6	新型リファイナーによる最適運転条件の確認とさらなる専用刃物の改良を行い、より低コストのCNF製造機器の開発を目指す。また、製紙助剤への応用など用途開発を行い、リファイナーCNFの更なる普及をはかる。	□□□	□□□	—	—	□□□□□□□
一般共同研究	自動車用途向けＣＮＦオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	新規	共同	R4～R6	CNFとオレフィン系樹脂との複合材について、自動車部品への適用のため耐衝撃性等の物性向上を目指す。	□□□”	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	—	—	□□□□□□□□□□

(注)1　本表は試験研究機関において調製する。
2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

区分／事業名	研究テーマ（細目） 研究内容	終了継続新規廃止の別	国庫受託単独共同の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び普及等の状況	予算額 R4年度	予算額 総予算額	備考
新成長戦略研究	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形加工技術の確立	継続	単独	R2～R4	炭素繊維強化複合材料は短時間成形が課題となっており利用・普及が進んでいない。そこで、大量生産に対応した成形加工技術を確立し、軽量素材としての利活用の促進を図る。	CFRPのテープ状中間基材の効率的な作製方法を確立するとともに、それを用いた新しい成形技術を開発し、アルミニウムダイカストと同等以上の曲げ強度で、複雑形状の部品を短時間で作製することが可能となった。	協力機関である浜松地域CFRP事業化研究会を通して会員企業等に技術普及を進める。	千円 10,994	千円 63,911	
新成長戦略研究	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	継続	単独	R3～R5	路面に図形を投影することで歩行者にメッセージを伝える「コミュニケーションライティングシステム」の実現に必要な、超小型で超微細な樹脂レンズの製品化技術を構築する。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□	千円 1,103	千円 1,425	
新成長戦略研究（政策課題指定枠）	積層造形を活用した新たなモノづくり技術の開発に向けた調査研究	新規	単独	R4	自動車の電動化を迎えて、迅速な製品・部品開発が求められている。3Dプリンタは、複雑形状部品の設計・試作期間を大幅に短縮できると期待されているが活用が進んでいない。	3Dプリンタ情報の収集・提供、樹脂及び金属3Dプリンタサンプルの試作、金属3Dプリンタ活用体制の整備、企業の取り組み状況調査を行った。	金属3Dプリンタに関する情報提供を行うことで、金属３Ｄプリンタの企業利用を進め、県内企業のデジタルものづくりを支援する。	千円 1,500	千円 1,500	
県単独研究	車載機器EMC試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	継続	単独	R2～R4	平成30年度に車載機器用のEMC試験を行う試験施設を開所した。本施設で得られる試験データの信頼性を保証するため、他の試験サイトと同条件の試験を行い、サイト間の「測定値のずれ」を比較する。	KEC関西電子工業振興センターのアンテナ照射イミュニティ試験の計測プロジェクトに参画し、全国の著名なメーカーや民間の試験サイトと比較することにより、当サイトの取得データの傾向が把握できた。	利用者に対して当サイトで得られるデータの信頼性を担保するとともに、その試験データの傾向について情報提供を行う。	—	—	

県単独研究 （競争的資金による研究） 科研費 （基盤研究C）	多波長イメージングによる高速表面粗さ測定法の開発	継続	単独	R3 ～ R4	大面積の表面粗さを短時間に評価できる官能検査は、定量的な品質管理に課題がある。本研究では、試料表面の色を高精度にイメージング測定することで、巨視的な表面粗さの違いを定量測定する方法を確立する。	粗さによって色分布が変化する測定原理を明らかにした。協力企業が開発する製品の技術的な裏付けとなり、製品の信頼性の向上に寄与した。また、最適化した測定系でSa=±1μmの測定精度を実現した。	研究で得られた知見を活用して、２次元色彩計を用いた粗さ測定機の開発を目指す研究協力企業の製品開発を支援した。また、研究成果を学会で１件発表した。	千円 650	千円 4,290	
県単独研究	ＥＶ向けコネクタ・スイッチ用めっきの特性向上に関する研究	新規	単独	R4 ～ R5	県内めっき企業では、EV向けコネクタ・スイッチに使用されるAg、Snめっきの新規開発や品質向上の際に、特性評価（耐摩耗性、電気抵抗等）を行うことが難しい。	電圧を印加した状態で2種類の試料を同時に往復摺動できる試験装置を作製し、電気抵抗値を相対的に評価できた。まためっき表面の状態の変化を電気抵抗値の変化として捉えることができた。	Ag、Snの2種類のめっきについて、協力機関の現行品より耐久性に優れためっきを開発を進める。	—	—	
県単独研究	レーザーピーニングのデータベースの構築	新規	単独	R4 ～ R5	近年、レーザーピーニングについての設備使用や技術相談が増えつつあるため、加工方法やパラメータについてのデータベースを構築し、今後のレーザーピーニングの研究、指導の助けとする。	ろ過水の供給方法が実験の再現性に影響することを見出し、装置を最適化して再現性を確保できた。簡易評価法について検証を行い、大まかな傾向を把握できた。	学会発表3件実施、令和5年6月に2件の学会発表を予定。	—	—	
一般共同研究 （競争的資金による研究） 新成長産業戦略的育成事業 （県産業振興財団）	高周波焼入ロボットの研究開発	継続	共同	R3 ～ R4	高周波焼入の熟練作業者が減少し、加工品質の確保と納期・コストの悪化が課題となっている。本研究では、多品種・少量生産のカム部品に対して、最適な焼入作業を自動で行う高周波焼入ロボットの開発を行う。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□	千円 377	千円 754	□□□□□□□
一般共同研究	めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発	継続	共同	R3 ～ R5	鉄-アルミニウムの接合は地元企業から高いニーズがあるが、自動車部品の接合に多用される通常のスポット溶接法では、金属間化合物が生成するため、十分な強度を得ることが難しい。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□	—	—	□□□□□□□ □

一般共同研究 産学官連携研究開発助成事業（県産業振興財団）	中赤外線レーザーによる樹脂成形品切断技術の開発	新規	共同	R4	共同研究企業は樹脂のブロー成形品のバリ仕上げ作業をレーザーとロボットによる自動化に取り組んでいる。今回、高出力中赤外線レーザーを応用し、材料色に依存しない樹脂成形品の切断加工技術を開発する。	□□	□□□	千円 283	千円 283	□□□□□□□ 光産業創成大学院大学
一般共同研究	繊維への微細マーキングの高速化	新規	共同	R4 ～ R6	偽造防止用に当センターが開発した繊維への微細カラーマーキング技術の実用化が期待されている。そこで、マーキング速度の高速化のため、繊維への染料の塗布方法、レーザー光源を含めた光学系の再構築を図る。	□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	―	―	□□□□□□□
一般共同研究	IoT・機械学習を活用した長期稼働機器の遠隔診断技術の開発	新規	共同	R4 ～ R6	工場で稼働する機器の予知保全に活用することを目的として、後付けIoT化した機器から取得したデータを機械学習で解析することで機器の稼働状態を診断する技術を開発する。	□□□	□□□	―	―	□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	生分解性プラスチックの紡糸に関する研究	新規	受託	R4	□□	□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	千円 296	千円 296	□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	粉末冶金用金属粉末の粉体特性評価	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	千円 300	千円 300	□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	撥液めっきにおけるめっき金属種の検討	新規	受託	R4	□□□	□□□	□□	千円 500	千円 500	□□□□□□□

受託研究 （競争的資金以外の研究）	輸送機器用部品向け結晶加飾処理技術の開発	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□	千円 400	千円 400	□□□□□□□ □
受託研究 （競争的資金以外の研究）	蓄熱材の熱物性評価	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	千円 500	千円 500	□□□□□□□ □□
受託研究 （競争的資金以外の研究）	EPMA分析向け特殊形状試料固定用サンプルホルダーの作成	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □	千円 400	千円 400	□□□□□□□
受託研究 （競争的資金以外の研究）	ガラスコーティング剤のアクセサリー類への適用と性能評価	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□	千円 300	千円 300	□□□□□□
受託研究 （競争的資金以外の研究）	セメンタイトの析出形態に及ぼす熱処理条件の影響	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□	千円 300	千円 300	□□□□□□□

（注）1　本表は試験研究機関において調製する。
　2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
　3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
　4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
　5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
　6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

令和５年度　試験研究成果一覧表

工業技術研究所

区分／事業名	研究テーマ（細目）研究内容	終了継続新規廃止の別	国庫受託単独共同の別	研究期間	研究目的背景等	研究成果	研究成果の活用及び普及等の状況	予算額 R5年度	予算額 総予算額	備考
新成長戦略研究	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	継続	共同	R3～R5	路面に図形を描画することで歩行者等にメッセージを伝える“コミュニケーションライティングシステム”の実現に必要な、超小型で超微細な樹脂レンズの製品化技術を開発する。	□□□	□□□	千円 11,193	千円 44,671	□□□□□□□
新成長戦略研究	設備、モノ、ヒトの統合的データ分析による生産性の効率化	継続	単独	R4～R6	生産機器の稼働状況の見える化へのIoT技術の導入の次のステップとして、ヒトやモノの動きを追加して生産計画への適用を図り、工場全体の効率化を図る。	現実の製造現場を再現したバーチャル工場でIoTセンサ等の事前配置検討が可能なシミュレーション環境の構築と、遺伝的アルゴリズムを用いた生産計画生成プログラムで現場担当者の意見を踏まえた機能改善を行った。	モデル工場として具体的事例を実現するほか、静岡県IoT推進ラボでの稼動展示を実施する。	千円 11,996	千円 29,963	
新成長戦略研究（チャレンジ枠）	乳酸菌発酵による食品の感覚応答の増強・減弱	新規	単独	R5	糖質オフや減塩製品などの市場が拡大する一方、味の薄さなどから、味覚などの感覚を含めた満足度を高める技術の開発が求められている。乳酸菌による食品の発酵からこの課題にアプローチする。	乳酸菌を用いて、唐辛子の一種であるハバネロを発酵することで、辛味の受容体（TRPV1）応答が減弱することを見出した。	成果を県内外に発信することで、満足度を高めた食品開発の振興につなげる。	千円 1,000	千円 1,000	

一般共同研究（競争的資金による研究） 科研費（基盤研究C）	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	継続	単独	R3～R5	植物性タンパク質源として注目されている豆乳は、加熱濃縮により凝集・固化しやすい問題点がある。このメカニズムを「液-液槽分離」の視点で解析することで、豆乳タンパク質が凝集しにくい濃縮技術を開発する。	NaCl添加生豆乳を調整後１～24時間静置した各サンプルを透析脱塩後、凍結融解した結果、全てのサンプルの分画性が回復し、豆乳エマルションの可逆性が食塩添加後24時間以内であれば発現することを確認した。	得られた知見を論文投稿する他、県内事業者と共同研究の実施を検討中	千円 650	千円 3,380	静岡県立大学
県単独研究	半溶融成形法の高度化技術開発	継続	単独	R4～R6	半溶融成形法の高度化技術において、実用化に向けた摩擦攪拌接合（FSW）継手の開発及び薄肉製品開発を目的として流動性を向上させるための合金開発及びマルチプロセス化を目的とした矩形・異形素材の開発を行う	高強度合金を用いた半溶融成形材の摩擦攪拌接合継手の引張強度及び疲労強度は、従来材に比べて高い強度特性を有することがわかった。流動性を高めた高Si合金の半溶融成形材料の製造条件を求めることができた。	本開発技術を用いた応用技術開発及び製品開発技術について県内企業と共同開発を行ない、県内ものづくり技術の発展に寄与する。	―	―	
県単独研究（競争的資金による研究） 科研費（若手研究）	高結晶コーヒーかす活性炭への白金埋込による高耐久性燃料電池触媒の開発	新規	単独	R5～R7	固体高分子形燃料電池は次世代エネルギー源として普及が期待されているが、電極触媒の耐久性向上が課題である。本研究では、活性炭のメソ細孔への白金埋込みと触媒を用いた黒鉛結晶化により、耐久性向上を目指す。	新たに採取したコーヒーかすが従来と同様の活性炭化挙動を示すことを確認した。黒鉛化触媒を添加して炭化を行い、エックス線回折測定用のサンプルを作製した。今後、エックス線回折測定により結晶性の評価を行う。	エックス線回折測定により黒鉛化に適する条件が明らかとなるため、その条件を用いて水蒸気賦活と黒鉛化を複合化させる。	千円 427	千円 1,649	
県単独研究	好気性グラニュールを利用した省スペース型高濃度窒素排水処理装置の開発	新規	共同	R5～R6	本研究では、先行研究で新たに発見した好気性グラニュールを利用することで、有機性炭素及び窒素の同時除去を可能としながら、高負荷排水にも対応したコンパクトな処理装置を開発する。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□	―	―	□□□□□□□ □□□□□□□ □

県単独研究	加工材における変形挙動再現の検討	新規	単独	R5～R6	本研究では製品開発の基礎技術として、家具製造に利用される木材（加工材）の材料特性評価や構造解析から、強度予測や挙動シミュレーションによる試作レス化について検討する。	箱物家具のCAD データに、試験片から導出した木材のヤング率を適用し、実試験を再現する静的な構造解析を実施している。	工業技術研究所において、生活製品のCAE技術による試作レスや、製品の高付加価値化に繋がる技術相談に対応できるようにする。	—	—	
一般共同研究	リサイクルパルプ繊維を活用した塗り壁材の開発	新規	共同	R5	安価に製造が可能なバイオマス材料であるCMF（セルロースマイクロファイバー）を利用し、強度・施工性・商品価値を有する塗り壁材料を開発する。	□□	□□	—	—	□□□□□□□□□□□□□□□□□
県単独研究	音声認識技術を用いた自動車室内音環境の評価に関する研究	新規	単独	R5～R7	近年、運転支援システムの進展により、車室内における乗員と車の情報伝達手段として音声認識の活用が期待される。そこで、車室内における音環境特性と音声認識性能の関係の明示を試みる。	音声認識性能を評価するための実験環境として、既存のAI技術を活用した音声認識の実験環境の構築を進めている。実験用の音声データは、研究用に無償公開されている音声コーパスからの選定を検討している。	現在遮音や吸音により評価している自動車内装部品の音響性能について、本研究の成果を活用することで、車室内での音声認識性能という視点による性能評価ができるようになる。	—	—	
一般共同研究	資源循環型システムを志向した樹脂複合材のテラヘルツ波による非破壊検査手法の開発	継続	共同	R4～R5	THz波を利用し、樹脂複合材の繊維分散性等の特性やリサイクル材の品質を非破壊・非接触で検査する手法を開発する。	□□□	□□□	—	—	□□□□□□□□□□
一般共同研究	自動車用途向けCNFオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	継続	共同	R4～R6	従来のCNF複合樹脂では耐衝撃性が樹脂単体と比べ低下してしまう。このため、自動車用に多く使用されているオレフィン樹脂を対象に、CNFの改質等により耐衝撃性等の物性の向上を目指す。	□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	—	—	□□□□□□□□□

一般共同研究	ポリプロピレン/セルロース繊維複合材射出成形品への高密着なめっき技術の開発	新規	共同	R5～R6	家電や自動車用樹脂材料等への用途展開を見据え、射出成形条件やめっき条件等を最適化したPP/セルロース繊維複合材の実製品形状の射出成形品への高密着なめっき付与技術開発を行なう。	□□	□□	—	—	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
一般共同研究	CNF複合樹脂を用いた発泡ブロー成形技術の開発	新規	共同	R5～R6	発泡ブロー成形による自動車用部品の断熱性の向上が求められている。樹脂中にCNFを分散させ、発泡ブロー成形することで高い空隙率を実現し、断熱性向上を目指す。	□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	—	—	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
受託研究（競争的資金による研究） 新成長産業戦略的育成事業業（財団）	エアコンの省エネ性能を躍進する軽量高剛性スクロールの量産化システムの開発	継続	受託	R4～R5	□□	□□	□□	千円 533	千円 533	□□□□□□□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	持続可能な地産地消型バイオガスエネルギー供給技術の開発と実証	新規	受託	R5	□□	□□	□□□	千円 1,500	千円 1,500	□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	バイオマス由来活性炭を白金担体とした燃料電池触媒の性能向上	新規	受託	R5	□□□	□□□	□□□	千円 800	千円 800	□□□□□□□□

受託研究（競争的資金以外の研究）	特殊鋳鉄鋳物の耐食性に関する研究	新規	受託	R5	□□□	□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	千円 200	千円 200	□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	微生物培養に適した食品残渣培地組成の検討	新規	受託	R5	□□□	□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	千円 200	千円 200	□□□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	魚残渣の骨代謝改善作用の研究	新規	受託	R5	□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	千円 250	千円 250	□□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	ラペソーと梅ヶ島食べる乳酸発酵茶の比較研究（好まれる嗜好について）	新規	受託	R5	□□□	□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	千円 140	千円 140	□□□□□□□□□□□□□□□□□

（注）1　本表は試験研究機関において調製する。
2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

区分／事業名	研究テーマ（細目）／研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び普及等の状況	予算額 R5年度	予算額 総予算額	備考
一般共同研究	抗炎症効果のある伊豆特産サクラ葉抽出物の素材化と作用機序解析	継続	共同	R4〜R5	静岡県の化粧品出荷額は全国上位に位置している。産業支援の一環として炎症を抑制するスキンケア素材を開発すべく、伊豆特産のオオシマザクラ葉に着目し、抽出の検討と作用機序の解明を行う。	□□□	□□□	—	—	□□□□□□□□□□
一般共同研究	本県独自の清酒用種麹の開発フローの構築	継続	共同	R3〜R5	県内の清酒業界からは、話題性や魅力のある商品の開発に向けて、県独自の清酒用種麹の開発が強く望まれていた。そこで本研究では、本県の清酒造りに適した独自の清酒醸造用種麹の開発フローを構築する。	□□	□□□	—	—	酒類総合研究所 □□□□□□□ 静岡県酒造組合
受託研究（競争的資金以外の研究）	温間プレス成形後の材料評価	新規	受託	R5	□□	□□	□□□	千円 121	千円 121	□□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	高温成形加工を活用した新たな加工方法の検討	新規	受託	R5	□□	□□□	□□□	千円 51	千円 51	□□□□□□□□□□

受託研究（競争的資金以外の研究）	自然界分離酵母のビール醸造適性評価	新規	受託	R5	□□□	□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	千円 999	千円 999	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	熱海の未活用魚からの酵母単離とビール醸造適性の評価	新規	受託	R5	□□	□□□	□□	千円 434	千円 434	□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	令和５年静岡県清酒鑑評会における出品酒の成分分析とそれら成分が官能評価に与える影響に関する調査研究	新規	受託	R5	□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	千円 103	千円 103	□□□□□□□

（注）1　本表は試験研究機関において調製する。
2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

富士工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	予算額 R5年度	予算額 総予算額	備考
新成長戦略研究 (政策課題枠)	サステナブルファッションに寄与する廃棄衣料を利用した製紙技術の開発	新規	単独	R5	近年、膨大な廃棄衣料が社会的課題となっており、その有効活用が求められている。本研究では廃棄衣料を原料とした紙を開発し、その紙をファッション業界などで活用することでサステナブルファッションに貢献する。	コットン繊維を原料としたリサイクル紙について検討した。コットンの解繊度合い、配合割合などの条件を変えたリサイクル紙を作製し、その特徴を把握した。	繊維の排出事業者、製紙会社などと連携し、廃棄衣料から紙を作製し、その紙を再び排出事業者に活用してもらうという循環型社会のモデルケース構築を目指す。	千円 2,000	千円 2,000	
県単独研究	加温処理による紙の低密度化に関する研究	継続	単独	R4 ～ R5	当センターの過去の研究からパルプを加温処理するだけで紙が低密度する現象を発見した。紙が低密度化するメカニズムを解明し、製紙工場の工程に適用可能な技術開発を行い紙製品のコストダウンを図る。	古紙に加温処理による紙の低密度化手法を適用すると、フレッシュパルプに比べて古紙パルプの低密度化度は低いものの、低密度化することがわかった。結果は紙パ研究発表会及び繊維学会で発表した。	紙が低密度化するメカニズムを解明し、研究協力機関である東京農工大学と連名で学術誌への投稿を目指して実験を行っている。	—	—	
県単独研究	AIを活用した古紙原料の判別に関する研究	新規	単独	R5 ～ R6	再生紙工場では、どのような古紙原料か不明なために損紙が発生するなどの課題がある。国や県で推進するDXの一環として、AIを活用して古紙原料を判別する技術を開発し、再生紙工場の効率化を目的とする。	AR５は衣料廃棄物の分別、UVインキ印刷物の判別を目標に、綿やポリエステルなどの布や、UVインキ印刷物とその他印刷物などのサンプルを収集し、光学測定データから機械学習にて分類可能か調べている。	AIを活用して、光学測定によって古紙原料を判別する方法を明らかにして、再生紙工場などへの導入の提案に繋げる。	—	—	

県単独研究 クラウドファンディング型研究	植物由来の新素材「CNF」を使って環境にやさしい社会を実現させたい！	新規	単独	R5	触媒を用いた低エネルギーCNF製造手法であるTEMPO酸化法の普及を促進するため、TEMPO酸化法により作製されたCNFの性状を解繊方法毎に解析し、得られたデータを広く一般に公開する。	本テーマは令和5年7月に採択されたものであり、現在研究開始に向けて準備を行っている段階である。	クラウドファンディングによる支援者に向けた発表会や研究所HP等により情報を公開し、CNFコーディネーターや関連するイベントでの周知を図ることで、関連企業に対し公開したデータを活用した製品開発を促す。	千円 1,223	千円 1,223	
一般共同研究 （競争的資金による研究） 科研費 （基盤研究C）	深層学習を用いた画像解析による牛群中での子牛の疾病検知システムの開発	継続	共同	R3 ～ R5	近年の酪農では、個体ごとのつなぎ飼い方式から、舎内で放し飼いする群飼育方式に移行している。群飼育は疾病や怪我などの個体管理が難しいことから、異常検知システムを開発し生産の効率化を図る。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	千円 195	千円 2,015	日本工業大学 畜産技術研究所
一般共同研究	マイクロ波減圧乾燥によるCNF濃縮技術の開発	継続	共同	R4 ～ R5	CNFの分散液はセルロースに対して数十倍の水を含んでおり、輸送コストが高く非常に高価である。コストを抑えるためにマイクロ波減圧乾燥を用いた濃縮技術を検討し、CNFの凝集を抑えた高濃縮品を目指す。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	—	—	□□□□□□□ □□□□□□□
一般共同研究	リファイナーを用いた低コストCNF製造技術の開発	継続	共同	R4 ～ R6	新型リファイナーによる最適運転条件の確認とさらなる専用刃物の改良を行い、より低コストのCNF製造機器の開発を目指す。また、製紙助剤への応用など用途開発を行い、リファイナーCNFの更なる普及をはかる。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	—	—	□□□□□□□

一般共同研究	自動車用途向けＣＮＦオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	継続	共同	R4～R6	CNFとオレフィン系樹脂との複合材について、自動車部品への適用のためCNFの改質等により耐衝撃性等の物性向上を目指す。	□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	―	―	□□□□□□□□□

（注）1　本表は試験研究機関において調製する。
2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

浜松工業技術支援センター

区分／事業名	研究テーマ(細目) 研究内容	終了継続新規廃止の別	国庫受託単独共同の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び普及等の状況	予算額 R5年度	予算額 総予算額	備考
新成長戦略研究	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	継続	単独	R3～R5	路面に図形を投影することで歩行者にメッセージを伝える「コミュニケーションライティングシステム」の実現に必要な、超小型で超微細な樹脂レンズの製品化技術を構築する。	□□	□□□	千円 2,797	千円 5,325	
新成長戦略研究	金属３Dプリンタを活用したものづくり支援のための積層造形技術開発	新規	単独	R5～R7	製造現場では開発期間短縮や軽量化等の解決のため、その解決に金属3Dプリンタの使用が期待されているが、金属粉体材料が高額なことや物性・造形精度など様々な課題があり普及が進んでいない。	金属粉体材料が高額であることや物性・造形精度などの課題について、金属粉体材料の価格を下げ、物性や造形精度に関する情報を提供する。	企業が容易に金属3Dプリンタで造形を行える環境を作り出し、企業における開発期間短縮や軽量化等の問題解決を図る。	千円 20,000	千円 50,000	
県単独研究	ＥＶ向けコネクタ・スイッチ用めっきの特性向上に関する研究	継続	単独	R4～R5	輸送機器のEV化への流れを受け需要増が予測されている、コネクタ・スイッチ部品用めっきに求められる性能を評価解析できる試験方法の構築と、それを用いて優れたSn、Agめっきを開発する。	令和４年度は、数mmストロークで繰返摺動の負荷を与え、電極間の電気抵抗値の変動をリアルタイムで測定して、グラフで可視化できる試験機を作製した。本年度は「微摺動」モードでの測定を検討する。	研究協力機関への技術普及を進め、企業における開発期間短縮や軽量化等の問題解決を図る。	—	—	
県単独研究	熱可塑性炭素繊維強化複合材料（CFRTP）の循環利用	新規	単独	R5～R6	軽量高強度材料である熱可塑性炭素繊維強化複合材料（CFRTP）においてマテリアルリサイクルを目指し、CFRTPリサイクル材による成形性を評価する。	CFRTPを粉砕し、再加熱溶融成形した材料の物性を評価して、必要強度を達成するための条件を見出すことで、地域企業が提案する製品について川下企業への訴求力向上を目指す。	協力機関である浜松地域CFRP事業化研究会を通して会員企業等に技術普及を進める。	—	—	

一般共同研究	めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発	継続	共同	R3 ～ R5	鉄-アルミニウムの接合は、地元企業からの要望が多い。輸送機器産業で利用されている通常のスポット溶接法では、金属間化合物が生成するため、十分な強度で接合することは難しい。	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□	—	—	□□□□□□□ □
一般共同研究	IoT・機械学習を活用した長期稼働機器の遠隔診断技術の開発	継続	共同	R4 ～ R5	生産現場で長時間稼働する設備を正常に維持するには、多くの作業員が現場で日常点検をする必要がある。また、一旦不具合が発生すると多大な損失が発生するため、僅かな予兆を即座に診断する技術が求められている。	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□	□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □	—	—	□□□□□□□ □
一般共同研究	簡易的な電波到来方向推定システムの開発	新規	共同	R5 ～ R6	電波到来方向推定機器として、２つの固定したアンテナで推定範囲を180°以下にして小規模・低コストでの作製を見込み、簡易的に推定するシステムを開発する。	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□	ア□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □	—	—	□□□□□□□ □□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	レザーシート基布の水平リサイクルに向けたペレット化手法の確立	新規	受託	R5	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □	千円 1,000	千円 1,000	□□□□□□□ □□□□□□□ □□
受託研究（競争的資金以外の研究）	金型を用いた等温熱処理の金属組織の影響	新規	受託	R5	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□ □	□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□	千円 600	千円 600	□□□□□□□

受託研究 （競争的資金以外の研究）	EPMAによる機械構造用炭素鋼の炭素含有率の推定	新規	受託	R5	□□	□□	□□□	千円 400	千円 400	□□□□□□□
受託研究 （競争的資金以外の研究）	3Dプリンタを用いたレーザ溶接用シールドガス導入機構の検討	新規	受託	R5	□□□	□□	□□	千円 400	千円 400	□□□□□□□□

（注）1　本表は試験研究機関において調製する。
2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。